



Navicat BI

バージョン 3 ユーザーガイド



目次

1 - はじめに	3
Navicat BI について	3
必要条件	3
インストール	5
登録	6
移行／アップグレード	7
エンドユーザーライセンス使用許諾契約書	8
2 - メイン UI	14
3- コラボレーション	16
Navicat Cloud	16
On-Prem Server	17
プッシュとキャッシュの管理	20
プロジェクトの操作	21
接続の管理	23
バーチャルグループの管理	23
4 - ワークスペース	25
5 - データソース	27
データソースを作成	27
データベース接続	30
データベースサーバーに接続	30
基本設定	31
詳細設定	35
データベース／追加データベース設定	37
SSL	38
SSH トンネリング	40
HTTP トンネリング	41
ファイル／ODBC 接続	41
クエリの追加	44
クエリエディタ	44
コード補完	46
コードスニペット	47
クエリビルダ	49
検索ビルダ	55
集計パイプラインの追加	55
データソース接続の変更	58
データの表示	59
データのフィルタリング／ソート／プロジェクト	60
カスタムフィールドの追加	61
データプロファイリングを使用してデータソースを検査する	63
6 - チャート	66

チャートを作成	66
データのフィルタリング／ソート	70
チャートを表示	71
チャートタイプ	72
比較と傾向	72
全体に対する構成比	86
関係性とパターン	89
パフォーマンス、目標、サマリー指標	94
表形式データとコントロール	99
DateTime 形式	103
7 - ダッシュボード	105
ダッシュボードを作成	105
ダッシュボードを設計	106
ダッシュボードを表示	113
ダッシュボードを印刷 & エクスポート	114
8 - パラメータ	115
9- 他のすばらしい機能	117
テーマを切り替え	117
URI 経由で共有	117
ワークスペースの整理とカスタマイズ	118
10 - 設定	119
11 - ホットキー	124
11 - ログファイル	125

1 - はじめに

Navicat BI について

Navicat BI は、さまざまなソースのデータを分析・可視化し、重要なインサイトを発見して、データに基づく的確な意思決定を支援する、強力なビジネスインテリジェンス（BI）ソリューションです。

主なメリットと機能

- **多彩なグラフの種類** - 20 種類を超える本格的なグラフに対応し、あらゆるデータ可視化のニーズに応えます。
- **カスタマイズ可能な複数ページのダッシュボード** - 複数ページで構成される複雑なダッシュボードを設計・調整し、データの全体像を分かりやすく提示できます。
- **ライブデータの可視化** - ライブデータソースに直接接続し、リアルタイムで動的にビジュアルを更新できます。
- **シームレスなクラウドコラボレーション** - Navicat Cloud および Navicat On-Prem Server と完全に連携し、チームでの共有とセキュリティ管理を効率化します。
- **クロスプラットフォーム対応** - Microsoft Windows、macOS、Linux という 3 つの主要オペレーティングシステムすべてでご利用いただけます。

詳しい情報、ビデオチュートリアル、テクニカルサポートについては、公式サイト <https://jp.navicat.com> をご覧ください。

必要条件

Navicat BI は、幅広いオペレーティングシステムとデータベース環境で高いパフォーマンスを発揮するように設計されています。ご使用のシステムが次の要件を満たしていることを確認してください。

サポートされているオペレーティングシステム

プラットフォーム	対応バージョン
Windows	Microsoft Windows 8、Windows 8.1、Windows 10、Windows 11、Server 2012、Server 2012 R2、Server 2016、Server 2019、Server 2022、Server 2025
macOS	macOS 14 Sonoma、macOS 15 Sequoia、macOS 26 Tahoe、macOS 27 Golden Gate
Linux	Flatpak : Flatpak がサポートする ディストリビューション 。 AppImage (x86_64) : Debian 10、Debian 11、Debian 12、Debian 13、Ubuntu 20.04、Ubuntu 22.04、Ubuntu 24.04、Ubuntu 26.04、Fedora 44、Linux Mint 20、Linux Mint 21、Linux Mint 22、Deepin 20、Deepin 23、Deepin 25、KylinOS Desktop 10、Pop!_OS 20.04、Pop!_OS 22.04 AppImage (aarch64) : Debian 11、Debian 12、Debian 13、Ubuntu

	22.04、Ubuntu 24.04、Ubuntu 26.04、Fedora 44、Linux Mint 20、Linux Mint 21、Linux Mint 22、Deepin 23、Deepin 25、KylinOS Desktop 10、Pop!_OS 20.04、Pop!_OS 22.04
--	--

サポートされるオンプレミスデータベース

データベースのカテゴリ	対応サーバーとバージョン
リレーショナル (SQL)	MySQL 3.23 以降 PostgreSQL 7.3 以降 Oracle 8i 以降 SQL Server 2000 以降 MariaDB 5.1 以降 SQLite 2 と 3
NoSQL	MongoDB 3.0 以降
エンタープライズ・分散型	GaussDB 3.2 以降、openGauss OceanBase Community および Enterprise 3.1.0 以降 TiDB 7 以降 Dameng 8 以降 KingbaseES V8R6 以降 Fujitsu Enterprise Postgres 9.5 以降 IvorySQL 1 以降 注意: GaussDB、openGauss、Dameng、OceanBase Enterprise (Oracle モード) は、現在 macOS 版では利用できません。
特化型・派生型	Drizzle、OurDelta、Percona Server

サポートされるクラウドデータベース

プロバイダー・ベンダー	対応サービス
Amazon AWS	Amazon Redshift Amazon Aurora for MySQL Amazon Aurora for PostgreSQL Amazon RDS for MySQL Amazon RDS for PostgreSQL Amazon RDS for Oracle Amazon RDS for SQL Server Amazon RDS for MariaDB Amazon DocumentDB
Google Cloud	Google Cloud SQL for MySQL Google Cloud SQL for PostgreSQL Google Cloud SQL for SQL Server
Oracle Cloud	Oracle Database Cloud Service Oracle MySQL Cloud Service

Microsoft	Microsoft Azure SQL Database Microsoft Azure Database for MySQL Microsoft Azure Database for PostgreSQL Microsoft Azure Database for MariaDB Azure Cosmos DB for MongoDB
MongoDB Cloud Services	MongoDB Atlas
Redis Enterprise Cloud	Redis Enterprise Cloud
Alibaba Cloud	Alibaba Cloud ApsaraDB RDS for MySQL Alibaba Cloud ApsaraDB RDS for PostgreSQL Alibaba Cloud ApsaraDB RDS for SQL Server Alibaba Cloud ApsaraDB for MongoDB Alibaba Cloud ApsaraDB for OceanBase (MySQL Mode) Alibaba Cloud ApsaraDB for OceanBase (Oracle Mode) Alibaba Cloud PolarDB for MySQL Alibaba Cloud PolarDB for PostgreSQL Alibaba Cloud PolarDB for Xscale 注意： Alibaba Cloud ApsaraDB for OceanBase (Oracle モード) は、現在 macOS 版では利用できません。
Tencent Cloud	Tencent Cloud TencentDB for MySQL Tencent Cloud TencentDB for PostgreSQL Tencent Cloud TencentDB for SQL Server Tencent Cloud TencentDB for MariaDB Tencent Cloud TencentDB for MongoDB
Huawei Cloud	Huawei Cloud RDS for MySQL Huawei Cloud RDS for PostgreSQL Huawei Cloud RDS for SQL Server Huawei Cloud Document Database Service Huawei Cloud GaussDB Centralized Huawei Cloud GaussDB Distributed Huawei Cloud GaussDB(DWS) 注意： Huawei Cloud GaussDB Centralized、Huawei Cloud GaussDB Distributed、Huawei Cloud GaussDB(DWS)は、現在 macOS 版では利用できません。
Snowflake	Snowflake

インストール

Navicat BI のセットアップは短時間で簡単に完了します。いくつかの手順に従うだけで、すぐにデータベース管理環境を使い始められます。

現在開いているアプリケーションがある場合は、シャットダウンすることを強くお勧めします。これによって、円滑にインストールが行えます。

ダウンロード版のインストール方法

1. Navicat BI Windows 版をダウンロードします。
2. **.exe** ファイルを開きます。
3. セットアップウィザードの開始画面で、**次へ**をクリックします。
4. 使用許諾契約書を読んでください。それに同意し、**次へ**をクリックします。
5. プログラムアイコンの場所を承認します。フォルダの保存先を変更したい場合は**参照**をクリックします。
6. 残りのステップに従って進みます。

登録

試用期間が終了すると Navicat BI の機能を使い続けるためにライセンスキーまたはサブスクリプションプランが必要となります。

注意：永久ライセンスとサブスクリプションプランを同じ Navicat BI で使用することはできません。登録方法を変更する前に、ライセンスキーを無効にするか、Navicat ID からサインアウトする必要があります。

永久ライセンス

永久ライセンスを購入した場合、Navicat BI をアクティベートするためのライセンスキーを受け取ります。

永久ライセンスセクションで、ライセンスキー（16 桁）を貼り付け、**アクティベーション実行**ボタンをクリックします。Navicat BI はライセンスサーバーに接続して、ライセンスキーを有効にします。アクティベーションプロセスが成功すると、ライセンスキーの詳細が表示されます。

マニュアルアクティベーション

マニュアルアクティベーションは、コンピューターがインターネットに接続されていない場合に利用できます。このアクティベーションプロセスを完了するためには、インターネット接続が可能な別のコンピューターが必要です。

1. オンラインのアクティベーションに失敗した場合、**マニュアルアクティベーション**をクリックします。
2. **リクエストコードをここにコピーする**：ボックスにリクエストコードをコピーします。
3. インターネットに接続されているコンピューターで Web ブラウザーを開き、
https://customer.navicat.com/jp/manual_activate.php にアクセスします。
4. リクエストコードを左側のボックスに貼り付け／入力します。
5. **アクティベーションコードを取得**をクリックします。

6. 生成されたアクティベーションコードを右側のボックスにコピーします。
7. Navicat BI を有効にしようとしているコンピューターに戻ります。
8. **ここにアクティベーションコードを貼り付けて下さい** : ボックスにアクティベーションコードを貼り付けます。
9. **アクティベーション実行**をクリックします。

サブスクリプションプラン

サブスクリプションプランをお持ちの場合、Navicat ID にサインインして、サブスクリプション期間中 Navicat BI を使用できます。

注意 : Navicat ID は、サブスクリプションプランの購入に使用したメールアドレスです。

サブスクリプションセクションで、**Navicat ID** と**パスワード**を入力します。サインインすると、サブスクリプションプランの詳細が表示されます。

Navicat BI は、デフォルトで 1 時間に 1 回、ライセンスサーバーに接続してプランを自動再読み込みします。ポータルサイトでプランを更新した場合、**プランの再読み込み**ボタンを使用して、新しいプランを強制的に再読み込みできます。

注意 : Navicat ID はそれぞれ 1 つの Navicat BI にのみ接続できます。別の Navicat BI で Navicat ID にサインインすると、現在の Navicat BI からサインアウトされます。

移行／アップグレード

Navicat BI を新しいコンピューターに移動する

新しいワークステーションに移行する場合は、次の手順に従ってライセンスをスムーズに移行してください。

1. Navicat BI で、**ヘルプ** -> **登録**を選択します。
2. [永久ライセンス] オンラインでライセンスキーのアクティベーションを解除するためには、**アクティベーション解除**をクリックします。
3. [サブスクリプションプラン] Navicat ID からサインアウトするためには、**サインアウト**をクリックします。
4. 現行のコンピューターから、Navicat BI をアンインストールします。
5. 新しいコンピューターに Navicat BI をインストールします。

Navicat BI をアップグレードする

インストール済みの Navicat BI を最新バージョンにアップグレードしたい場合、**ツール** -> **更新の確認**を選択し、アップデーターを起動してください。アップデーターは、インストール済みのバージョンを自動的に確認します。そして、新しいバージョンがリリースされている場合、アップデーターの指示に従って、お使いの Navicat BI をアップグレードしてください。最新バージョンが前のバージョンに置き換わりますが、設定は変更されずに残ります。

または、登録 e メールアドレスで [カスタマーセンター](#) にアクセスし、最新バージョンのインストーラをダウンロードすることも可能です。

エンドユーザーライセンス使用許諾契約書

Note: For the License Agreement of Navicat Cloud service, please click [here](#).

IMPORTANT: THIS SOFTWARE END USER LICENSE AGREEMENT ("EULA") IS A LEGAL AGREEMENT BETWEEN YOU (EITHER AN INDIVIDUAL OR, IF PURCHASED OR OTHERWISE ACQUIRED BY OR FOR AN ENTITY, AN ENTITY) AND PREMIUMSOFT CYBERTECH LTD..READ IT CAREFULLY BEFORE COMPLETING THE INSTALLATION PROCESS AND USING THE SOFTWARE. IT PROVIDES A LICENSE TO USE THE SOFTWARE AND CONTAINS WARRANTY INFORMATION AND LIABILITY DISCLAIMERS. BY INSTALLING AND USING THE SOFTWARE, YOU ARE CONFIRMING YOUR ACCEPTANCE OF THE SOFTWARE AND AGREEING TO BECOME BOUND BY THE TERMS OF THIS AGREEMENT. IF YOU DO NOT AGREE TO BE BOUND BY THESE TERMS, THEN DO NOT INSTALL THE SOFTWARE AND RETURN THE SOFTWARE TO YOUR PLACE OF PURCHASE. THIS EULA SHALL APPLY ONLY TO THE SOFTWARE SUPPLIED BY PREMIUMSOFT CYBERTECH LTD. HEREWITH REGARDLESS OF WHETHER OTHER SOFTWARE IS REFERRED TO OR DESCRIBED HEREIN.

1. Definitions

- a. "Non-commercial Version" means a version of the Software, so identified, for use by i) the individual who is a natural person and not a corporation, company, partnership or association or other entity or organization (ii) the individual who is a student, faculty or staff member at an educational institution, and (iii) staff of a non-profit organization or charity organization only. For purposes of this definition, "educational institution" means a public or private school, college, university and other post secondary educational establishment. A non-profit organization is an organization whose primary objective is to support an issue or matter of private interest or public concern for non-commercial purposes.
- b. "Not For Resale (NFR) Version" means a version, so identified, of the Software to be used to review and evaluate the Software, only.
- c. "PremiumSoft" means PREMIUMSOFT CYBERTECH LTD. and its licensors, if any.
- d. "Software" means only the PremiumSoft software program(s) and third party software programs, in each case, supplied by PremiumSoft herewith, and corresponding documentation, associated media, printed materials, and online or electronic documentation.
- e. "Unregistered version", "Trial version" or "Demo version" means an unregistered copy of the SOFTWARE ("UNREGISTERED SOFTWARE") which may be used by the USER for evaluation purposes for a period of fourteen (14) days following the initial installation of the UNREGISTERED SOFTWARE. At the end of the trial period ("TRIAL PERIOD"), the USER must either register the SOFTWARE or remove it from his system. The UNREGISTERED SOFTWARE may be freely copied and distributed to other users for their evaluation.

2. License Grants

The licenses granted in this Section 2 are subject to the terms and conditions set forth in this EULA:

- a. Subject to Section 2(b), you may install and use the Software on a single computer; OR install and store the Software on a storage device, such as a network server, used only to install the Software on your other computers over an internal network, provided you have a license for each separate computer on which the Software is installed and run. Except as otherwise provided in Section 2(b), a license for the Software may not be shared, installed or used concurrently on different computers.
- b. In addition to the single copy of the Software permitted in Section 2(a), the primary user of the computer on which the Software is installed may make a second copy of the Software and install it on either a portable computer or a computer located at his or her home for his or her exclusive use, provided that:
 - A. the second copy of the Software on the portable or home computer (i) is not used at the same time as the copy of the Software on the primary computer and (ii) is used by the primary user solely as allowed for such version or edition (such as for educational use only),
 - B. the second copy of the Software is not installed or used after the time such user is no longer the primary user of the primary computer on which the Software is installed.
- c. In the event the Software is distributed along with other PremiumSoft software products as part of a suite of products (collectively, the "Studio"), the license of the Studio is licensed as a single product and none of the products in the Studio, including the Software, may be separated for installation or use on more than one computer.
- d. You may make one copy of the Software in machine-readable form solely for backup purposes. You must reproduce on any such copy all copyright notices and any other proprietary legends on the original copy of the Software. You may not sell or transfer any copy of the Software made for backup purposes.
- e. You agree that PremiumSoft may audit your use of the Software for compliance with these terms at any time, upon reasonable notice. In the event that such audit reveals any use of the Software by you other than in full compliance with the terms of this Agreement, you shall reimburse PremiumSoft for all reasonable expenses related to such audit in addition to any other liabilities you may incur as a result of such non-compliance.
- f. Your license rights under this EULA are non-exclusive.

3. License Restrictions

- a. Other than as set forth in Section 2, you may not make or distribute copies of the Software, or electronically transfer the Software from one computer to another or over a network.
- b. You may not alter, merge, modify, adapt or translate the Software, or decompile, reverse engineer, disassemble, or otherwise reduce the Software to a human-perceivable form.
- c. Unless otherwise provided herein, you may not rent, lease, or sublicense the Software.
- d. Other than with respect to a Trial / Demo Version, Non-commercial Lite Version or a Not For Resale Version of the Software, you may permanently transfer the Software, you may permanently transfer all of your rights under this EULA only as

part of a sale or transfer, provided you retain no copies, you transfer all of the Software (including all component parts, the media and printed materials, any upgrades, this EULA, the serial numbers, and, if applicable, all other software products provided together with the Software), and the recipient agrees to the terms of this EULA. If the Software is an upgrade, any transfer must include all prior versions of the Software from which you are upgrading. If the copy of the Software is licensed as part of the whole Studio (as defined above), the Software shall be transferred only with and as part of the sale or transfer of the whole Studio, and not separately. You may retain no copies of the Software. You may not sell or transfer any Trial / Demo Version, Lite Version or Not For Resale Version of the Software.

- e. Unless otherwise provided herein, you may not modify the Software or create derivative works based upon the Software.
- f. Non-commercial Versions of the Software may not be used for, or distributed to any party for, any commercial purpose.
- g. Unless otherwise provided herein, you shall not
 - A. in the aggregate, install or use more than one copy of the Trial / Demo Version of the Software,
 - B. download the Trial / Demo Version of the Software under more than one username,
 - C. alter the contents of a hard drive or computer system to enable the use of the Trial / Demo Version of the Software for an aggregate period in excess of the trial period for one license to such Trial / Demo Version,
 - D. disclose the results of software performance benchmarks obtained using the Trial / Demo Version or Lite Version to any third party without PremiumSoft prior written consent, or
 - E. use the Trial / Demo Version of the Software for a purpose other than the sole purpose of determining whether to purchase a license to a commercial or education version of the software; provided, however, notwithstanding the foregoing, you are strictly prohibited from installing or using the Trial / Demo Version or Lite Version of the Software for any commercial training purpose.
- h. You may only use the Not for Resale Version of the Software to review and evaluate the Software.
- i. You may receive the Software in more than one medium but you shall only install or use one medium. Regardless of the number of media you receive, you may use only the medium that is appropriate for the server or computer on which the Software is to be installed.
- j. You may receive the Software in more than one platform but you shall only install or use one platform.
- k. You shall not use the Software to develop any application having the same primary function as the Software.
- l. In the event that you fail to comply with this EULA, PremiumSoft may terminate the license and you must destroy all copies of the Software (with all other rights of both parties and all other provisions of this EULA surviving any such termination).
- m. This program may include Oracle Instant Client (OCI). You agree that you shall

1. not use of the Oracle Instant Client to the business operations;
2. not assign, give, or transfer the Oracle Instant Client or an interest in them to another individual or entity;
 - a. make the Programs available in any manner to any third party for use in the third party's business operations; and
 - b. title to the Programs from passing to the end user or any other party;
3. not reverse engineer, disassemble or decompilation the Oracle Instant Client and duplicate the Programs except for a sufficient number of copies of each Program for your licensed use and one copy of each Program media;
4. discontinue use and destroy or return to all copies of the Oracle Instant Client and documentation after termination of the Agreement;
5. not publish any results of benchmark tests run on the Programs;
6. comply fully with all relevant export laws and regulations of the United States and other applicable export and import laws to assure that neither the Oracle Instant Client, nor any direct product thereof, are exported, directly or indirectly, in violation of applicable laws;
7. allow PremiumSoft to audit your use of the Oracle Instant Client;

4. Upgrades

If this copy of the Software is an upgrade from an earlier version of the Software, it is provided to you on a license exchange basis. You agree by your installation and use of such copy of the Software to voluntarily terminate your earlier EULA and that you will not continue to use the earlier version of the Software or transfer it to another person or entity unless such transfer is pursuant to Section 3.

5. Ownership

The foregoing license gives you limited license to use the Software. PremiumSoft and its suppliers retain all rights, title and interest, including all copyright and intellectual property rights, in and to, the Software (as an independent work and as an underlying work serving as a basis for any application you may develop), and all copies thereof. All rights not specifically granted in this EULA, including Federal and International Copyrights, are reserved by PremiumSoft and its suppliers.

6. LIMITED WARRANTY AND DISCLAIMER

- a. Except with respect to Trial / Demo Version, Lite Version and Not For Resale Version of the Software, PremiumSoft warrants that, for a period of thirty (30) days from the date of delivery (as evidenced by a copy of your receipt): the physical media on which the Software is furnished will be free from defects in materials and workmanship under normal use. The Software is provided "as is". PremiumSoft makes no warranties, express or implied, arising from course of dealing or usage of trade, or statutory, as to any matter whatsoever.

- b. PremiumSoft provides no remedies or warranties, whether express or implied, for Trial / Demo version, Lite version and the Not for Resale version of the Software. Trial / Demo version, Lite version and the Not for Resale version of the Software are provided "as is".
- c. Except as set forth in the foregoing limited warranty with respect to software other than Trial/ Demo version, Lite version and Not for Resale version, PremiumSoft and its suppliers disclaim all other warranties and representations, whether express, implied, or otherwise, including the warranties of merchantability or fitness for a particular purpose. Also, there is no warranty of non-infringement and title or quiet enjoyment. PremiumSoft does not warrant that the Software is error-free or will operate without interruption. The Software is not designed, intended or licensed for use in hazardous environments requiring fail-safe controls, including without limitation, the design, construction, maintenance or operation of nuclear facilities, aircraft navigation or communication systems, air traffic control, and life support or weapons systems. PremiumSoft specifically disclaims any express or implied warranty of fitness for such purposes.
- d. If applicable law requires any warranties with respect to the Software, all such warranties are limited in duration to thirty (30) days from the date of delivery.
- e. No oral or written information or advice given by PremiumSoft, its dealers, distributors, agents or employees shall create a warranty or in any way increase the scope of ANY warranty PROVIDED HEREIN.

7. LIMITATION OF LIABILITY

(a) Neither PremiumSoft nor its suppliers shall be liable to you or any third party for any indirect, special, incidental, punitive or consequential damages (including, but not limited to, damages for the inability to use equipment or access data, loss of business, loss of profits, business interruption or the like), arising out of the use of, or inability to use, the Software and based on any theory of liability including breach of contract, breach of warranty, tort (including negligence), product liability or otherwise, even if PremiumSoft or its representatives have been advised of the possibility of such damages.

8. Third Party Software

The Software may contain third party software which requires notices and/or additional terms and conditions. By accepting this EULA, you are also accepting the additional terms and conditions of the third party software.

9. General

No PremiumSoft dealer, agent or employee is authorized to make any amendment to this EULA.

This EULA contains the complete agreement between the parties with respect to the subject matter hereof, and supersedes all prior or contemporaneous agreements or understandings, whether oral or written. You agree that any varying or additional terms contained in any purchase order or other written notification or document issued by you in relation to the Software licensed hereunder shall be of no effect. The failure or delay of PremiumSoft to exercise any of its rights under this EULA or upon any breach of this EULA shall not be deemed a waiver of those rights or of the breach.

If any provision of this EULA shall be held by a court of competent jurisdiction to be contrary to law, that provision will be enforced to the maximum extent permissible, and the remaining provisions of this EULA will remain in full force and Effect.

10. Basis of Bargain

The Limited Warranty and Disclaimer and Limited Liability set forth above are fundamental elements of the basis of the agreement between PremiumSoft and you. PremiumSoft would not be able to provide the Software on an economic basis without such limitations. Such Limited Warranty and Disclaimer and Limited Liability inure to the benefit of PremiumSoft's licensors.

11. Term

By downloading and/or installing this SOFTWARE, the Licensor agrees to the terms of this EULA.

This license is effective until terminated. Licensor has the right to terminate your License immediately if you fail to comply with any term of this License.

"as is". Licensor makes no warranties, express or implied, arising from course of dealing or usage of trade, or statutory, as to any matter whatsoever. In particular, any and all warranties or merchantability, fitness for a particular purpose or non-infringement of third party rights are expressly excluded.

12. License Termination

Without prejudice to any other rights, PremiumSoft may terminate this EULA if you fail to comply with the terms and conditions of this EULA. In such event, you must destroy all copies of the software and all of its component parts.

13. Governing Law

This License will be governed by the laws in force in Hong Kong. You hereby consent to the non-exclusive jurisdiction and venue sitting in Hong Kong to resolve any disputes arising under this EULA.

Should you have any questions concerning the validity of this License, please contact: licensing@navicat.com. If you desire to contact the Licensor for any other reason, please contact support@navicat.com.

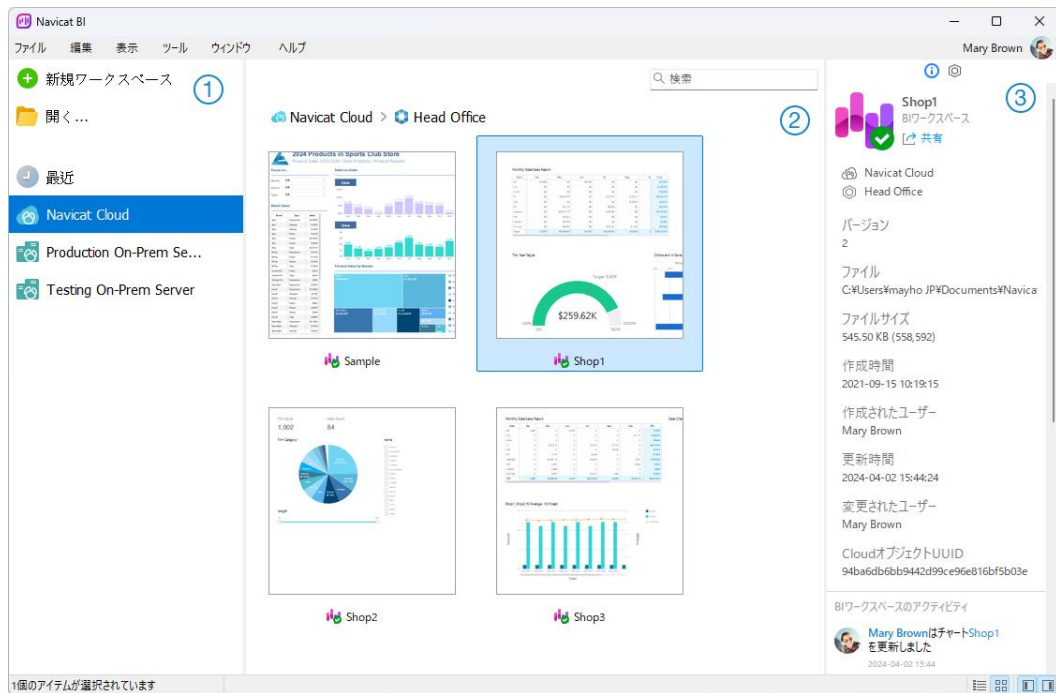
PremiumSoft and other trademarks contained in the Software are trademarks or registered trademarks of PremiumSoft CyberTech Ltd. in the United States and/or other countries. Third party trademarks, trade names, product names and logos may be the trademarks or registered trademarks of their respective owners. You may not remove or alter any trademark, trade names, product names, logo, copyright or other proprietary notices, legends, symbols or labels in the Software. This EULA does not authorize you to use PremiumSoft or its licensors names or any of their respective trademarks.

2 - メイン UI

このセクションでは、Navicat BI のメインウィンドウについて、レイアウト、主要コンポーネント、機能ペインを説明します。ビジネスインテリジェンスプロジェクトをスムーズに操作し、アセットの依存関係を把握するのに役立ちます。

メインウィンドウ

メイン画面は、3 つの主要な領域で構成されています。



① ナビゲーションペイン

ナビゲーションペインは操作の起点となる領域で、ローカルのワークスペースファイルを開いたり、最近開いたワークスペースにすばやくアクセスしたり、Navicat Cloud や Navicat On-Prem Server に安全に保存されたファイルを取得したりできます。ペインが表示されていない場合は、**表示** -> **ナビゲーションペインを表示**を選択します。

② 内容ペイン

コンテンツペインには、ナビゲーションペインで現在選択しているセクションに含まれる、利用可能なすべてのワークスペースが表示されます。表示を変更するには、ウィンドウ下部の **詳細** または **アイコン** ボタンをクリックします。

③ 情報ペイン

情報ペインには、状況に応じたメタデータが 2 つのセクションに分かれて表示されます。

① **基本タブ**には、アクティブなワークスペースまたは選択した項目の基本情報とプロパティが表示されます。

② **プロジェクトタブ**には、現在のプロジェクトメンバーと、最近のチームアクティビティの記録が表示されます。**+**をクリックしてメンバーをプロジェクトに追加します。

ペインが表示されていない場合は、**表示 -> 情報ペインを表示**を選択します。

3- コラボレーション

Navicat Cloud

Navicat Cloud は、接続設定、クエリ、集約パイプライン、スニペット、モデルワークスペース、BI ワークスペース、仮想グループ情報、および個人用の設定プロファイルを同期するために、PremiumSoft が提供するクラウドサービスです。

Navicat Cloud からお客様のデータベースに接続したり、アクセスしたりすることはできません。つまり、保存されるのは設定とファイルのみで、データベースのパスワードやデータ（テーブル、ビューなど）が Navicat Cloud に保存されることはありません。

注意：ソフトウェアでサインインできる Navicat Cloud アカウントは 1 つだけです。PremiumSoft は、同期されるすべてのファイルを極秘に保持します。そして、すべての従業員に対して、ユーザーが Navicat Cloud アカウントに保存するファイルの内容を見ること／アクセスすることを禁止しています。

Navicat Cloud アカウントの作成

1. 右上の **Cloud を管理** をクリックします。
2. Cloud を管理ウィンドウで、**Navicat Cloud** を選択します。
3. **Navicat ID の作成** をクリックします。
4. 必要な情報を入力し、**サインアップ** をクリックします。確認用 E メールがお客様の E メールアドレスに送信されます。
5. その E メール内のリンクをクリックして、新しいアカウントの確認を行います。

ヒント： Navicat カスタマーセンターでお使いの Navicat ID を使用して、サインインすることができます。

Navicat Cloud にサインインする

1. 右上の **Cloud を管理** をクリックします。
2. Cloud を管理ウィンドウで、**Navicat Cloud** を選択します。
3. **Navicat ID とパスワード** を入力します。
4. **サインイン** をクリックします。
5. [Navicat Cloud Portal](#) サイトでの 2 段階認証を有効にしている場合、コードがお客様の電話にモバイルアプリを通じて送られます。サインインするために、受け取ったコードを入力します。

Navicat Cloud からサインアウトする

1. Navicat Cloud の全てのワークスペースを閉じます。

2. 右上にあるアバターをクリックします。
3. Cloud を管理ウィンドウで、**Navicat Cloud** を選択します。
4. **サインアウト**をクリックします。

使用状況の表示

1. 右上にあるアバターをクリックします。
2. Cloud を管理ウィンドウで、**Navicat Cloud** を選択します。
3. 使用量と現在のプランが表示されます。

写真の変更

1. 右上にあるアバターをクリックします。
2. Cloud を管理ウィンドウで、**Navicat Cloud** を選択します。
3. アバターをクリックします。
4. 画像ファイルを選択します。

アカウントの管理

[Navicat Cloud Portal](#) で、パスワードの変更、2 段階認証の有効化、Cloud プランのアップグレードなどを行うことができます。

1. 右上にあるアバターをクリックします。
2. Cloud を管理ウィンドウで、**Navicat Cloud** を選択します。
3. **アカウント管理**をクリックします。
4. ウェブブラウザが自動的に開き、Navicat Cloud Portal が表示されます。

On-Prem Server

Navicat On-Prem Server は、Navicat のオブジェクト（接続設定、クエリ、集約パイプライン、スニペット、モデルワークスペース、BI ワークスペース、仮想グループ情報、および個人用の設定プロファイル）を保存するクラウド環境を、自社内でホストできるオンプレミス型のソリューションです。

On-Prem Server を追加する前に、まず使用される環境で Navicat On-Prem Server をセットアップする必要があります。

注意：ソフトウェアに複数の On-Prem Server を追加できます。

新しい On-Prem Server の追加

1. 右上の **Cloud を管理** をクリックします。
2. Cloud を管理ウィンドウで、+ **新規の On-Prem Server** -> **新規の On-Prem Server** を選択します。
3. On-Prem Server のログイン情報を入力します。

オプション	説明
ホスト	On-Prem Server のホスト名または IP アドレス。
ポート	On-Prem Server のポート番号。
サーバー証明書を確認	サーバー証明書を検証するためには、このオプションを有効にします。
プッシュ同期を有効にする	Navicat BI は、On-Prem Server に保存されているファイルが変更される度にサイレントプッシュ通知を受け取ります。

4. **確認** をクリックします。

URI を使用して新しい On-Prem Server を追加

1. 右上の **Cloud を管理** をクリックします。
2. Cloud を管理ウィンドウで、+ **新規の On-Prem Server** -> **URI を持つ新しい On-Prem Server** を選択します。
3. On-Prem Server URI を貼り付けます。
4. **確認** をクリックします。

注意： URI は、On-Prem Server ポータルサイトからコピーできます。

On-Prem Server にサインインする

1. 右上の **Cloud を管理** をクリックします。
2. Cloud を管理ウィンドウで、On-Prem Server を選択します。
3. **ユーザー名とパスワード** を入力します。
4. **サインイン** をクリックします。
5. 2 段階認証を有効にしている場合は、選択した認証方法によってコードが送信されます。サインインするために、受け取ったコードを入力します。

On-Prem Server からサインアウトする

1. On-Prem Server の全てのワークスペースを閉じます。
2. 右上にあるアバターをクリックします。
3. Cloud を管理ウィンドウで、On-Prem Server を選択します。

4. **サインアウト**をクリックします。

On-Prem Server の編集

1. On-Prem Server の全てのワークスペースを閉じます。
2. 右上にあるアバターをクリックします。
3. Cloud を管理ウィンドウで、On-Prem Server を選択します。
4. **サインアウト**をクリックします。
5. サーバーを右クリックし、**On-Prem Server を編集**を選択します。
6. On-Prem Server の情報を編集します。
7. サーバーにサインインします。

On-Prem Server の名前を変更

1. On-Prem Server の全てのワークスペースを閉じます。
2. 右上にあるアバターをクリックします。
3. Cloud を管理ウィンドウで、On-Prem Server を選択します。
4. **サインアウト**をクリックします。
5. サーバーを右クリックし、**名前を変更**を選択します。
6. On-Prem Server を表す名前を入力します。
7. サーバーにサインインします。

On-Prem Server の削除

1. On-Prem Server の全てのワークスペースを閉じます。
2. 右上にあるアバターをクリックします。
3. Cloud を管理ウィンドウで、On-Prem Server を選択します。
4. **サインアウト**をクリックします。
5. サーバーを右クリックし、**On-Prem Server を削除**を選択します。
6. **削除**をクリックします。

使用状況の表示

1. 右上にあるアバターをクリックします。
2. Cloud を管理ウィンドウで、On-Prem Server を選択します。
3. 使用状況が表示されます。

写真の変更

1. 右上にあるアバターをクリックします。
2. Cloud を管理ウィンドウで、On-Prem Server を選択します。
3. アバターをクリックします。
4. 画像ファイルを選択します。

アカウントの管理

On-Prem Server ウェブポータルで、パスワードの変更、2 段階認証の有効化などを行うことができます。

1. 右上にあるアバターをクリックします。
2. Cloud を管理ウィンドウで、On-Prem Server を選択します。
3. **アカウント管理**をクリックします。
4. ウェブブラウザが自動的に開き、On-Prem Server ウェブポータルが表示されます。

プッシュとキャッシュの管理

プッシュ同期

プッシュ同期では、同期対象ファイルが変更されるたびにバックグラウンドで通知を受信し、ローカルクライアントを即座に最新の状態へ更新します。

プッシュ同期を有効にする

1. 右上にあるアバターをクリックします。
2. Cloud を管理ウィンドウで、Navicat Cloud または On-Prem Server を右クリックします。
3. **プッシュ同期を有効にする**をオンにします。

プッシュ同期を無効にする

1. 右上にあるアバターをクリックします。
2. Cloud を管理ウィンドウで、Navicat Cloud または On-Prem Server を右クリックします。
3. **プッシュ同期を有効にする**をオフにします。

キャッシュとローカルコピー

Navicat Cloud または On-Prem Server にログインすると、Navicat BI はクラウドオブジェクトファイルと一部の情報をローカルコンピュータに保存します。キャッシュとローカルコピーを使用して、変更がクラウドに保存されていることを確認します。

キャッシュとローカルコピーのクリア

1. 右上にあるアバターをクリックします。
2. Cloud を管理ウィンドウで、Navicat Cloud または On-Prem Server を選択します。
3. **サインアウト**をクリックします。
4. Navicat Cloud または On-Prem Server を右クリックし、**キャッシュとローカルコピーをクリア**を選択します。
5. **クリア**をクリックします。

格納フォルダを開く

1. メインウィンドウで、Navicat Cloud または On-Prem Server を選択します。
2. プロジェクトを開きます。
3. プロジェクト内の任意の場所を右クリックし、**格納フォルダを開く**を選択します。

プロジェクトの操作

プロジェクトは、Navicat オブジェクトを構造化および編成する方法です。複数の関連するオブジェクトを 1 つのプロジェクトに配置し、必要に応じてコラボレーションのためにそのプロジェクトを他のアカウントと共有できます。

新しいプロジェクトを作成する

1. メインウィンドウで、**Navicat Cloud** または On-Prem Server を選択します。
2. **+ 新規プロジェクト**をクリックします。
3. 新しいプロジェクトの名前を入力します。
4. **確認**をクリックします。

既存のプロジェクトを管理する

プロジェクトの名前を変更する

1. メインウィンドウで、プロジェクトを右クリックし、**名前を変更**を選択します。
2. 新しいプロジェクト名を入力します。

注意：プロジェクトの所有者と、管理と編集可能権限を持つメンバーのみが、プロジェクトの名前を変更できます。

プロジェクトを削除する

1. メインウィンドウで、プロジェクトを右クリックし、**プロジェクトを削除**を選択します。
2. **削除**をクリックします。

注意：プロジェクトを削除できるのは、プロジェクトオーナーだけです。

注意：プロジェクトを削除する前に、プロジェクト内の全てのオブジェクトを削除する必要があります。

プロジェクトを終了する

1. メインウィンドウで、プロジェクトを右クリックし、**プロジェクトを終了**を選択します。
2. **確認**をクリックします。

メンバーを追加

1. メインウィンドウで、プロジェクトを右クリックし、**メンバーを管理**を選択します。
2. **メンバーを追加**をクリックします。
3. [Navicat Cloud] メンバーの Navicat ID を入力し、ENTER を押します。
4. [On-Prem Server] 追加したいユーザーのボックスにチェックを入れます。
5. メンバーの権限選択します。
6. **追加**をクリックします。

メンバーの権限	権限
管理と編集可能	オブジェクトの読み取り、オブジェクトの書き込み、メンバーの管理、および、プロジェクトの名前変更
編集可能	オブジェクトの読み取り、オブジェクトの書き込み
閲覧可能	オブジェクトの読み取り

既存のメンバーを管理する

メンバーの権限を編集するためには

1. メインウィンドウで、プロジェクトを右クリックし、**メンバーを管理**を選択します。

2. メンバーの横にあるドロップダウンリストを使用して、権限を変更します。
3. **適用**をクリックします。

プロジェクトからメンバーを削除するためには

1. メインウィンドウで、プロジェクトを右クリックし、**メンバーを管理**を選択します。
2. メンバーの横にある **X** アイコンをクリックします。
3. **適用**をクリックします。

接続の管理

Navicat Cloud または On-Prem Server に同期される接続を管理できます。メニューバーで、**ツール -> Cloud 接続を管理**を選択します。

新しい接続を作成する

1. Cloud 接続を管理ウィンドウで、プロジェクトを選択します。
2. **新規**をクリックして**新しい接続**を選択し、サーバータイプを選択します。
3. **新しい接続**ウィンドウにサーバーのログイン情報を入力します。

接続を編集する

1. Cloud 接続を管理ウィンドウで、接続を右クリックし、**接続を編集**を選択します。
2. 接続設定を変更します。
3. **確認**をクリックします。

接続を削除する

1. Cloud 接続を管理ウィンドウで、接続を右クリックし、**接続を削除**を選択します。
2. 確認ダイアログで**削除**をクリックします。

バーチャルグループの管理

バーチャルグループの目的は、全てのオブジェクトを効率的に維持するために、カテゴリによってオブジェクトを論理的に分類するためのプラットフォームを提供することです。Navicat Cloud／On-Prem Server の接続とワークスペースに適用できます。

接続

新しいグループを作成する

1. メニューバーで、**ツール** -> **Cloud 接続を管理**を選択します。
2. Cloud 接続を管理ウィンドウで、プロジェクトを右クリックし、**新しいグループ**を選択します。
3. 新しいグループの名前を入力します。

接続をグループに移動する

1. Cloud 接続を管理ウィンドウで、接続を右クリックし、**グループを管理** -> **移動**を選択します。
2. 既存のグループを選択します。

接続を最上位に移動する

1. Cloud 接続を管理ウィンドウで、接続を右クリックし、**グループを管理** -> **グループから外す**を選択します。

ヒント：ドラッグアンドドロップメソッドを使用してオブジェクトを移動することもできます。

ワークスペース

新しいグループを作成する

1. メインウィンドウで、Navicat Cloud または On-Prem Server を選択します。
2. プロジェクトを開きます。
3. プロジェクト内の任意の場所を右クリックし、**新しいグループ**を選択します。
4. 新しいグループの名前を入力します。

ワークスペースファイルをグループに移動する

1. メインウィンドウで、ワークスペースを右クリックし、**グループを管理** -> **移動**を選択します。
2. 既存のグループを選択します。

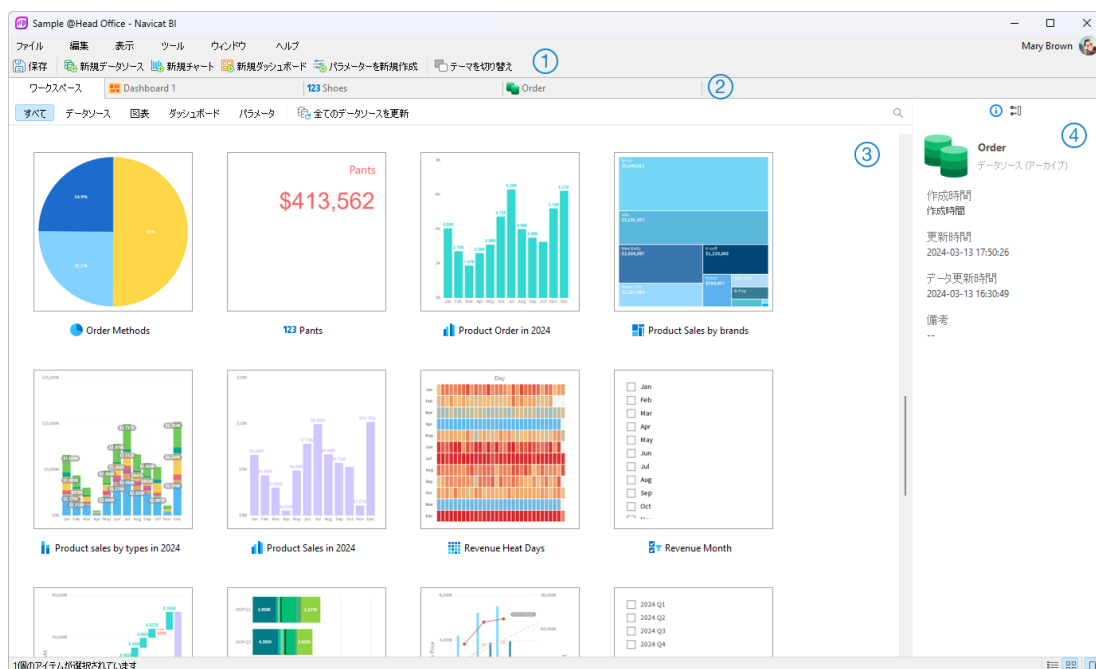
ワークスペースファイルを最上位に移動する

1. メインウィンドウで、ワークスペースを右クリックし、**グループを管理** -> **グループから外す**を選択します。

ヒント：ドラッグアンドドロップメソッドを使用してオブジェクトを移動することもできます。

4 - ワークスペース

ワークスペースは、ダッシュボード、チャート、データソース、パラメーターで構成される一元的なリポジトリです。1つのワークスペース内で複数の項目を作成・管理できます。



ワークスペースの構成要素

① ワークスペースツールバー

ワークスペースツールバーには、データソース、チャート、ダッシュボード、パラメーターを簡単に新規作成できるクイックアクセスコントロールがあります。

② タブバー

タブバーにはアクティブなビューが表示され、開いている各項目をシームレスに切り替えられます。

③ 内容ペイン

コンテンツペインには、ワークスペース内に保存されているすべての設計アセットが表示されます。すべて、データソース、チャート、ダッシュボード、パラメータのクイックフィルターカテゴリを使用して、アセット一覧をすぐに絞り込みます。表示を変更するには、ウィンドウ下部の  **詳細** または  **アイコン** ボタンをクリックします。

詳細ビューでは、拡張メタデータを含む構造化されたテキストレイアウトで項目を一覧表示します。列ヘッダーをクリックすると、その属性でアセットを並べ替えられます。

アイコンビューでは、項目をサムネイル画像のグリッドとして表示します。

④ プロパティペイン

プロパティペインには、アセットの詳細な依存関係とメタデータが表示されます。

 **一般**タブには、ワークスペースまたは選択した項目の主要な構造情報が表示されます。

 **使用先**タブには、選択されたアイテムが依存しているアイテムが表示されます。

 **使用元**タブには、選択されたアイテムに依存するアイテムが表示されます。

ペインが非表示の場合、**表示** -> **プロパティを表示**を選択します。

ローカルワークスペースファイル

ワークスペースを作成するための基本的な手順は次のとおりです：

1. メインウィンドウで、 **新規ワークスペース**をクリックします。
2. データソース、チャート、ダッシュボードを作成します。
3. **ファイル** -> **保存**を選択します。
4. ファイル名を入力し、保存パスを選択します。
5. **保存**をクリックします。

Cloud クラウドワークスペースファイル

Navicat Cloud／On-Prem Server にログインしている場合、ワークスペースをプロジェクトに保存できます。

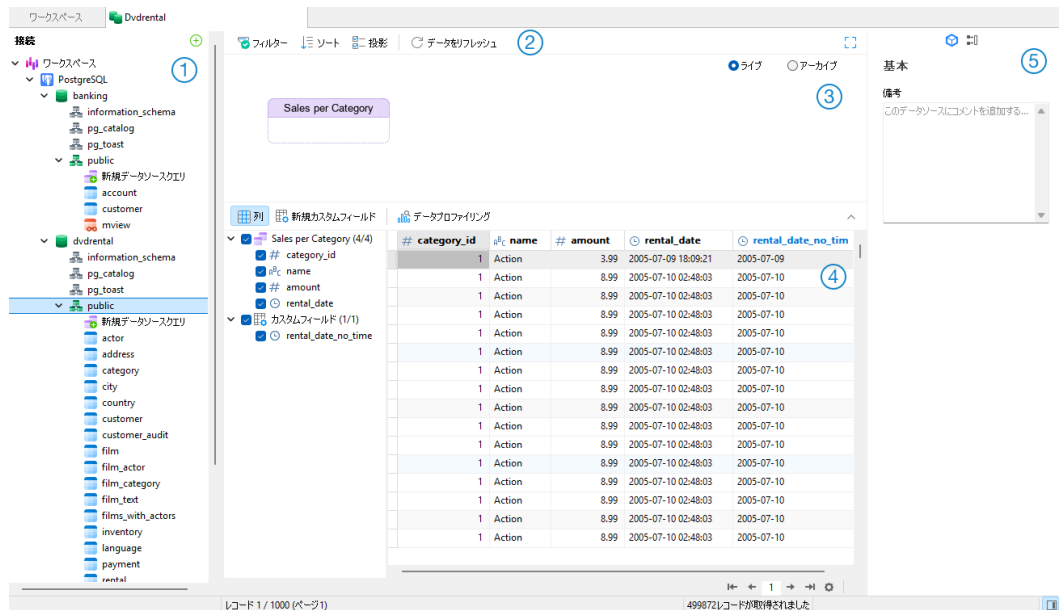
ワークスペースを作成するための基本的な手順は次のとおりです：

1. メインウィンドウで、 **新規ワークスペース**をクリックします。
2. データソース、チャート、ダッシュボードを作成します。
3. **ファイル** -> **Cloud に保存**を選択します。
4. ワークスペース名を入力し、プロジェクトを選択します。
5. **保存**をクリックします。

5 - データソース

データソースを作成

データソースは、接続内のテーブルまたはファイル/ODBC ソース内のデータを参照し、様々なサーバータイプのテーブルからデータを選択できます。データセットのフィールドを使用して、チャートを作成できます。チャートを作成する時は、チャートが使用するデータソースを指定する必要があります。



① 接続ペイン

接続ペインは、接続、データベース、テーブル、クエリをナビゲートするための基本的な方法です。

② データソースツールバー

データソースツールバーには、データの操作に使用できるコントロールが用意されています。

③ デザインペイン

デザインペインでは、データソースを視覚的に構築できます。

Navicat BI は、データに接続するための 2 つのモードを提供します：

ライブモードは、データソースが使用/ロードされている時はいつでも、サーバーからデータを取得します。リアルタイムの更新の利便性を提供し、基礎となるデータの変更が反映されます。

アーカイブモードは、データソースの作成時にサーバーからデータを取得し、取得したデータをワークスペースに保存して、後でチャートを作成する時に使用します。

④ プレビューペイン

プレビューペインには、データソースのデータが表示されます。

⑤ プロパティペイン

 **プロパティ**タブには、データソースの一般情報が表示されます。データソースにコメントを追加できます。

 **使用元**タブには、データソースに依存するチャートが表示されます。

ペインが非表示の場合、**表示** -> **プロパティを表示**を選択します。

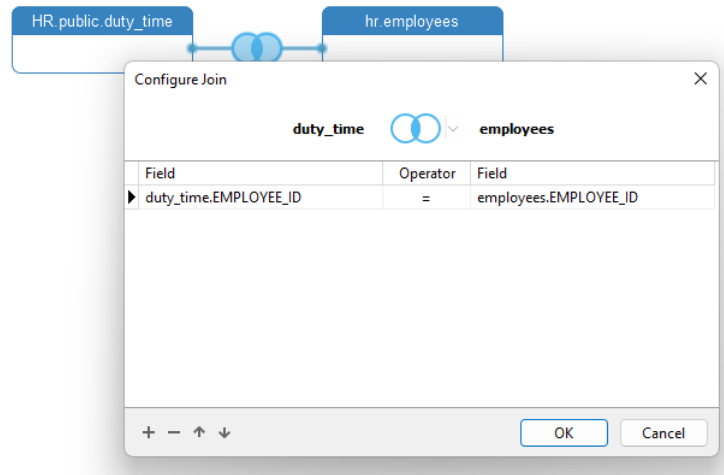
新しいデータソースの追加

データソースを作成するための基本的な手順は次のとおりです：

1. ワークスペースウィンドウで、 **新規データソース**をクリックします。
2. データソースの名前を入力し、希望の接続、ファイル、または既存のデータソースを選択します。

オプション	説明
データベース	Navicat Cloud または On-Prem Server の既存の接続を使用してデータソースを作成するか、ワークスペースで新しい接続を作成します。接続設定の詳細については、 データベースサーバーへの接続 を参照してください。
ファイル/ODBC	データをワークスペースにインポートするか、サポートされている外部ファイルまたは ODBC ソース内のデータにデータソースをリンクします。インポート手順の詳細については、 ファイル/ODBC からのデータのインポート を参照してください。
最近の接続	ワークスペース内の他の既存のデータソースで使用される接続を選択します。

3. **確認**をクリックします。
4. データソースを編集するためのタブが開きます。
5. さらに接続を追加する場合は、**+**をクリックして手順に従います。
6. テーブルを接続ペインからデザインペインにドラッグアンドドロップします。をクリックすることで、テーブルデータを表示できます。 をクリックすることで、テーブルデータを表示できます。
7. 結合を作成するためにノードを別のノードにドラッグアンドドロップします。
8. 結合タイプを設定し、必要に応じてフィールドを結合します。



ヒント：結合を作成した後、コネクタの結合アイコンをクリックすることで、いつでも結合設定を変更できます。

9. **ライブ**モードまたは**アーカイブ**モードを選択します。
10. データを表示するためには、**データを適用してリフレッシュ**をクリックします。

データベース接続にクエリの追加

データベース接続の場合、クエリ結果を保存して新しいデータセットを作成できます。

新しいクエリを作成するためには

1. 接続ペインで、 **新規データソースクエリ**をダブルクリックします。
2. **クエリエディタ**でステートメントを書きます。**クエリビルダ**を使用して、クエリを視覚的に作成することもできます。
3. **クエリを保存**をクリックします。
4. クエリの名前を入力し、**保存**をクリックします。

集計パイプラインをデータベース接続に追加

MongoDB データベース接続の場合、集計パイプラインの結果を保存して新しいデータセットを作成できます。

新しいパイプラインを作成するためには

1. 接続ペインで、 **新しいデータソース集計パイプライン**をダブルクリックします。
2. **パイプラインビルダ**を使用してパイプラインを構築します。
3. **パイプラインを保存**をクリックします。
4. パイプラインの名前を入力し、**保存**をクリックします。

データベース接続

データベースサーバーに接続

Navicat BI は、Windows、macOS、Linux、UNIX など複数のプラットフォーム上のリモートサーバーへの接続に対応し、PAM、Kerberos、LDAP などの高度な認証方式もサポートしています。

標準接続を作成する

1. 新規データソースウィンドウでサーバータイプを選択し、**次へ**をクリックします。
2. **ワークスペースで新しい接続**を選択します。
3. 必要な情報を入力します。
4. **確認**をクリックします。

URI を使用して接続を作成

1. 新規データソースウィンドウでサーバータイプを選択し、**次へ**をクリックします。
2. **ワークスペースで新しい接続**を選択します。
3. **インポート設定 -> URI** をクリックします。
4. Navicat URI または MongoDB URI を貼り付けます。
5. **適用**をクリックします。
6. Navicat BI は、接続ウィンドウのオプションを自動的に入力します。必要に応じて接続情報を変更してください。
7. **確認**をクリックします。

ヒント : Navicat URI は、接続を編集ウィンドウからコピーできます。

プロジェクトの接続を使用

1. 新規データソースウィンドウでサーバータイプを選択し、**次へ**をクリックします。
2. **プロジェクトから接続を使用する**を選択します。
3. 使用する接続を選択します。
4. **確認**をクリックします。

プロジェクト内の他の接続を使用して接続を作成

1. 新規データソースウィンドウでサーバータイプを選択し、**次へ**をクリックします。
2. **ワークスペースで新しい接続**を選択します。
3. **インポート設定** -> **プロジェクトから接続設定をインポート**をクリックします。
4. 設定をコピーする接続を選択します。
5. **確認**をクリックします。

基本設定

ローカルまたはリモートサーバーへの新しい接続を確立するには、**一般**タブで主要なログインパラメーターを設定する必要があります。インターネットサービスプロバイダー（ISP）がサーバーへの直接アクセスを制限している場合、Navicat BI ではデータベースに応じて SSH（Secure Shell）トンネルや HTTP トンネルなどの代替接続方法を利用できます。

各対応データベースシステムで利用できる設定オプションは次のとおりです。

MySQL/MariaDB

SSL、SSH、HTTP トンネルをサポートします。

オプション	説明
接続名	接続を最もよく表すわかりやすい名前を入力します。
追加先	Navicat Cloud または On-Prem Server にログインしたら、接続を My Connections またはプロジェクトに保存することを選択できます。
ホスト	データベースが配置されているホスト名またはサーバーの IP アドレス。
エンドポイント	Amazon Web Services のインスタンスに接続するためのエンドポイント。
ポート	データベースサーバーに接続するための TCP/IP ポート。
ユーザー名	データベースサーバーに接続するためのユーザー名。
パスワード	データベースサーバーに接続するためのパスワード。

Oracle

SSH トンネルをサポートします。

オプション	説明
接続名	接続を最もよく表すわかりやすい名前を入力します。
追加先	Navicat Cloud または On-Prem Server にログインしたら、接続を My Connections またはプロジェクトに保存することを選択できます。
接続種類	Basic - Basic モードでは、Navicat は、Oracle Call Interface（OCI）を通して Oracle サーバーに接続します。 TNS - TNS モードでは、Navicat は、tnsnames.ora ファイルのエイリアスエントリーを利用し、Oracle Call Interface（OCI）を通して Oracle

	サーバーへ接続します。
ホスト	データベースが配置されているホスト名またはサーバーの IP アドレス。
エンドポイント	Amazon Web Services のインスタンスに接続するためのエンドポイント。
ポート	データベースサーバーに接続するための TCP/IP ポート。
サービス名	サービス名または SID を入力します。対応するラジオボタンを選択します。
ネットサービス名	ネットサービス名を入力します。
ユーザー名	データベースサーバーに接続するためのユーザー名。
パスワード	データベースサーバーに接続するためのパスワード。

注意：OCI は、アプリケーションプログラミングインターフェースであり、Oracle データベースサーバーにアクセスし、SQL ステートメント実行の全段階をコントロールするための、第三世代言語の固有のプロシージャもしくはファンクションコールをアプリケーション開発者が利用できるようにします。OCI は、標準的なデータベースのアクセスと検索機能を持つダイナミックリンクライブラリ形式のライブラリです。参照：[OCI オプション](#)

PostgreSQL

SSL、SSH、HTTP トンネルをサポートします。

オプション	説明
接続名	接続を最もよく表すわかりやすい名前を入力します。
追加先	Navicat Cloud または On-Prem Server にログインしたら、接続を My Connections またはプロジェクトに保存することを選択できます。
ホスト	データベースが配置されているホスト名またはサーバーの IP アドレス。
エンドポイント	Amazon Web Services のインスタンスに接続するためのエンドポイント。
ポート	データベースサーバーに接続するための TCP/IP ポート。
初期データベース	接続を行う時にユーザーが接続する初期データベース。
ユーザー名	データベースサーバーに接続するためのユーザー名。
パスワード	データベースサーバーに接続するためのパスワード。

SQL Server

SSH トンネルをサポートします。

オプション	説明
接続名	接続を最もよく表すわかりやすい名前を入力します。
追加先	Navicat Cloud または On-Prem Server にログインしたら、接続を My Connections またはプロジェクトに保存することを選択できます。
ホスト	データベースが配置されているホスト名またはサーバーの IP アドレス。
エンドポイント	Amazon Web Services のインスタンスに接続するためのエンドポイント。

初期データベース	接続を行う時にユーザーが接続する初期データベース。
認証	SQL Server 認証 - ログイン レコードを使用して接続を検証します。 Windows 認証 - ユーザーが Windows ユーザーアカウントで接続する時、SQL Server は、オペレーティングシステムの Windows プリンシパルトークンを使用してアカウント名とパスワードを検証します。 Microsoft Entra - Password - Microsoft Entra ID の ID とパスワードを使用してサーバーに接続します。 Microsoft Entra - Integrated - Microsoft Entra ID と連携した Windows ID をを使用してサーバーに接続します。 Microsoft Entra - MFA - 多要素認証（MFA）が有効になっているユーザーアカウントを使用してサーバーに接続します。 Microsoft Entra - Managed Identity - Microsoft Entra マネージド ID を使用して、SQL Database または SQL Managed Instance 内のデータベースに対して認証します。 Microsoft Entra - Service Principal - Microsoft Entra サービスプリンシパル (Microsoft Entra アプリケーション) を使用して、SQL Database または SQL Managed Instance 内のデータベースに対して認証します。
ユーザー名	データベースサーバーに接続するためのユーザー名。
パスワード	データベースサーバーに接続するためのパスワード。

SQLite

HTTP トンネルをサポートします。

オプション	説明
接続名	接続を最もよく表すわかりやすい名前を入力します。
追加先	Navicat Cloud または On-Prem Server にログインしたら、接続を My Connections またはプロジェクトに保存することを選択できます。
タイプ	既存データベースファイル - データベースファイルにある既存データベースに接続します。 新規 SQLite 3 - データベースファイルに新しい SQLite 3 データベースを作成します。 新規 SQLite 2 - データベースファイルに新しい SQLite 2 データベースを作成します。
データベースファイル	初期データベースファイルを指定します。HTTP トンネルを使用する場合は、ウェブサーバーにあるデータベースファイルの絶対ファイルパスを入力する必要があります。
ユーザー名	データベースサーバーに接続するためのユーザー名。
パスワード	データベースサーバーに接続するためのパスワード。

MongoDB

SSL、SSH トンネルをサポートします。

オプション	説明
接続名	接続を最もよく表すわかりやすい名前を入力します。
追加先	Navicat Cloud または On-Prem Server にログインしたら、接続を My Connections またはプロジェクトに保存することを選択できます。
タイプ	MongoDB サーバーの種類 : Standalone、Shard Cluster または Replica Set。
SRV レコード	SRV レコードを使用してサーバーに接続するためには、このオプションにチェックを付けます。
ホスト	データベースが配置されているホスト名またはサーバーの IP アドレス。
エンドポイント	Amazon Web Services のインスタンスに接続するためのエンドポイント。
ポート	データベースサーバーに接続するための TCP/IP ポート。
メンバー	レプリカセットのメンバーまたはシャードされたクラスターのインスタンスを接続に追加または削除します。
環境設定を読む	この接続のレプリカセットの読み込み設定を選択します。
レプリカセット	レプリカセットの名前。
認証	None - 認証なし。 Password - ユーザー名とパスワードに関連づけられている認証データベースの名前を指定します。 LDAP - ユーザー名とパスワードを指定します。 Kerberos - Kerberos のサービス名とユーザーのプリンシパルを設定します。 X.509 - x.509 証明書認証。

MongoDB の URI を使用

MongoDB サーバーに接続するために MongoDB の URI を使用することも可能です。**設定をインポート** -> **URI** をクリックし、URI を貼り付けるだけです。Navicat BI は、基本、SSL、SSH タブにオプションを自動的に入力します。

Snowflake

オプション	説明
接続名	接続を最もよく表すわかりやすい名前を入力します。
追加先	Navicat Cloud または On-Prem Server にログインしたら、接続を My Connections またはプロジェクトに保存することを選択できます。
設定方法	データベースサーバーの設定方法を選択します。ユーザー資格情報（デフォルト）、データソース名（DSN）、ネイティブ SSO、またはブラウザベースの SSO のいずれかを使用します。
ホスト	データベースが配置されているホスト名またはサーバーの IP アドレス。
ウェアハウス	接続後に使用するウェアハウス。
ロール	使用するデフォルトのアクセス制御ロール。
ポート	データベースサーバーに接続するための TCP/IP ポート。
ユーザー名	データベースサーバーに接続するためのユーザー名。

パスワード	データベースサーバーに接続するためのパスワード。
MFA パスコードを使用する	ユーザーアカウントで多要素認証（MFA）が有効になっている場合は、このオプションにチェックを付けます。
データソース	設定したデータソースを選択します。
ネイティブ SSO URL	Okta アカウントの Okta URL エンドポイント。

GaussDB

SSL、SSH トンネルをサポートします。

オプション	説明
接続名	接続を最もよく表すわかりやすい名前を入力します。
追加先	Navicat Cloud または On-Prem Server にログインしたら、接続を My Connections またはプロジェクトに保存することを選択できます。
タイプ	GaussDB サーバーのタイプ：単一ホストまたは複数ホスト。
ホスト	データベースが配置されているホスト名またはサーバーの IP アドレス。
ポート	データベースサーバーに接続するための TCP/IP ポート。
ホストタイプの設定	接続されるホストのタイプ。
初期データベース	接続を行う時にユーザーが接続する初期データベース。
ユーザー名	データベースサーバーに接続するためのユーザー名。
パスワード	データベースサーバーに接続するためのパスワード。

Dameng

SSH トンネルをサポートします。

オプション	説明
接続名	接続を最もよく表すわかりやすい名前を入力します。
追加先	Navicat Cloud または On-Prem Server にログインしたら、接続を My Connections またはプロジェクトに保存することを選択できます。
設定方法	データベースサーバーの設定方法を選択します。ユーザー認証情報（デフォルト）またはデータソース名（DSN）のいずれかを使用します。
ホスト	データベースが配置されているホスト名またはサーバーの IP アドレス。
ポート	データベースサーバーに接続するための TCP/IP ポート。
ユーザー名	データベースサーバーに接続するためのユーザー名。
パスワード	データベースサーバーに接続するためのパスワード。
データソース	設定したデータソースを選択します。

詳細設定

基本的なログイン認証情報だけでも接続できますが、複雑なネットワークや厳格なセキュリティポリシーでは、より詳細なカスタマイズが必要になる場合があります。[詳細](#)タブでは、タイムアウト、セキュリティ、ドライバー設定を細かく制御できます。

注意：以下のオプションは接続サーバーの種類に依存し、昇順でソートします。

オプション	説明
暗号名	暗号化された SQLite データベースに接続する場合は、暗号化アルゴリズムを選択します。
クライアント側の文字セット	Navicat BI で使用されるセッションクライアントのキャラクターセットを選択します。
クライアントドライババージョン	サーバーへの接続に使用されるクライアントドライバを選択します。デフォルトのドライバが機能しない場合は、この設定をレガシーに変更できます。
互換性	MySQL 接続の互換モードを設定するためには、互換性タブを有効にします。
接続パラメータ	他のタブに表示される同等のオプションがない高度なパラメータを入力します(例:Trusted_Connection=yes;ApplicationIntent=ReadOnly)。
接続タイムアウト	タイムアウトになる前に接続が確立されるまで待機する時間を指定します。
エンコード	Navicat UI に表示するデータを変換するためのコードページを選択します。
暗号化	暗号化された SQLite データベースに接続する場合、このオプションを有効にし、 パスワード を提供してください。
実行タイムアウト	サーバー上でタスクの実行が完了するまでの待機時間を指定します。
最初のクエリ	サーバーに接続する時に実行される最初のクエリコマンドを指定します。
Keepalive 間隔	ping を実行することによってサーバーとの接続を維持します。ping 間の間隔を編集ボックスに設定することができます。
接続セッションを制限	サーバーが許可する最大同時接続数を指定します。
ネイティブクライアント・ドライバ	接続に使用される SQL Server Native Client を選択します。
OS 認証	データベースユーザーの認証に OS ユーザーのログイン認証情報を使用します。
読み取りタイムアウト	読み取りを中止する前に、接続からのさらなるデータを待機する時間を指定します。
再試行可能な読み取り	このオプションを無効にして、接続文字列に"retryReads=false"を指定します。
再試行可能な書き込み	このオプションを無効にして、接続文字列に"retryWrites=false"を指定します。
ロール	データベースユーザーが、Default、SYSOPER、SYSDBA のいずれのシステム権限を用いて接続するかを示します。
サーバー選択タイムアウト	例外をスローする前にサーバー選択をブロックする時間を指定します。
ソケットタイムアウト	非アクティブなソケットを閉じるまでの待機時間を指定します。
サーバー証明書を信頼する	サーバー証明書を検証する手順をスキップします。サーバー証明書は自動的に信頼されます。
圧縮を使用	圧縮プロトコルを使用することができます。クライアントとサーバーの

	両方が zlib 圧縮をサポートし、クライアントが圧縮を要求する場合に、圧縮プロトコルが使用されます。
暗号化を使用	SQL Server 接続に暗号化を使用します。
名前付きパイプ、ソケットを使用	ローカルホスト接続にソケットファイルを使用します。
書き込みタイムアウト	書き込みを中止する前に、ブロックが接続に書き込まれるまで待機する時間を指定します。

互換性設定

サーバーが MySQL のバリエーションであるか、プロキシミドルウェアがインストールされている場合は、互換モードを有効にして、接続に対応する設定を行うことができます。

オプション	説明
次として lower_case_table_names を強制する	lower_case_table_name システム変数の値を設定します。
次として sql_mode を強制する	sql_mode システム変数の値を設定します。
次として NDB Cluster のサポートを強制する	NDBCLUSTER ストレージエンジンのサポートを含めるか除外します。
次としてデータベースの一覧表示方法を強制する	SHOW DATABASES ステートメントを使用して、データベースを一覧表示するための情報を取得するか、INFORMATION_SCHEMA データベースから情報を選択します。
次としてビューの一覧表示方法を強制する	SHOW FULL TABLES ステートメントを使用して、テーブルを一覧表示するための情報を取得するか、INFORMATION_SCHEMA データベースから情報を選択します。

データベース／追加データベース設定

Navicat BI では、接続環境内でのデータベースの表示方法やアクセス方法を柔軟に管理できます。サーバータイプに応じて、接続ペインに表示するデータベースを絞り込んだり、外部のデータベースファイルを接続にリンクしたりできます。

MySQL、Oracle、PostgreSQL、SQL Server、MariaDB、MongoDB

データベースタブでは、サーバーへの接続時に接続ペインに表示されるデータベースを設定できます。これは必須ではありません。

カスタムデータベース設定を有効にする

1. **カスタムデータベースリストを使用**オプションをオンにします。
2. **データベース**列で表示するデータベースをオンにします。

非表示のデータベースをリストに追加

1. **DB をリストに追加**ボタンをクリックしてください。
2. データベース名を入力してください。

3. データベースリストに新たに追加されたデータベースを確認します。

リストからデータベースを削除

1. データベースリストのデータベースを選択します。
2. **DB をリストから削除**ボタンをクリックしてください。

注意 : データベースはデータベースリストボックスから削除されるだけです。サーバーには存在したままです。

SQLite

追加データベースタブで、SQLite データベースファイルを接続に追加します。

データベースをアタッチする

データベースをアタッチするには、**データベースを追加**ボタンをクリックし、必要な情報を入力します。

オプション	説明
データベースファイル	データベースファイルのファイルパスを選択します。
データベース名	Navicat に表示するデータベース名を入力してください。
暗号化	このオプションにチェックを付け、データベースファイルが暗号化されている場合は パスワード を入力します。

データベースをデタッチする

データベースを切り離すためには、リストからそのデータベースを選択し、**データベースを切り離す**ボタンをクリックしてください。

SSL

セキュア・ソケット・レイヤー（SSL）は、インターネットを介して非公開の文書を送信するためのプロトコルです。安全な接続を確保するために、まず最初に OpenSSL ライブラリーをインストールし、データベースソースをダウンロードする必要があります。

注意 : MySQL/PostgreSQL/MariaDB/MongoDB でのみ使用可能です。PostgreSQL 8.4 以降でサポートされています。

MySQL/MariaDB

認証の詳細情報を提供するために、**認証を使用する**を有効にし、必要な情報を入力します :

オプション	説明
クライアントキー	安全な接続を確立するために使用される PEM 形式の SSL キーファイル。
クライアント証明書	安全な接続を確立するために使用される PEM 形式の SSL 証明書ファイル。
CA 証明書	信頼される SSL 証明書発行元リストを含む PEM 形式のファイルへのパス。

CA に対するサーバー証明書の検証	サーバーがクライアントに送る証明書に含まれるサーバーの Common Name の値を確認します。
暗号鍵	SSL 暗号化に使用するための許容暗号鍵のリスト。

PostgreSQL

SSL モードを選択します：

モード	説明
require	SSL 接続のみを試みます。
verify-ca	SSL 接続のみを試み、サーバー証明書が信頼される CA から発行されていることを検証します。
verify-full	SSL 接続のみを試み、サーバー証明書が信頼される CA から発行されていることと、そのサーバーのホスト名が証明書内のものと一致することを確認します。

認証の詳細情報を提供するために、**認証を使用する**を有効にし、必要な情報を入力します：

オプション	説明
クライアントキー	クライアントプライベートキーのパス。
クライアント証明書	クライアント証明書のパス。
ルート証明書	信頼される証明書発行元のパス。
証明書失効リスト	SSL の証明書失効リスト（CRL : Certificate Revocation List）のファイルパス。

MongoDB

認証の詳細情報を提供するために、**認証を使用する**を有効にし、必要な情報を入力します：

オプション	説明
クライアントキー	安全な接続を確立するために使用される PEM 形式の SSL キーファイル。
クライアントキーのパスワード	キーファイルのパスワード。
全てのサーバーSSL 証明書を許可する	MongoDB サーバーがサーバーSSL 証明書を許可する場合は、このオプションをオンにします。
CA 証明書	信頼される SSL 証明書発行元リストを含む PEM 形式のファイルへのパス。
証明書失効リスト	SSL の証明書失効リスト（CRL : Certificate Revocation List）のファイルパス。
無効なホスト名の許可	SSL 証明書で無効なホスト名を許可するためにはこのオプションにチェックを付けます。

SSH トンネリング

Secure SHell (SSH) は、ネットワークを介して他のコンピューターにログインしたり、リモートサーバー上でコマンドを実行したり、ひとつのマシンから別のマシンへファイルを移動したりするためのプログラムです。SSH は、厳密な認証を提供し、また、**SSH ポート転送 (トンネリング)** として知られる、安全ではないネットワーク上での 2 つのホスト間の安全な暗号化通信を提供しています。一般的に、Telnet の暗号化バージョンとして使用されます。

Telnet のセッション内では、ユーザー名やパスワードを含む全ての通信はテキスト形式で送られるため、誰もがセッションを盗聴したり、パスワードや他の情報を盗むことができます。また、そのようなセッションはセッションハイジャックされやすく、一度認証したセッションが悪意のあるユーザーに支配されてしまいます。SSH はそのような脆弱性を防ぐ働きをします。そして、SSH によって、セキュリティを侵害されることなく、リモートサーバーのシェルにアクセスすることができます。

注意 : MySQL / Oracle / PostgreSQL / SQL Server / MariaDB / MongoDB でのみ使用可能です。

サーバー設定

Linux サーバーのパラメータ - "AllowTcpForwarding" の値が "yes" に設定されていることを確認してください。そうではない場合、SSH ポート転送が無効になります。そのパスは、/etc/ssh/sshd_config です。デフォルトで、SSH ポート転送は有効になっているはずです。設定値を再確認してください。

サーバーが SSH トンネルをサポートしている場合でも、ポート転送が無効になっている場合、Navicat は、SSH ポート 22 を介して接続することはできません。

SSH 設定

SSH トンネルを確立するには、**SSH トンネルを使用する**を有効にして必要な情報を入力します。

オプション	説明
ホスト	SSH サーバーが起動してるホスト名。 注意 : 基本タブのホスト名は、お使いのデータベースホスティング会社によって提供される SSH サーバーに対して、相対的に設定されるべきです。
ポート	SSH サーバーが起動しているポート。デフォルトは 22 です。
ユーザー名	SSH サーバーマシンのユーザー。(データベースサーバーのユーザーではありません。)
認証方式	パスワード - SSH サーバーユーザーのパスワードを使用して認証します。 公開鍵 - 暗号鍵ペアを使用して認証します。 パスワード & 公開鍵 - パスワードと暗号鍵ペアの両方を使用して認証します。
パスワード	SSH サーバーユーザーのパスワードを指定します。
プライベートキー	公開鍵とともに使用されます。プライベートキーはユーザーのみが読めるはずです。
パスフレーズ	パスフレーズは、ユーザーが作成しているキーに適用されることと、アカウントではないこと以外は、パスワードと同じようなものです。

注意：HTTP トンネルと SSH トンネルは、同時に機能させることはできません。HTTP トンネルを選択すると SSH トンネルは無効となり、またその逆も同じです。

HTTP トンネリング

HTTP トンネリングは、ウェブサーバーが使用しているものと同じプロトコル (http://) と同じポート (ポート 80) を使用して、サーバーに接続する方法です。お使いの ISP が直接接続を許可しておらず、HTTP 接続の確立を許可している場合に、この方法が使用されます。

注意：MySQL/PostgreSQL/SQLite/MariaDB でのみ使用可能です。

トンネリングスクリプトのアップロード

この接続方法を使用するために、最初に、お使いのサーバーがあるウェブサーバーにトンネリングスクリプトをアップロードする必要があります。

注意：ntunnel_mysql.php (MySQL と MariaDB 用)、または、ntunnel_pgsql.php、ntunnel_sqlite.php は、Navicat BI のインストールフォルダに含まれています。

HTTP トンネルの設定

HTTP 接続の設定方法について説明します。

1. HTTP タブを選択し、**HTTP トンネルを使用する**を有効にします。
2. トンネリングスクリプトの URL を入力します、
例えば、http://www.navicat.com/ntunnel_mysql.php
3. お使いのサーバーに Web Application Firewall がインストールされている場合、**送信クエリを base64 エンコード**オプションを選択することができます。
4. トンネルスクリプトがパスワードで保護されたサーバーに置かれている場合、または、プロキシサーバーを介してインターネットにアクセスしなければならない場合は、**認証**または**プロキシ**タブに必要な認証詳細情報を入力することができます。

注意：HTTP トンネルと SSH トンネルは、同時に機能することはできません。HTTP トンネルを選択すると、SSH トンネルは無効となります。逆も同じです。

ファイル/ODBC 接続

データをワークスペースにインポートしたり、サポートされている外部ファイルまたは ODBC ソース内のデータにデータソースをリンクしたりできます。

インポートデータ

Navicat BI には、タスクを完了するためのステップバイステップのウィザードが用意されています：

1. 新規データソースウィンドウで、ファイル形式を選択し、**次へ**をクリックします。
2. インポートするファイルを選択します。
3. 必要に応じてテーブル名を変更し、**次へ**をクリックします。
4. ソースファイルを選択し、ファイル固有の設定を行います。
5. インポート先のテーブルを選択し、必要に応じてフィールドのマッピングまたは構造を調整します。
6. データをプレビューして、**確認**をクリックします。

ODBC からインポートする

ODBC 経由でデータをインポートするには、2 段階の設定が必要です。

ODBC データソース接続の設定

1. コントロールパネルにおいて、**管理ツール**を選択します。
2. **データソース (ODBC)**を選択します。
3. **ユーザー DSN** タブを選択します。
4. **追加**をクリックします。
5. 使用する ODBC ドライバーを選択し、**完了**をクリックします。
6. 必要な情報を入力します。
7. **確認**をクリックすると、ODBC ドライバーが一覧に表示されます。

Navicat BI での ODBC データソースへの接続

1. 新規データソースウィンドウで、**ODBC** を選択し、**次へ**をクリックします。
2. **プロバイダー**タブで、適切な ODBC ドライバーを選択します。
3. **接続**タブでデータソースを選択し、有効なユーザー名とパスワードを入力します。
4. 接続に成功すると、利用可能なすべてのテーブルが表示されます。

ソースファイルの設定

データのインポート時に、Navicat BI がソースファイルを解析・読み込みする方法を設定できます。利用可能なオプションは、選択したファイル形式に応じて動的に変わります。

オプション	説明
TXT、CSV	
レコード区切り文字	ファイルのレコード区切り文字を指定します。
区切り文字	テキストファイルを区切られた形式でインポートします。
固定長	テキストファイルを固定幅の形式でインポートします。インポート元のファイルの列の範囲を区切るためには、希望の位置をクリックして、区切り線を作成します。その線をドラッグすると、移動できます。ダブルクリックすると、削除できます。
フィールド区切り文字	フィールド区切り文字を指定します。
テキスト修飾子	テキスト値を囲む文字を指定します。
XML、JSON	
テーブル行を識別するタグ/コレクション行を識別するタグ	行を識別するタグを定義します。
タグ属性をテーブルフィールドとみなす/タグ属性をコレクションフィールドと見なす	例： <pre><row age="17"> <id>1</id> <name>size</name> </row></pre> このオプションを有効にすると、Navicat BI は、"id" や "name" とともに、"age" をフィールドとみなします。有効にしない場合、"id" と "name" のみがフィールドとしてインポートされます。 注意： Navicat BI は、多階層の XML ファイルをサポートしていません。
共通	
フィールド名の行	Navicat BI がフィールド名としてみなすべき行を示します。
先頭データ行	Navicat BI が実データを読み始めるべき行を示します。
最終データ行	Navicat BI が実データの読み込みをやめるべき行を示します。ファイルにフィールド名を全く定義しない場合、先頭データ行に 1 を、フィールド名の行に 0 を入力してください。
日付形式	日付の並び順を指定します（例：YMD、DMY、MDY）。
日付時刻順	日付、時刻、タイムゾーンの値を 1 つのデータフィールド内で組み合わせる際の順序と配置を指定します。
日付区切り	日付内で使用する区切り文字を指定します（例：/、-）。
年の区切り文字	年の内部で使用する区切り文字を指定します（例：:）。
時刻区切り	時刻内で使用する区切り文字を指定します（例：:）。
小数点	小数で使用する小数点記号を指定します（例：.、,）。
バイナリデータエンコーディング	ファイル内の生のバイナリブロックをインポートする方法を指定します（Base64 エンコード文字列として解析する、エンコードせずに処理するなど）。

クエリの追加

クエリエディタ

クエリエディターは、SQL スクリプトの記述、編集、調整を行うための高機能な環境です。Navicat BI には、専用のコード編集機能と SQL の整形機能を備えた、堅牢な開発環境が用意されています。

リアルタイムのエラー検出

Navicat BI は入力中のクエリを継続的に分析し、実行前に潜在的な問題を検出します。構文エラーや無効な列参照などの誤りを検出すると、問題のあるコードにただちに下線を表示します。マークされたコードにポインターを合わせると詳しいエラー説明が表示されるため、誤りをすぐに特定して修正できます。

ホバー情報

「ホバー情報」機能を使用すると、クエリの作成や修正作業を中断せずに情報を確認できます。クエリテキスト内のテーブル名または列名にポインターを合わせるだけで、タブを切り替えずに主要なメタデータをすぐに表示できます。

情報ポップアップには、作業を効率化するための次の対話型ツールが表示されます。

- **パンくずリストナビゲーション** - データベース階層内のオブジェクトの完全なパスを表示します。
- **DDL を表示** - ポインターを合わせたオブジェクトのデータ定義言語（DDL）をすばやく確認します。

宣言へ移動

Ctrl キーを押しながら識別子（テーブル名やフィールド名など）をクリックすると、その親へすぐに移動できます。。また、接続ペイン内で対象を特定して強調表示することもできます。

注意：既定の移動操作は[オプション](#)で設定できます。

クリップボードスタック

クリップボードスタックは、[コピー] と [切り取り] の拡張メモリとして機能し、後入れ先出し（LIFO）方式で最大 10 項目を保存します。

- **貼り付け** - CTRL+SHIFT+V キーを押します。
- **切り替え** - CTRL+SHIFT+V キーを繰り返し押し、目的のコードブロックが表示されるまでスタック内の項目を切り替えます。

コードの折りたたみ

コード折りたたみを使用すると、長いコードブロックを折りたたんで、特定の部分に集中できます。アイコンをクリックすると、コードの折りたたみと展開を切り替えられます。

- **折りたたみ可能なブロック** - 行番号の右側にあるガターの  アイコンで示されます。縦線は折りたたみ可能な範囲を示します。
- **折りたたまれたブロック** -  アイコンで示されます。

構文の強調表示

読みやすさを向上させるため Navicat はクエリに関連付けられたデータベースの種類に基づいてテキストの一部を色分けします。強調表示は、対象データベースの予約語に応じて変わります。

注意：これらの色は **オプション** で好みに合わせて変更できます。

括弧の強調表示

Navicat BI は、()、[]、{}、BEGIN...END など、対応する括弧の組み合わせを自動的に識別して強調表示します。括弧上またはそのすぐ横にカーソルを置くと、対応する括弧が強調表示されます。

注意：対応する括弧を強調表示するには、カーソルを括弧上に置く必要があります。

使用箇所の強調表示

識別子またはエイリアスをクリックすると、クエリ内にある同じ識別子のすべての使用箇所がすぐに強調表示されます。この視覚的な追跡により、複雑な結合や長いスクリプトも簡単に確認できます。

検索と置換

検索

[検索] バーを使用すると、エディター内のテキストをすばやく検索できます。メニューから **編集** -> **検索** を選択するか、Ctrl+F キーを押して開きます。

検索文字列を入力すると、現在のカーソル位置からファイルの末尾に向かって検索が開始されます。次の一致箇所を検索するには、**次へ** ボタンをクリックするか、F3 キーを押します。

置換

[置換] バーを開くには、**置換** をオンにし、検索するテキストと置換後のテキストを入力します。

置換 ボタンをクリックすると、最初の一致箇所が置換されます。

全て置換 ボタンをクリックすると、すべての一致箇所が自動的に置換されます。

高度な検索オプション

追加の検索オプションを表示するには、 アイコンまたは対応するドロップダウンメニューをクリックします。

オプション	説明
-------	----

すべてを強調	エディタで一致するものすべてを強調表示します。
インクリメンタルサーチ	文字が入力されている時に、検索文字列に一致するテキストを検索します。
大文字と小文字を区別	大文字小文字区別検索を有効にします。
正規表現	正規表現を検索します。
全ての文字を含む	検索文字列全体と一致するオブジェクトを返します。

ズームインとズームアウト

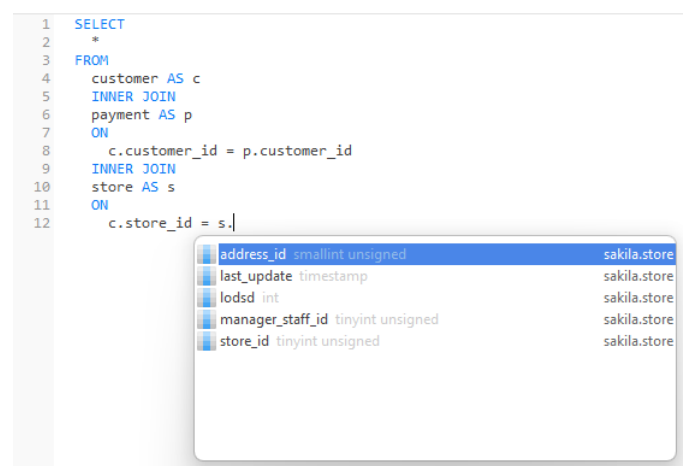
Navicat BI では、見やすさや操作性を向上させるため、エディター内の文字の表示倍率を調整できます。キーボード ショートカット：

- ズームイン：CTRL+=
- ズームアウト：CTRL+-
- リセット：CTRL+0

コード補完

コード補完機能は、コードと字句スコープを分析し、コンテキストに応じた正確な候補を提示します。次の機能により、コード作成を効率化します。

- **データベースオブジェクト候補** - 現在のスコープに関連するテーブル、ビュー、フィールドの一覧を、識別しやすいアイコンやメタデータとともに表示します。
- **JOIN 条件の補完** - 結合するテーブル間の外部キー関係または一致する列名を識別し、適切な ON 句の条件を自動的に提案します。
- **ステートメント支援** - SQL キーワードと一般的なステートメント構造を補助し、構文エラーを減らして生産性を向上させます。



コード補完を使用する

候補リストを表示・操作する方法は次のとおりです。

- データベースオブジェクト名の後に「.」を入力すると、利用可能なプロパティまたは子オブジェクトが表示されます。
- 文字を入力するか Esc キーを押すと、現在のカーソル位置に関連する SQL キーワードとデータベースオブジェクトの一覧が表示されます。
- 一覧から保存済みスニペット名を選択すると、対応するコードブロックがエディターへ直接挿入されます。

候補リストが表示されたら、次のショートカットを使用してコードを挿入します。

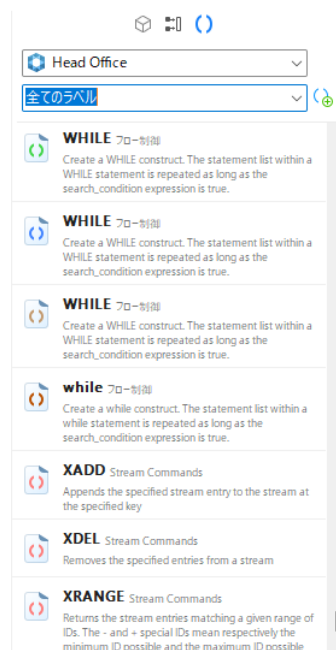
- Tab キーを押すと、一覧の最初の項目がすぐに挿入されます。この動作は[オプション](#)で変更できます。
- 上矢印キーまたは下矢印キーで一覧を移動し、Tab キーまたは Enter キーを押して選択項目を挿入します。

注意：この機能を有効または無効にするには、[オプション](#)で「コード補完」設定を変更します。

コードスニペット

コードスニペットを使用すると、ステートメントまたはスクリプトを作成する時に、再利用可能なコードをエディタに簡単に挿入できます。コードスニペットペインは、エディタの右側にあります。 アイコンをクリックすると、ライブラリを開くことができます。

ライブラリには、組み込みスニペットとユーザー定義スニペットが含まれます。ドロップダウンリストからラベルを選択するか、検索ボックスに検索文字列を入力して、リストをフィルタリングします。データベースのタイプに応じた使用可能なスニペットを表示したい場合、ライブラリで右クリックし、**他のデータベースタイプのスニペットを表示**を無効にします。

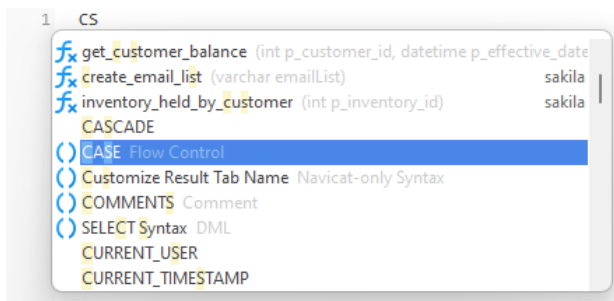


組み込みスニペットは編集不可です。ユーザー定義スニペットは、ライブラリ内のスニペットをダブルクリックすることによって編集可能です。組み込みスニペットを非表示にしたい場合、ライブラリで右クリックし、**前もって設定されたスニペットを表示**を無効にします。

コードスニペットを使用

2つの方法でエディタにスニペットを挿入できます。

- エディタでスニペットの名前を入力していきます。スマートコード補完は、単語を補完するための候補のリストを自動的にポップアップ表示します。リストからスニペット名を選択すると、保存されたコードがエディタに挿入されます。



- スニペットをライブラリからエディタにドラッグアンドドロップすることができます。

プレースホルダー付きのスニペットを挿入後、プレースホルダーの1つをクリックし、TAB キーを使用し、情報を入力することによって、それらに簡単に進むことができます。

```
1  SELECT
2  [field_name1],
3  [field_name2],
4  [field_name3]
5  FROM
6  [table1]
7  INNER JOIN
8  [table2] ON [condition1]
```

コードスニペットを作成

独自のスニペットを作成し、それらをライブラリに追加することができます。コードスニペットを作成するためには、エディタで希望のコードを選択してから、右クリックし、**スニペットを作成**を選択します。

別の方法として、コードスニペットペインの  をクリックします。この方法を使用する場合、新スニペットウィンドウに手動でコードを入力しなければなりません。エディタで選択されたコードはコードボックスに自動的に追加されません。

ヒント: コードスニペット（.nsnippet）は、[プロファイルの保存場所](#)の **snippets** フォルダに保存されます。

オプション/ボタン	説明
無題のテキストボックス	イブラリとコード補完リストに表示されるスニペットの名前を入力します。
データベースのタイプ	スニペットのデータベースサーバータイプを選択します。
ラベル	既存のラベルを選択するか、スニペットの新しいラベル名を入力します。
備考	ライブラリに表示されるスニペットの説明を入力します。
コード	コードを入力します。
	コード内の単語を強調表示することによってプレースホルダーを追加し、このボタンをクリックします。プレースホルダーはライトグリーン色で強調表示されます。



コード内の単語を強調表示することによってプレースホルダーを削除し、このボタンをクリックします。

プロジェクトにスニペットを移動／コピーする

Navicat Cloud または On-Prem Server にログインしている場合は、My Connections のカスタムスニペットをプロジェクトに同期できます。

1. スニペットを右クリックし、**スニペットの移動先**または**スニペットのコピー先**を選択します。
2. 既存のプロジェクトを選択します。
3. スニペットはプロジェクトに移動またはコピーされます。

ヒント：同様の方法で、プロジェクト内のスニペットを My Connections に移動／コピーできます。

クエリビルダ

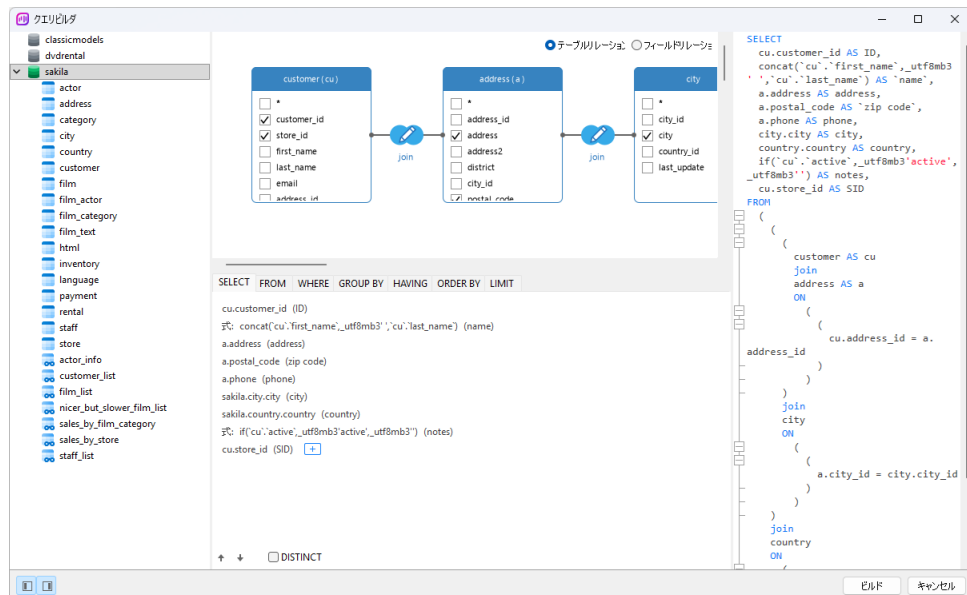
クエリビルダーは SQL の詳しい知識がなくてもクエリを作成・編集できるビジュアルツールです。経験豊富な開発者にとっても、グラフィカルなインターフェースでテーブル間の関係を可視化しながら、複雑なクエリをすばやく組み立てられます。

注意：MySQL／Oracle／PostgreSQL／SQLite／SQL Server／MariaDB／Snowflake でのみ使用可能です。

このツールを起動するには、[クエリデザイナー] 内の  **クエリビルダ**ボタンをクリックします。グラフィカルインターフェースは、主に次の 3 つの領域で構成されています。

- **左ペイン** - 利用可能なすべてのデータベースオブジェクトを一覧表示し、クエリへすぐに選択・追加できます。
- **中央ペイン** - 上下 2 つの機能領域に分かれています。上部はビジュアルなクエリ作成とエンティティ関係のマッピングに使用するキャンバスです。下部では SQL 句が操作可能なタブに分類され、クエリを細かく調整・設定できます。
- **右ペイン** - ビジュアル操作に応じて自動生成される SELECT 文を、読み取り専用でリアルタイムにプレビューします。

注意：クエリビルダーは SELECT 文の作成専用です。INSERT、UPDATE、DELETE などのデータ操作を実行する場合は、クエリエディターを使用してください。



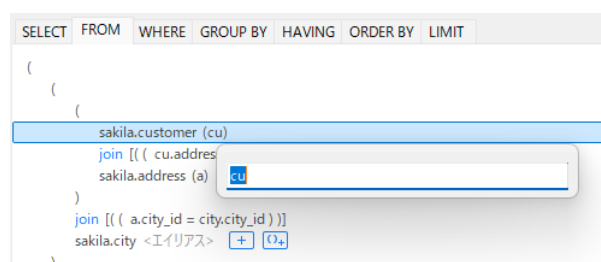
オブジェクトをクエリに追加する

クエリの作成を開始するには、必要なテーブルまたはビューを中央ペイン上部へ追加します。左ペインからオブジェクトを直接ドラッグするか、ダブルクリックして追加できます。

オブジェクトをダイアグラムへ配置した後、タイトルヘッダーをダブルクリックして名前を入力すると、簡単にエイリアスを割り当てられます。

中央ペインの **FROM** タブには、次の追加設定があります。

- **識別子を調整** - 識別子をクリックして変更します。
- **エイリアスを割り当て** - <エイリアス>プレースホルダーをクリックし、テーブルまたはビューのカスタムエイリアスを入力します。
- **結合を設定** - 結合の種類を変更し、オブジェクト間の関係を確立するフィールドを編集します。



ワークスペースからオブジェクトを削除するには、対象オブジェクトを右クリックして**削除**を選択するか、ダイアグラムで選択して Delete キーを押します。

注意：ダイアグラムからオブジェクトを削除すると、そのオブジェクトに関連付けられた結合関係も自動的に削除されます。

出力フィールドを選択する

クエリ結果に特定のフィールドを含めるには、ダイアグラム内のフィールド名の横にあるチェックボックスをオンにします。オブジェクトのすべてのフィールドを含めるには、そのオブジェクトの「*」をオンにします。追加したすべてのオブジェクトの全フィールドを含めるには、[SELECT] タブで**全てのフィールド (*)**を選択します。

フィールドを選択した後、中央ペイン下部の **SELECT** タブで出力をさらに調整できます。

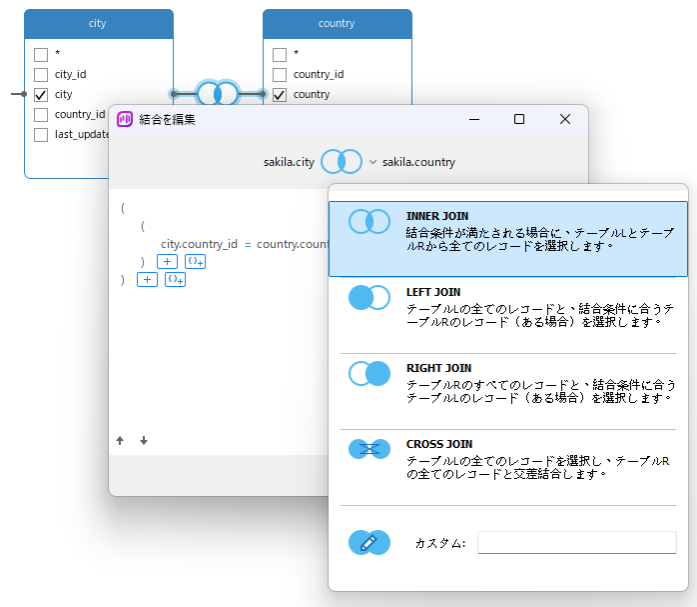
- **重複しない結果を取得** - **DISTINCT** をオンにして、結果から重複レコードを除外します。
- **エイリアスを割り当て** - <エイリアス>プレースホルダーをクリックし、出力フィールドの表示名を指定します。
- **集計関数を適用** - フィールドの識別子をクリックし、SUM、COUNT、AVG などの集計関数をデータへ適用します。
- **フィールドの順序を変更** - 上下矢印アイコンを使用し、出力フィールドの最終表示順序を調整します。

フィールドの関連付けを設定する

クエリビルダーは、既存の外部キー関係に基づいてテーブル間の結合を自動的に作成します。手動で関連付けるには、ダイアグラム内の一方向のオブジェクトからフィールドをドラッグし、もう一方のオブジェクトの対応するフィールドへドロップします。2 つのオブジェクト間にコネクター線が表示され、関係を視覚的に示します。

次のオプションを使用して結合を管理・カスタマイズできます。

- **表示を切り替え** - 結合の種類を示すアイコンとともに全体の関係を表示する**テーブル関係**ビューと、一致する特定のフィールド間にコネクター線を直接表示する**フィールド関係**ビューを切り替えます。
- **結合の種類を変更** - すべての結合は既定で INNER JOIN として作成されます。変更するには、ダイアグラム内のコネクター線または [FROM] タブの [JOIN] キーワードをクリックします。
- **結合条件を編集** - 結合条件のロジックを変更するには、コネクター線をクリックするか、[FROM] タブで条件を直接調整します。
- **結合を削除** - 既存の結合を削除するには、対応するコネクター線を右クリックして**削除**を選択します。



結合ロジックをさらに細かく制御するには、**FROM** タブの条件を右クリックして次のメニューオプションを表示します。



FROM タブのポップアップメニューオプション：

オプション	説明
挿入	識別子、式またはサブクエリを追加します。
角括弧を挿入	括弧のペアを追加します。
削除	識別子、式またはサブクエリを削除します。
クリアして USING 句に変換	ON 条件を削除し、それを USING 句に変換します。
クリアして ON 句に変換	USING 条件を削除し、それを ON 句に変換します。
角括弧付きのグループ	選択した条件を論理的にまとめるため、括弧を追加します。
グループ解除	グループ化済みの条件から括弧を削除します。

フィルター基準を設定する

クエリから返されるデータを絞り込むには、ダイアグラム内の対象フィールドを右クリックし、**条件にフィールドを追加** -> **WHERE** を選択して、目的の演算子を選択します。

フィールドを追加したら、中央ペイン下部の **WHERE** タブでフィルターロジックを設定します。

- **条件を定義** - <値>プレースホルダーをクリックし、条件またはしきい値を入力します。
- **演算子を切り替え** - 複数の条件を組み合わせる場合は、論理演算子をクリックして AND と OR を切り替えます。

- **条件の順序を変更** - 上下矢印アイコンを使用し、必要に応じてフィルター規則の順序を調整します。



フィルター条件をさらに細かく制御するには、**WHERE** タブの条件を右クリックして次のメニューオプションを表示します。

オプション	説明
否定子の切り替え	条件の論理的な意味を反転します。
挿入	条件を追加します。
カスタムを挿入	カスタム条件を追加します。
角括弧を挿入	括弧のペアを追加します。
削除	括弧のペアを追加します。
角括弧付きのグループ	選択した条件を論理的にまとめるため、括弧を追加します。
グループ解除	グループ化済みの条件から括弧を削除します。

結果データをグループ化する

ダイアグラム内の対象フィールドを右クリックして、**条件にフィールドを追加** -> **GROUP BY** を選択すると、クエリレコードをグループ化する条件を定義できます。

追加した条件は、中央ペイン下部の **GROUP BY** タブに表示されます。上下矢印アイコンを使用して、グループ化フィールドの順序を簡単に調整できます。

集計またはグループ化した結果を絞り込むには、**HAVING** タブを開きます。識別子、演算子、集計関数を選択するか、カスタム式を入力して条件を設定できます。[GROUP BY] タブと同様に、上下矢印アイコンで条件の順序を調整できます。

グループ化した結果のフィルター条件をさらに細かく制御するには **HAVING** タブの条件を右クリックして次のメニューオプションを表示します。

オプション	説明
否定子の切り替え	条件の論理的な意味を反転します。
挿入	条件を追加します。
カスタムを挿入	カスタム条件を追加します。
角括弧を挿入	括弧のペアを追加します。
削除	括弧のペアを追加します。
角括弧付きのグループ	選択した条件を論理的にまとめるため、括弧を追加します。
グループ解除	グループ化済みの条件から括弧を削除します。

結果データを並べ替える

クエリレコードの表示順序を設定するには、ダイアグラム内の対象フィールドを右クリックし、**条件にフィールドを追加** -> **ORDER BY** を選択して、**ASC**（昇順）または **DESC**（降順）を選択します。選択した並べ替え条件が **ORDER BY** タブへ追加され、さらに管理できます。

結果データを制限する

クエリ結果を特定の範囲に制限するには、**LIMIT** タブを開き、次のパラメーターを設定します。

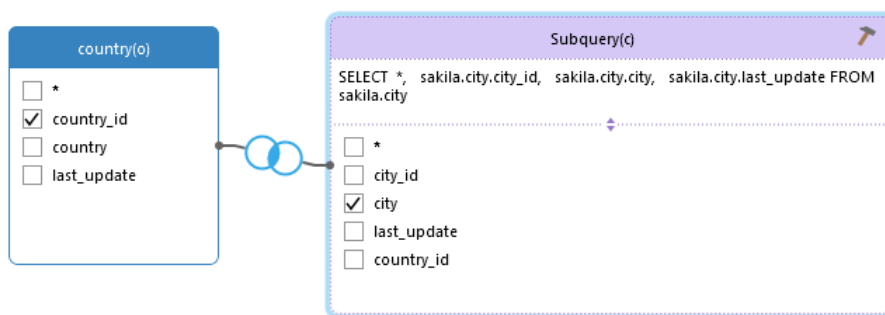
- **オフセット** - 結果を返し始める前にスキップする先頭レコード数を指定します（任意）。
- **制限** - 最終結果セットに表示するレコードの最大数を指定します。

注意：MySQL／PostgreSQL／SQLite／MariaDB／Snowflake でのみ使用可能です。

式／サブクエリを追加する

式またはサブクエリを追加してクエリ結果をさらに絞り込みます。**FROM** タブで  アイコンをクリックし、**式/サブクエリ** タブを選択します。

式またはサブクエリを入力したら、Enter キーを押して編集内容を確定します。新しい要素がダイアグラムに表示され、SQL 文に含まれていることと、関連する列が視覚的に示されます。



 アイコンをクリックすると専用のビジュアルレイヤーへ移動します。この環境では、メインクエリと同じ直感的なツールとレイアウトを使用して、サブクエリを視覚的に作成・管理できます。

(**メインクエリ**)をクリックすると、いつでもメインクエリのワークスペースへ戻れます。

生成された SQL を表示する

右ペインには、クエリビルダーが自動生成した SQL コードが読み取り専用の整形済み形式で表示されます。表示された SQL テキストは、他のアプリケーションやツールで使用するためにコピーできます。サブクエリレイヤーで作業している場合は、**現在のレイヤーのみ表示**を有効にすると、そのサブクエリに関連する SQL だけを表示できます。

ズームインとズームアウト

Navicat BI では、見やすさや操作性を向上させるため、ビジュアルダイアグラムの表示倍率を調整できます。ダイアグラム内を右クリックし、**ズーム** -> **ズームイン／ズームアウト／100%**を選択します。

次のキーボードショートカットでも同じ操作を実行できます。

- ズームイン : CTRL+=
- ズームアウト : CTRL+-
- リセット : CTRL+0

検索ビルダ

検索ビルダーは、複雑な *find* コマンドを手動で記述せずに、コレクションまたはビュー内のドキュメントを選択するクエリを視覚的に作成するために使用します。

注意 : MongoDB でのみ使用可能です。

検索ビルダーを使用する

1. クエリデザイナーで、 **検索ビルダ** ボタンをクリックし、ビジュアルインターフェースを開きます。
2. **コレクション/ビュー** ドロップダウンメニューから、クエリ対象のコレクション名またはビュー名を選択します。
3. 対応する設定タブで設定を編集します。

設定タブ

次のタブを使用してクエリの詳細を定義します。

タブ	説明
フィルター	クエリの選択フィルターを指定します。条件を満たすドキュメントだけが返されます。フィルターを指定しない場合は、すべてのドキュメントが返されます。詳細は フィルターとソート を参照してください。
投影	返されるドキュメントに含める、または除外するフィールドを選択します。プロジェクションを指定しない場合は、すべてのフィールドが返されます。
ソート	返されるドキュメントを特定のフィールドで昇順または降順に並べ替えます。
制限	返すドキュメントの最大数と、スキップするドキュメント数を設定します。

集計パイプラインの追加

集計パイプラインは、データを処理および変換し、複雑な計算を実行し、集計された結果を生成する特定の操作の流れです。

注意 : MongoDB でのみ使用可能です。

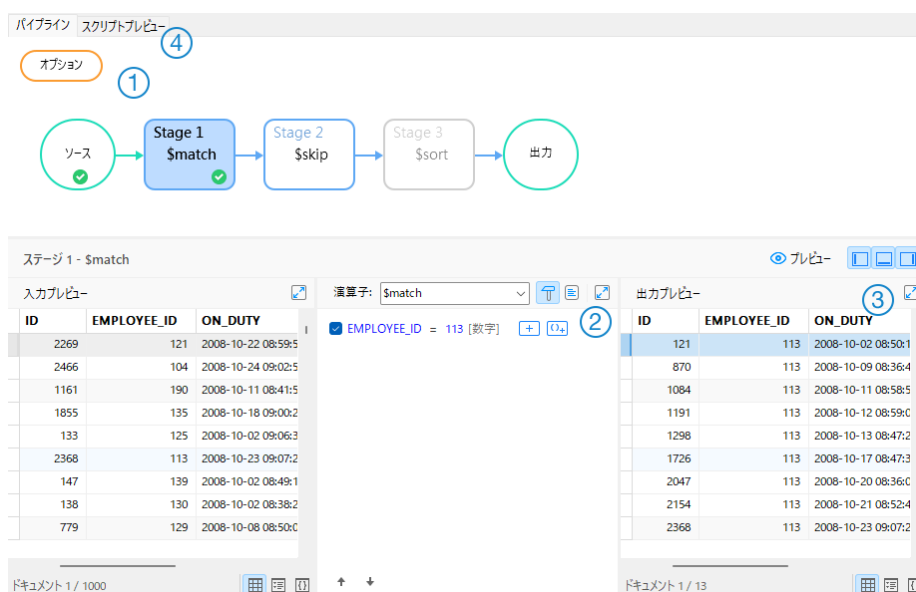
集計パイプラインデザイナー

集計パイプラインデザイナーは、集計パイプラインを操作するための基本的な Navicat ツールです。ツールバーには次の機能があります：

ボタン	説明
クエリをインポート	パイプラインを構築するためのスクリプトファイルをインポートします。
集計パイプラインをインポート	既存の集約パイプラインをインポートしてパイプラインを構築します。
全てプレビュー	全てプレビュー - 出力をプレビューします。 リロードして全てプレビュー - サンプルドキュメントをリロードし、出力をプレビューします。
中止	実行中のパイプラインを停止します。

パイプラインビルダ

パイプラインビルダを使用すると、ステージオペレーターを定義して、シンプルな集計パイプラインを構築できます。パイプラインビルダーは、パイプライン、ステージエディタ、入力／出力プレビュー、スクリプトプレビューのセクションで構成されています。



① パイプライン

集計パイプラインを示す図。全てのステージを一目で確認し、必要に応じてそれらを追加、削除、移動できます。

② ステージエディタ

ステージエディタは、選択したステージを編集する場所です。

③ 入力／出力プレビューペイン

入力プレビューペインと出力プレビューペインでは、各ステージでの入力ドキュメントと結果を表示できます。

④ スクリプトプレビュー

集計パイプラインスクリプトを表示できます。

ソースコレクションの選択

イブラインのソース入力、単一のコレクションまたはビューです。パイプラインで**ソース**を選択し、次のオプションを入力します。

オプション	説明
ソースコレクション	ソースとしてコレクションまたはビューを選択します。
プレビューサンプルのオプション	サンプリングされるドキュメントの数の制限を設定します。

集計パイプラインステージの操作

複雑なクエリをより簡単なステージに分割できます。各ステージでは、フィルタリング、グループ化、ソート、変換など、データに対して様々な操作を実行します。入力と出力の両方を調べることで、クエリが各ステージで適切に機能しているかどうかを確認できます。クエリで使用されるステージの数や、ステージの組み合わせ方法に制限はありません。

ステージの追加

1. 矢印の上にマウスを移動します。
2.  アイコンをクリックします。

ステージの移動

1. ステージの上にマウスを移動します。
2.  アイコンをクリックして押したままにします。
3. それを目的の場所に移動します。

ステージの有効化／無効化

1. ステージの上にマウスを移動します。
2. ステージをオンまたはオフにします。

ステージの入力／出力を確認する

1. ステージの上にマウスを移動します。
2. **プレビュー**をクリックします。

ステージの削除

1. ステージを右クリックし、**削除**を選択します。

パイプライン設定の変更

オプションをクリックすると、パイプライン設定を表示および変更できます。

データソース接続の変更

プロジェクト接続

プロジェクト接続をワークスペース接続に変更するためには

1. 接続ペインで、接続を右クリックし、**ワークスペース接続に変換**を選択します。
2. 接続は“ワークスペース”セクションに移動されます。

見つからない接続を再作成するためには

プロジェクトのサーバー接続が削除された場合、その接続は“プロジェクトに見つかりません”セクションに移動されます。サーバーに接続するためには、接続を再作成する必要がある場合があります。

1. 接続ペインで、接続を右クリックし、**プロジェクトで接続を再作成**を選択します。
2. 接続プロパティを入力します。
3. **確認**をクリックします。

ワークスペース接続

データベース接続の設定を編集するためには

1. 接続ペインで、データベース接続を右クリックし、**接続を編集**を選択します。
2. 手順に従って接続を編集します。

データベース接続のユーザーパスワードを変更するためには

1. 接続ペインで、データベース接続を右クリックし、**接続パスワードを変更**を選択します。
2. データベースユーザーのパスワードを入力します。
3. **確認**をクリックします。

ファイル接続の設定を編集するためには

1. 接続ペインで、ファイル接続を右クリックし、**ファイル接続設定を編集**を選択します。
2. 手順に従って接続を編集します。

リンクされたファイル接続のパスを変更するためには

1. 接続ペインで、ファイル接続を右クリックし、**リンクファイルパスを変更**を選択します。

2. 手順に従って接続を編集します。

見つからない接続を再作成するためには

Navicat BIがワークスペースで接続を見つけられない場合、その接続は“Navicat BI に見つかりません”セクションに移動されます。

1. 接続ペインで、接続を右クリックし、**ワークスペースで接続を再作成**を選択します。
2. 接続プロパティを入力します。
3. **確認**をクリックします。

データの表示

データソースを適用して更新すると、データが下部のデータグリッドに表示されます。

ナビゲーションバーの使用

ナビゲーションバーボタンを使用して、レコード／ページ間を移動できます。



ボタン	説明
	先頭ページ - 最初のページに移動します。
	前ページ - 前のページに移動します。
	次ページ - 次のページに移動します。
	最終ページ - 最後のページに移動します。
	レコード制限設定 - 各ページに表示するレコード数を設定します。
	ズーム - データグリッド内のテキストとセルのサイズを拡大または縮小します。

編集モードにするためには、**レコード制限設定** ボタンを使用します。

レコード制限 ☐ レコード(1 ページあたり)

各ページに表示されるレコード数を制限したい場合、このオプションにチェックをつけます。チェックをつけない場合、すべてのレコードが 1 ページに表示されます。値を編集フィールドに設定します。各ページに表示されるレコード数を表す数です。

注意：この設定モードは、現在のデータソースのみに対して有効です。グローバル設定への適用については[オプション](#)を参照してください。

列の表示／非表示

データソースに多数の列があり、グリッドから一部の列を非表示にしたい場合は、 **列**をクリックするだけです。非表示にした列を選択します。

非表示の列はグリッドから消えます。

列の非表示を解除するためには、 **列**をクリックするだけです。再表示したい列を選択します。

データのフィルタリング／ソート／プロジェクト

データソースに多くのデータまたはフィールドがある場合、データまたはフィールドを必要なものだけに制限する方が簡単であり、データの選択を簡素化できます。

データにフィルターをかける

フィルターペインを使用すると、データに指定するフィルター条件を簡単に作成および適用できます。フィルターペインをアクティブにするためには、ツールバーの  **フィルター**をクリックします。

1. 新しい条件を追加するためには、 をクリックします。丸括弧付きの条件を追加したい場合、 をクリックします。
ヒント: 既存の条件に括弧を追加するためには、選択した条件を右クリックし、**角括弧付きのグループ**を選択します。括弧を削除するためには、括弧を右クリックし、**角括弧の削除**または**角括弧と条件の削除**を選択します。
2. (チェックボックスの隣の) フィールド名をクリックし、リストからフィールドを選択します。
3. (フィールド名の隣の) 演算子をクリックし、フィルター演算子を選択します。

フィルター演算子	演算子の説明
=	フィールドは、'値'と等しいです。
!=	フィールドは、'値'と等しくありません。
<	フィールドは、'値'より小さいです。
<=	フィールドは、'値'以下です。
>	フィールドは、'値'より大きいです。
>=	フィールドは、'値'以上です。
含む	フィールドは、'値'を含みます。
含まない	フィールドは、'値'を含みません。
から始まる	フィールドは、'値'で始まります。
から始まらない	フィールドは、'値'で始まりません。
で終わる	フィールドは、'値'で終わります。
で終わらない	フィールドは、'値'で終わりません。
ヌルである	フィールドは、NULL です。
ヌルでない	フィールドは、NOT NULL です。
空である	フィールドは、空です。
空でない	フィールドは、空ではありません。
の間にある	フィールドは、'値 1'と'値 2'の間にあります。
の間に無い	フィールドは、'値 1'と'値 2'の間にありません。
リストに含まれる	フィールドは、 ('値 1','値 2',...) のリストにあります。
リストに含まれない	フィールドは、 ('値 1','値 2',...) のリストにありません。

4. **<?>**をクリックして、適当なエディタをアクティブにし条件値を入力します。条件値ボックスで使用されるエディタは、該当するフィールドに割り当てられるデータの種類によって決まります。

5. (条件値の隣の) 論理演算子をクリックし、**and** または **or** を選択します。
6. 別の新たな条件を追加する場合は、ステップ 1-5 を繰り返します。
7. **データを適用してリフレッシュ** をクリックして、作成したフィルターの結果を確認します。

ヒント: 条件の意味を逆にしたい場合、選択した条件を右クリックし、**否定子の切り替え**を選択します。

データをソートする

Navicat は、データをソートしたり順序を並べ替える機能を提供します。ソートペインをアクティブにするためには、ツールバーの  **ソート** をクリックします。

1. 新しい条件を追加するためには、 をクリックします。
2. (チェックボックスの隣の) フィールド名をクリックし、リストからフィールドを選択します。
3. ソート順をクリックして、**ASC** または **DESC** を選択します。
4. 別の新たな条件を追加する場合は、ステップ 1-3 を繰り返します。
5. **データを適用してリフレッシュ** をクリックして、作成したソートの結果を確認します。

データを投影する

データソースに含めるフィールドまたは除外するフィールドを選択できます。投影ペインをアクティブにするためには、ツールバーの  **投影** をクリックします。

1. フィールドを**含める**か**除外する**かを選択します。
2. 新しい条件を追加するためには、 をクリックします。
3. (チェックボックスの隣の) フィールド名をクリックし、リストからフィールドを選択します。
4. 別の新たな条件を追加する場合は、ステップ 2-3 を繰り返します。
5. **データを適用してリフレッシュ** をクリックして、作成した投影の結果を確認します。

カスタムフィールドの追加

カスタマイズされたフィールドでデータを拡張できます。新しいフィールドは、フィールドタイプの変更、他のフィールドの連結、他の値へのマッピング、または別のフィールド／カスタマイズされた順序に基づく並べ替えによって作成できます。

カスタムフィールドの作成

タイプ変更フィールド

フィールドタイプ（文字列、数値、日付／時刻）は、フィールドの実際のデータタイプに基づいて全てのフィールドに割り当てられます。フィールドが正しく解釈されなかった場合は、フィールドタイプを調整できます。

1. 下部のデータグリッドで、フィールドを選択し、 **新規カスタムフィールド** -> **タイプ変更フィールド**をクリックして開始します。
2. ポップアップウィンドウで、**ターゲットフィールド名**を入力します。
3. **ターゲットフィールドタイプ**を選択します。
4. **ソースフィールド名**を選択します。
5. 必要に応じて**ソースフィールドデータ形式**を設定します。
6. **確認**をクリックします。

連結フィールド

新しいフィールドを追加して、既存の2つのフィールドのデータを連結できます。

1. 下部のデータグリッドで、フィールドを選択し、 **新規カスタムフィールド** -> **連結フィールド**をクリックして開始します。
2. ポップアップウィンドウで、**ターゲットフィールド名**を入力します。
3. **ソースフィールド**ペインでフィールドをダブルクリックして、ボディに追加します。
4. ボディを編集し、必要に応じて**全てのフィールド値がnullまたは空の場合はnullに設定するオプション**を有効にします。
5. **確認**をクリックします。

マップフィールド

ソースフィールドの全ての値にマッピングルールを適用した結果が入力される新しいフィールドを作成できます。

1. 下部のデータグリッドで、フィールドを選択し、 **新規カスタムフィールド** -> **マップフィールド**をクリックして開始します。
2. ポップアップウィンドウで、**ターゲットフィールド名**を入力します。
3. **ソースフィールド名**を選択します。
4. **追加**をクリックして、新しいマッピングルールを作成します。
5. 必要に応じて、**ソース値を大文字と小文字を区別して比較オプション**を有効にします。
6. マッピングルールにない値に対するアクションを選択します。
7. **確認**をクリックします。

カスタムソートフィールド

新しいフィールドを作成して、別のフィールドまたはカスタム順序に基づいて値の順序を並べ替えることができます。チャートでこの新しいフィールドを並べ替えると、設定した順序で並べ替えられます。

1. 下部のデータグリッドで、フィールドを選択し、 **新規カスタムフィールド** -> **カスタムソートフィールド**をクリックして開始します。
2. ポップアップウィンドウで、**ターゲットフィールド名**を入力します。
3. **ソースフィールド名**を選択します。
4. [参照フィールド] 対象フィールドのソート順の基準となるフィールドを選択します。
5. [カスタム] **ソートされる値**リストに値を移動して、フィールド値の順序をカスタマイズします。
6. **確認**をクリックします。

計算フィールド

カスタム式を使用して新しいフィールドを作成できます。式ではファンクション、フィールド、演算子を使用できます。

1. 下部のデータグリッドで、フィールドを選択し、 **新規カスタムフィールド** -> **計算フィールド**をクリックして開始します。
2. ポップアップウィンドウで、**ターゲットフィールド名**を入力します。
3. **ボディ**テキストボックスに式を入力します。
4. **確認**をクリックします。

カスタムフィールドの編集

1. 下部のデータグリッドで、カスタマイズされたフィールドを右クリックし、**XXX フィールドを編集**を選択します。
2. ポップアップウィンドウで、フィールドプロパティを変更します。
3. **確認**をクリックします。

カスタムフィールドの削除

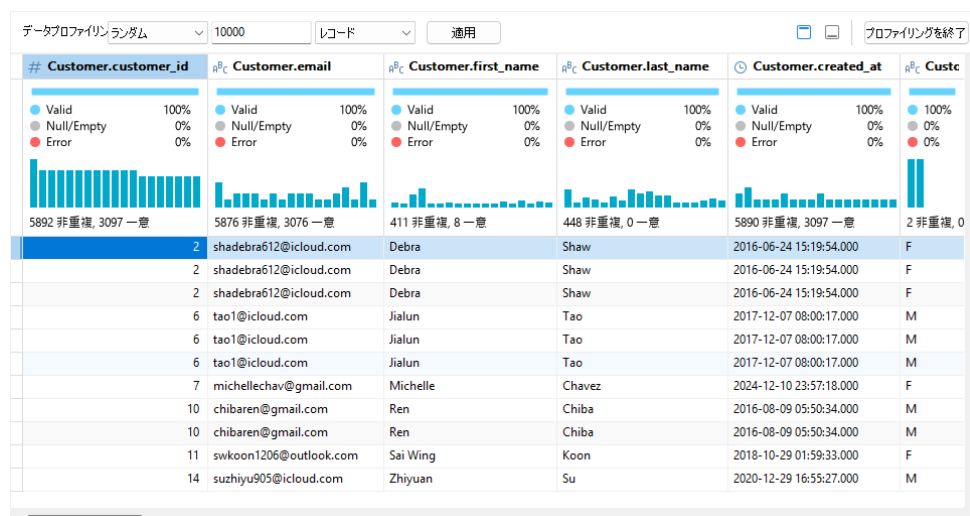
1. 下部のデータグリッドで、カスタマイズされたフィールドを右クリックし、**XXX フィールドを削除**を選択します。

データプロファイリングを使用してデータソースを検査する

データソースをプロファイリングして、データ内の複雑なパターン、傾向、関係を明らかにし、カスタムフィールドの不一致やエラーを特定して、データの整合性と正確性を綿密に検査できます。プロファイリングプロセスを開始するためには、 **データプ**

プロファイリングをクリックします。データプロファイリングバーで、プロファイリングしたいレコードの数を選択し、**開始**をクリックします。

プロファイリングが終了すると、データプロファイルの結果が表示されます。結果には、プロファイル実行の全ての列とその統計が表示されます。レコードの数を変更して、データを再プロファイルできます。

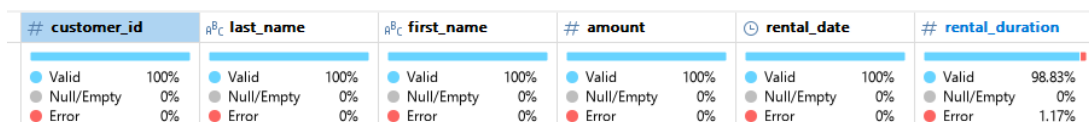


列の品質と分布

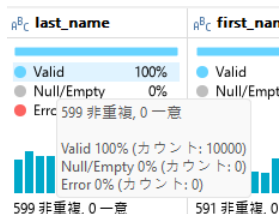
列の品質と分布ペインは、個別の値、一意の値、Null 値、非 Null 値の観点からデータの品質を提供し、列の値に関連付けられた列分布チャートも表示します。

列の品質

列の品質には、小さな棒チャートと列の品質カテゴリ（パーセンテージとして表示）が含まれます。列名の真下に表示されます。



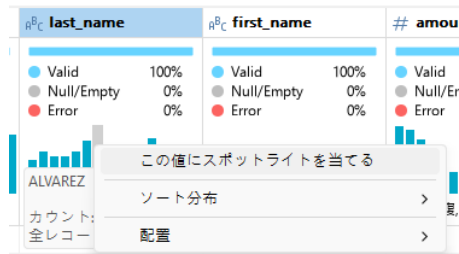
いずれかのカテゴリにマウスを合わせると、列全体の値の品質の数値分布が表示されます。



列の分布

列の分布チャートでは、ヒストグラムのように各列の値の頻度と分布を確認できます。

デフォルトでは、これらの視覚化のデータは、値の昇順でソートされます。チャートを右クリックして**ソート分布**を選択することによって、ソートの順序とカテゴリを変更できます。



いずれかのバーにマウスを合わせると、列全体の値とその値の品質の数値分布が表示されます。

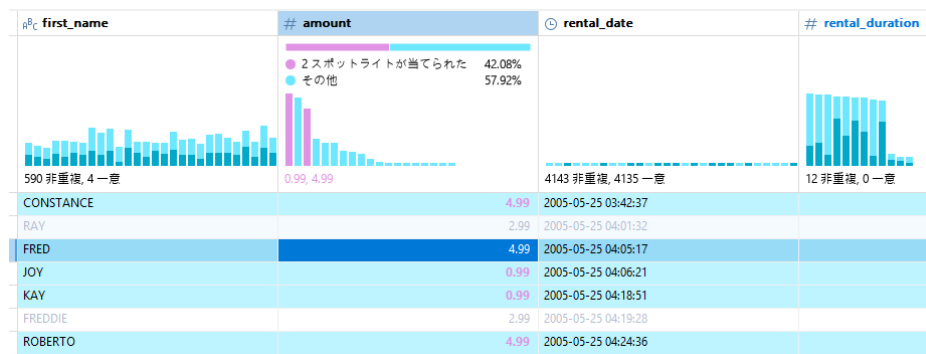
バーを右クリックして**コンパクト**または**詳細**を選択することによって、自身に最適なディスプレイスタイルを変更できます。コンパクトビューは列の品質情報を表示せず、詳細ビューは列の品質と分布情報の両方を示します。

スポットライトの追加

結果の特定の値に注意を向けるために、スポットライトを使用します。値をスポットライトするためには、次の方法のいずれかを使用します：

- 列の品質カテゴリまたは列の品質と分布ペインのバーをクリックします。
- 列の品質と分布ペインのバーを右クリックして、**この値にスポットライトを当てる**または**スポットライトを追加**を選択します。
- グリッドの値を右クリックして、**この値にスポットライトを当てる**または**スポットライトを追加**を選択します。

ヒント：スポットライトされた値を同じように削除します。

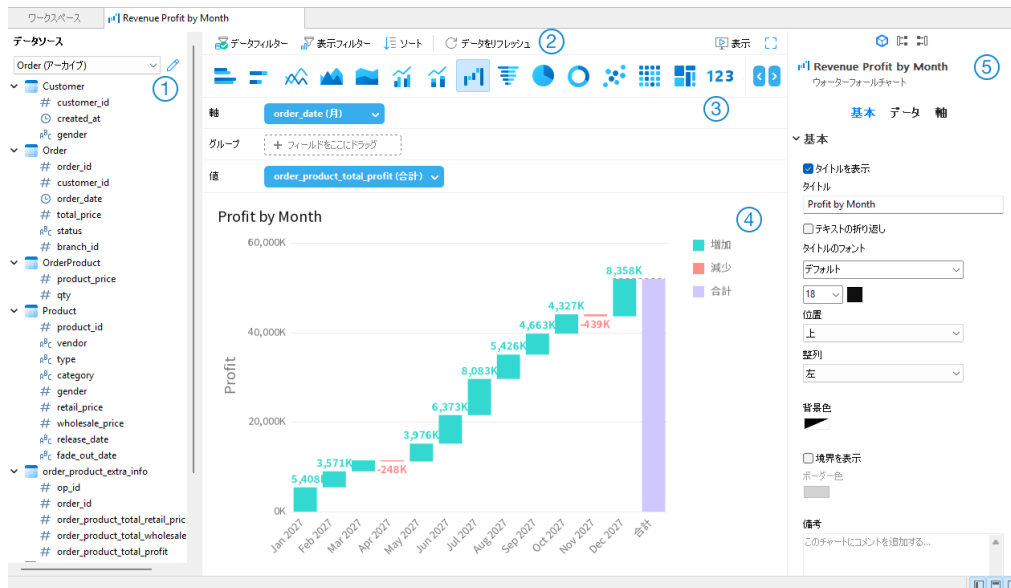


6 - チャート

チャートを作成

チャートは、データソース内のデータを視覚的に表現したものです。単一のデータソースにマップし、データ内のいくつかのフィールド間の相関関係を表示できます。コントロールチャートを追加して、チャートをインタラクティブにすることもできます。

注意：チャートの作成を開始する前に、[データソース](#)を追加する必要があります。



① データソースペイン

データソースペインは、データソースを操作するための基本的な方法です。データソースペインが非表示の場合、メニューバーから、**表示 -> データソースを表示**を選択します。

② チャートツールバー

チャートツールバーには、データの操作に使用できるコントロールが用意されています。

③ メトリックペイン

メトリックペインでは、チャートタイプを選択し、データソースペインから棚にフィールドを追加できます。メトリックペインが非表示の場合、メニューバーから、**表示 -> メトリックを表示**を選択します。

④ プレビューペイン

プレビューペインには、チャートが表示されます。

⑤ プロパティペイン

プロパティタブには、基本的なレイアウト設定、データ形式の設定などが含まれています。プロパティは、チャートのタイプによって異なります。

 **使用先タブ**には、チャートが依存するデータソースが表示されます。

 **使用元タブ**には、チャートに依存するダッシュボードが表示されます。

プロパティペインが非表示の場合、メニューバーから、**表示** -> **プロパティを表示**を選択します。

新しいグラフの作成

チャートを作成するための基本的な手順は次のとおりです：

1. ワークスペースウィンドウで、 **新規チャート**をクリックします。
2. データソースを選択し、チャートの名前を入力します。
3. チャートを編集するためのタブが開きます。
4. 中央のペインでチャートタイプを選択します。

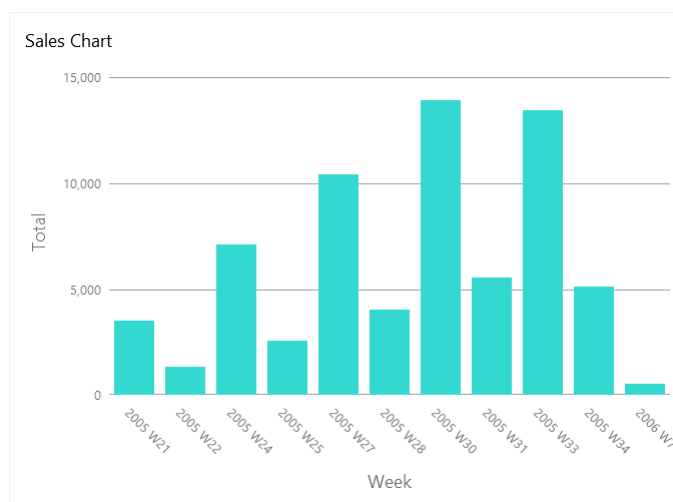


ヒント：使用するチャートのタイプは、通常、データのタイプによって決まります。

5. フィールドをメトリックペインの対応する欄にドラッグして、軸や値などを設定します。
6. 右のペインでプロパティを選択し、チャート用にさらにカスタマイズできます。

ヒント：チャートタイプごとに異なるプロパティがあります。

7. チャートがプレビューペインに表示されます。



フィールドエイリアスを設定する

フィールドのエイリアスを作成して、それらのラベルがチャートで異なって表示されるようにすることができます。

1. フィールドボックスの下向き矢印をクリックします。

2. **エイリアスを設定**を選択します。



3. エイリアス名を入力します。

集約関数を適用

集約関数を使用すると、データの粒度を要約または変更できます。

1. フィールドボックスの下向き矢印をクリックします。



2. **集約関数**を選択し、**集計関数**を選択します。

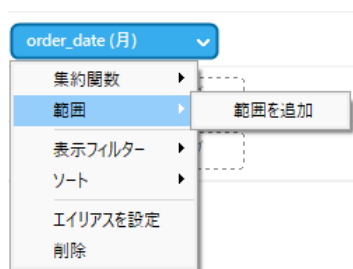
関数	説明
数値	
合計	全ての値の合計を返します。null 値は無視されます。
平均	全ての値の平均を返します。null 値は無視されます。
カウント	アイテムの数を返します。null 値はカウントされません。
カウント(個別)	固有のアイテムの数を返します。null 値はカウントされません。
最小	全てのレコードの最小値を返します。null 値は無視されます。
最大	全てのレコードの最大値を返します。null 値は無視されます。
中央	全てのレコードの中央値を返します。null 値は無視されます。
日付時刻	
カウント	アイテムの数を返します。null 値はカウントされません。
カウント(個別)	固有のアイテムの数を返します。null 値はカウントされません。
年	日付の年を返します (0000~9999)。
四半期	日付の年 (0000~9999) と四半期 (Q1~Q4) を返します。
月	日付の年 (0000~9999) と月 (01~12) を返します。
週	日付の年 (0000~9999) と週 (W01~W52、週の始まりは日曜日) を返します。
日	日付を返します。
時間	日付と時間を返します (00~23)。

分	日付、時間（00～23）および分（00～59）を返します。
秒	日時を返します。
四半期（抽出）	年の四半期を返します（Q1～Q4）。
月（抽出）	日付の月を返します（01～12）。
週（抽出）	年の週を返します（W01～W52、週の始まりは日曜日）。
日（抽出）	日付の日を返します（01～31）。
時間（抽出）	時刻の時間を返します（00～23）。
分（抽出）	時刻の分を返します（00～59）。
秒（抽出）	時刻の秒を返します（00～59）。
テキスト	
最初	最初のレコードの値を返します。
最後	最後のレコードの値を返します。
カウント	アイテムの数を返します。null 値はカウントされません。
カウント(個別)	固有のアイテムの数を返します。null 値はカウントされません。

範囲の追加

データソースで追加の計算を作成する必要なく、データを範囲に集計できます。

1. フィールドボックスの下向き矢印をクリックします。



2. **範囲を追加**を選択します。
3. 範囲設定を編集します。

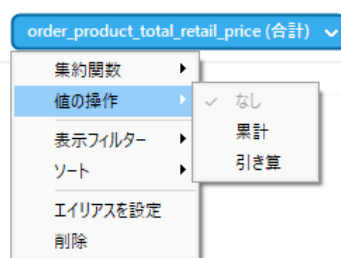
オプション	説明
範囲タイプ - 固定	
Bin サイズ	ビンのサイズを入力するか、 計算 をクリックして、Navicat に値を計算させます。
範囲タイプ - カスタム	
停止値	ビンの境界を追加します。

4. **確認**をクリックします。

値の設定操作

値が加算または減算されると、現在までの合計を示すチャートを作成できます。

1. フィールドボックスの下向き矢印をクリックします。



2. **値の操作**を選択し、操作を選択します。

操作	説明
累計	値を累積的に合計します。
引き算	値をその前の値で減算します。

データのフィルタリング／ソート

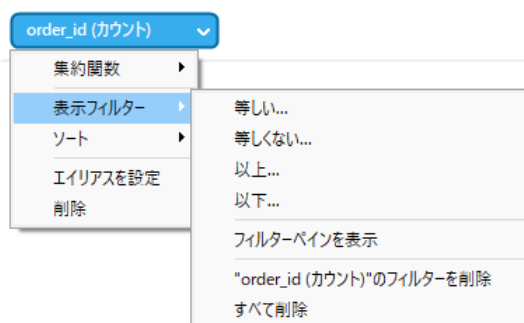
チャートのソースデータのフィルタリング

[データフィルター](#)ペインを使用して、現在のチャートのソースデータをフィルター処理できます。

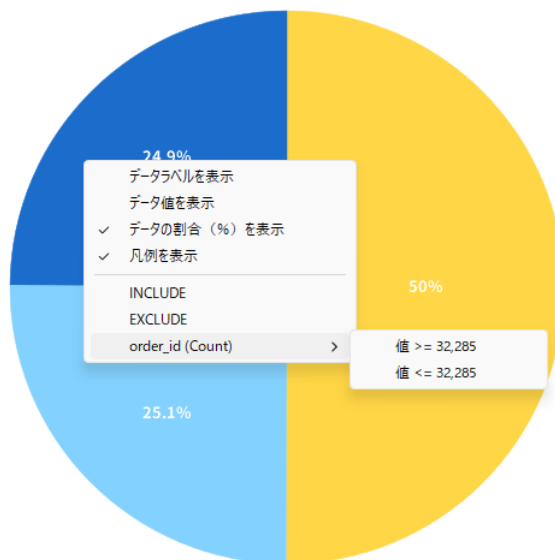
チャートの表示データのフィルタリング

表示データは、次の3つの方法でフィルター処理できます：

- フィールドボックスの下向き矢印をクリックし、**表示フィルター**を選択します。



- [表示フィルター](#)ペインを使用します。
- チャートのシリーズ／データポイントを右クリックします。

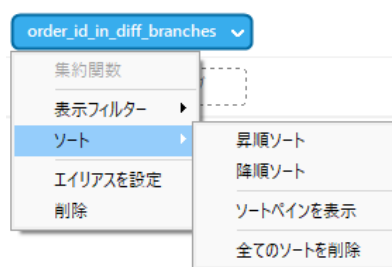


ヒント： フィルターをクリアする場合、表示フィルターペインを使用する必要があります。

データをソートする

次の 2 つの方法でデータをソートすることができます。

- フィールドボックスの下向き矢印をクリックし、**ソート**を選択します。



- ソート**ペインを使用します。

チャートを表示

画面全体を使用してチャートを表示できます。このモードでは、タイトルバー、ツールバー、タブバー、データソースペイン、メトリックペイン、プロパティペインは非表示になります。表示ビューでチャートを開くためには、 **表示**をクリックします。

表示ビューを終了するためには、ESC キーを押します。ワークスペースウィンドウが前の状態に戻ります。

チャートのソート

表示モードでは、1 回のクリックでチャート内のデータを整理できます。データシリーズを値でソートすることができます。 アイコンをクリックするだけで、別の値でソートしたり、ソート順を選択したりできます。

パラメーターを使用する

パラメーターを割り当てると、BI はプレゼンテーションモードで操作可能なコントロールを自動的に表示します。プレゼンテーション中に、対象となる指標の値を動的に調整できます。

パラメーター値を変更するには、次の手順を実行します。

1. プレゼンテーションモードでページを右クリックし、**パラメーター値を変更**を選択します。
2. 一覧から目的のパラメーターを選択します。
3. 値を手動で変更します。

ヒント：パラメーターに数値範囲規則を割り当てている場合、対話型スライダーをドラッグして対象指標の値を動的に調整できます。

チャートタイプ

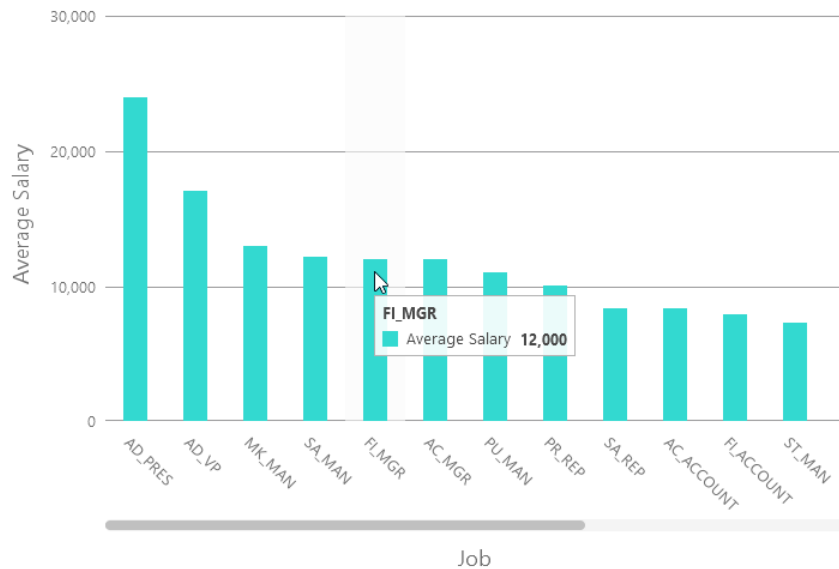
比較と傾向

Navicat には、データの経時変化を分析し、さまざまなカテゴリ間の差異を評価するための多様なチャートがあります。継続的なパフォーマンス指標の追跡、地域別データの比較、最終合計に影響する要因の段階的な分析など、意思決定に役立つ明確で実用的な洞察を得られます。

棒チャート

棒チャートは、特定のカテゴリ内の値を比較することにより、データの傾向の高いレベルの概要を提供します。

- 縦棒チャート
- 積み上げ縦棒チャート
- 横棒チャート
- 積み上げ横棒チャート



チャートのプロパティ

チャートタイプを選択したら、そのプロパティを変更することによりチャートをカスタマイズすることができます。

オプション	説明
基本	
背景色	チャート領域の背景色を設定します。
境界を表示	チャートの外枠を表示します。
ボーダー色	チャートの外枠の色を設定します。
タイトルを表示	チャートのメインタイトルを表示します。
タイトル	チャートのタイトルを指定します。
テキストの折り返し	長いタイトル文字列の折り返しを有効にし、複数行へ自動的に折り返します。
タイトルのフォント	タイトルのフォントスタイルを設定します。
位置	タイトルの位置を設定します。
整列	タイトルの縦または横の配置を設定します。
備考	チャートの備考を入力します。
凡例	
凡例を表示	凡例コンテナを表示します。
位置	凡例の位置を設定します。
整列	凡例の垂直方向または水平方向の配置を設定します。
ラベルの色	凡例ラベルの色を設定します。
データ	
棒のラベルを表示	選択した系列のデータラベルを表示します。
棒のラベルに含まれるもの	ラベルにデータ値またはパーセンテージを表示します。
棒ラベルの位置	棒ラベルの位置を設定します。
100%積み上げを使用	100%積み上げ棒グラフを使用して、階層データの値を表示します。（それぞれの棒の高さは 100% であり、色付きの棒セグメントは棒全体に対するコンポーネントの相対的な割合を表します。）

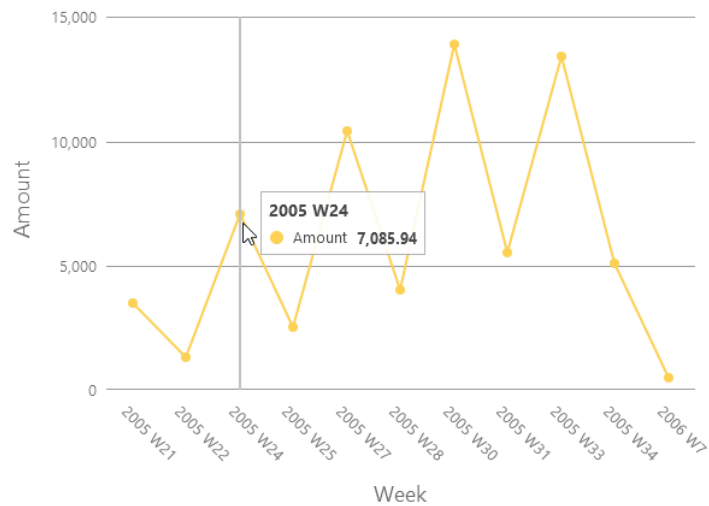
棒ラベルのフォント	バーラベルのフォント スタイルを設定します。
カスタムデータ値の色を使用する	データ値のラベルの色をカスタマイズします。
正のデータ値の色	正の値のラベルの色を設定します。
負のデータ値の色	負の値のラベルの色を設定します。
表示 トップ #	トップ#件のデータのみが表示されます。
不足している値を埋める	連続軸を使用します。データシリーズはそれらのドメイン値に応じて配置されます。
未満のグループ値	指定した割合または固定しきい値を下回る小さい値を、1つの棒セグメントへまとめます。
グループ名	集約した小さい値に付けるラベルを指定します（例：「その他」）。
グループの色	集約データグループのセグメント色を設定します。
スタイル	チャートに離散または連続のデータ系列をプロットします。
密度	データ系列の密度を選択します。
色	データシリーズの色パレットを設定します。
全てのデータの色	各シリーズの色を設定できます。
データ形式 - 数値	
プレフィックス	チャートの全ての数値データにプレフィックス文字を追加します。
単位	数値データを短くする単位を選択します。
サフィックス	カスタマイズされた単位にラベルを付けるためのサフィックスを指定します。
仕切り	カスタマイズされた単位の区切りを指定します。
3 桁区切り	数値データの 3 桁区切りを選択します。
小数点	数値データの小数点を選択します。
小数部分の桁数	数値データの小数部分の桁数を指定します。
負数	表示される負の数の形式を選択します。
データ形式 - 日付時刻	
日付／時刻	データの日付と時刻の形式を選択します。
カスタム	日付と時刻の形式 をカスタマイズします。
X 軸	
X 軸のタイトルを表示	X 軸のタイトルを表示します。
X 軸のタイトル	X 軸のタイトルを指定します。
フォント	X 軸のタイトルのフォントスタイルを設定します。
軸の最後に X 軸のタイトルを表示	X 軸の最後にタイトルを表示します。
X 軸のラベルを表示	X 軸のラベルを表示します。
フォント／太字	X 軸ラベルのフォントスタイルを設定します。
X 軸ラベルの回転	X 軸のラベルを回転します。
X 軸のラベル間隔	X 軸のラベルの間隔を変更します。
X 軸を表示	X 軸の線を表示します。
X 軸の色	X 軸の線の色を設定します。
Y 軸	
Y 軸のタイトルを表示	Y 軸のタイトルを表示します。

Y 軸のタイトル	Y 軸のタイトルを指定します。
フォント	Y 軸のタイトルのフォントスタイルを設定します。
軸の最後に Y 軸のタイトルを表示	Y 軸の最後にタイトルを表示します。
Y 軸のラベルを表示	Y 軸のラベルを表示します。
フォント/太字	Y 軸ラベルのフォントスタイルを設定します。
Y 軸を表示	Y 軸の線を表示します。
Y 軸の色	Y 軸の線の色を設定します。
グリッド線を表示	Y 軸のグリッド線を表示します。
カスタム範囲を使用	グリッド線の範囲を設定します。 開始 と 終わり わりの値を入力します。この範囲を超えて描画されるグラフは切り取られます。
カスタム間隔を使用	Y 軸の間隔を変更します。
目盛りの間隔	目盛りの間隔を軸単位で設定します。
アシスタントライン	
	チャートに補助線を追加して、視覚的なデータ傾向、平均、正規分布などを表示します。
	選択された補助線を削除します。
	選択された補助線の名前を変更します。
値	補助線のデータシリーズを選択します。
グループ値	補助線のグループ値を選択します。
タイプ	希望の補助線の種類を選択します。
R ² 値を表示	チャートに R ² 値を表示します。
将来予測/過去予測	予測に含める期間の数を指定します。
他の線と揃える	補助線を他の線と揃えます。
期間	ポイント値の平均化に使用するデータポイントの数を指定します。
スムーズ	線の角度を滑らかにします。
カスタムカラーを使用	線の色をカスタマイズします。
ライン色	線の色を設定します。
Cap スタイル	線のキャップスタイルを選択します。
Dash スタイル	線のダッシュスタイルを選択します。
Join スタイル	線の結合スタイルを選択します。
可視	線を表示するためには、このボックスにチェックを付けます。

折れ線チャート/面チャート

折れ線チャートまたは面チャートは、直線セグメントでつながっている一連のデータポイントとして情報を表示します。

- 折れ線チャート
- 面チャート
- 積み上げ面チャート



チャートのプロパティ

チャートタイプを選択したら、そのプロパティを変更することによりチャートをカスタマイズすることができます。

オプション	説明
基本	
背景色	チャート領域の背景色を設定します。
境界を表示	チャートの外枠を表示します。
ボーダー色	チャートの外枠の色を設定します。
タイトルを表示	チャートのメインタイトルを表示します。
タイトル	チャートのタイトルを指定します。
テキストの折り返し	長いタイトル文字列の折り返しを有効にし、複数行へ自動的に折り返します。
タイトルのフォント	タイトルのフォントスタイルを設定します。
位置	タイトルの位置を設定します。
整列	タイトルの縦または横の配置を設定します。
備考	チャートの備考を入力します。
凡例	
凡例を表示	凡例コンテナを表示します。
位置	凡例の位置を設定します。
整列	凡例の垂直方向または水平方向の配置を設定します。
ラベルの色	凡例ラベルの色を設定します。
データ	
滑らかな線を使用	データポイントを通る滑らかな線をプロットします。
線のラベルを表示／エリアのラベルを表示	選択した系列のデータラベルを表示します。
線のラベルに含まれるもの	ラベルにデータ値またはパーセンテージを表示します。
線のラベルパターン	チャートに表示される値を選択します。
マーカーを表示	折れ線／面のマーカーポイントを表示します。
100%積み上げを使用	100%積み上げ面を使用して、階層データの値を表示します。（面の高さは100%であり、色付きの面セグメントは面全体に対するコンポーネントの相対的な割合を表します。）

カスタムデータ値の色を使用する	データ値のラベルの色をカスタマイズします。
正のデータ値の色	正の値のラベルの色を設定します。
負のデータ値の色	負の値のラベルの色を設定します。
表示 トップ #	トップ#件のデータのみが表示されます。
不足している値を埋める	連続軸を使用します。データシリーズはそれらのドメイン値に応じて配置されます。
密度	データ系列の密度を選択します。
色	データシリーズの色パレットを設定します。
データ形式 - 数値	
プレフィックス	チャートの全ての数値データにプレフィックス文字を追加します。
単位	数値データを短くする単位を選択します。
サフィックス	カスタマイズされた単位にラベルを付けるためのサフィックスを指定します。
仕切り	カスタマイズされた単位の区切りを指定します。
3 桁区切り	数値データの 3 桁区切りを選択します。
小数点	数値データの小数点を選択します。
小数部分の桁数	数値データの小数部分の桁数を指定します。
負数	表示される負の数の形式を選択します。
データ形式 - 日付時刻	
日付／時刻	データの日付と時刻の形式を選択します。
カスタム	日付と時刻の形式 をカスタマイズします。
X 軸	
X 軸のタイトルを表示	X 軸のタイトルを表示します。
X 軸のタイトル	X 軸のタイトルを指定します。
フォント	X 軸のタイトルのフォントスタイルを設定します。
軸の最後に X 軸のタイトルを表示	X 軸の最後にタイトルを表示します。
X 軸のラベルを表示	X 軸のラベルを表示します。
フォント／太字	X 軸ラベルのフォントスタイルを設定します。
X 軸ラベルの回転	X 軸のラベルを回転します。
X 軸のラベル間隔	X 軸のラベルの間隔を変更します。
X 軸を表示	X 軸の線を表示します。
X 軸の色	X 軸の線の色を設定します。
Y 軸	
Y 軸のタイトルを表示	Y 軸のタイトルを表示します。
Y 軸のタイトル	Y 軸のタイトルを指定します。
フォント	Y 軸のタイトルのフォントスタイルを設定します。
軸の最後に Y 軸のタイトルを表示	Y 軸の最後にタイトルを表示します。
Y 軸のラベルを表示	Y 軸のラベルを表示します。
フォント／太字	Y 軸ラベルのフォントスタイルを設定します。
Y 軸を表示	Y 軸の線を表示します。
Y 軸の色	Y 軸の線の色を設定します。

グリッド線を表示	Y 軸のグリッド線を表示します。
カスタム範囲を使用	グリッド線の範囲を設定します。 開始 と 終わり の値を入力します。この範囲を超えて描画されるグラフは切り取られます。
カスタム間隔を使用	Y 軸の間隔を変更します。
目盛りの間隔	目盛りの間隔を軸単位で設定します。
アシスタントライン	
	チャートに補助線を追加して、視覚的なデータ傾向、平均、正規分布などを表示します。
	選択された補助線を削除します。
	選択された補助線の名前を変更します。
値	補助線のデータシリーズを選択します。
グループ値	補助線のグループ値を選択します。
タイプ	希望の補助線の種類を選択します。
R ² 値を表示	チャートに R ² 値を表示します。
将来予測／過去予測	予測に含める期間の数を指定します。
他の線と揃える	補助線を他の線と揃えます。
期間	ポイント値の平均化に使用するデータポイントの数を指定します。
スムーズ	線の角度を滑らかにします。
カスタムカラーを使用	線の色をカスタマイズします。
ライン色	線の色を設定します。
Cap スタイル	線のキャップスタイルを選択します。
Dash スタイル	線のダッシュスタイルを選択します。
Join スタイル	線の結合スタイルを選択します。
可視	線を表示するためには、このボックスにチェックを付けます。

棒チャートと折れ線チャート

同じビジュアルに棒チャートと折れ線チャートを混在させることは、シリーズの関係を維持しながらシリーズ間の違いを強調するのに適した方法です。

- 棒チャートと折れ線チャート
- 積み上げ棒チャートと折れ線チャート



チャートのプロパティ

チャートタイプを選択したら、そのプロパティを変更することによりチャートをカスタマイズすることができます。

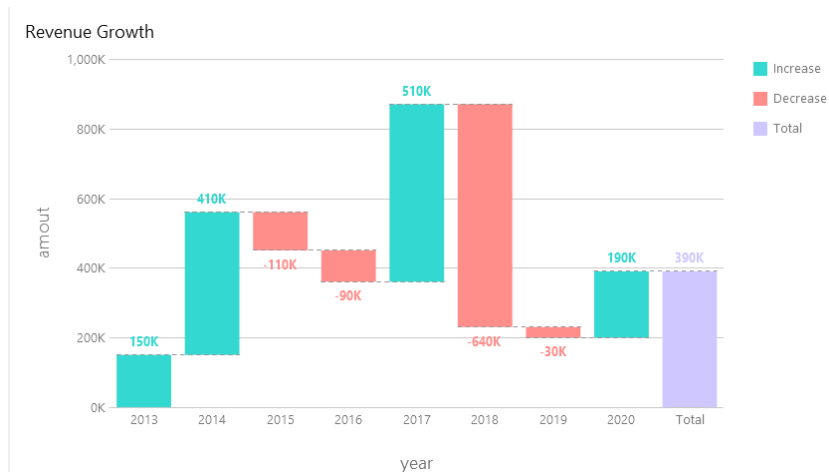
オプション	説明
基本	
背景色	チャート領域の背景色を設定します。
境界を表示	チャートの外枠を表示します。
ボーダー色	チャートの外枠の色を設定します。
タイトルを表示	チャートのメインタイトルを表示します。
タイトル	チャートのタイトルを指定します。
テキストの折り返し	長いタイトル文字列の折り返しを有効にし、複数行へ自動的に折り返します。
タイトルのフォント	タイトルのフォントスタイルを設定します。
位置	タイトルの位置を設定します。
整列	タイトルの縦または横の配置を設定します。
備考	チャートの備考を入力します。
凡例	
凡例を表示	凡例コンテナを表示します。
位置	凡例の位置を設定します。
整列	凡例の垂直方向または水平方向の配置を設定します。
ラベルの色	凡例ラベルの色を設定します。
データ	
滑らかな線を使用	データポイントを通る滑らかな線をプロットします。
ラベルを表示	選択した系列のデータラベルを表示します。
棒のラベルに含まれるもの	ラベルにデータ値またはパーセンテージを表示します。
棒ラベルの位置	バーラベルの位置を設定します。
棒ラベルのフォント	バーラベルのフォントスタイルを設定します。
100%積み上げ棒を使用	100%積み上げ棒グラフを使用して、階層データの値を表示します。（それぞれの棒の高さは100%であり、色付きの棒セグメントは棒全体に対するコンポーネントの相対的な割合を表します。）

線のラベルに含まれるもの	ラベルにデータ値またはパーセンテージを表示します。
線のラベルパターン	チャートに表示される値を選択します。
線のマーカーを表示	線のマーカーポイントを表示します。
カスタムデータ値の色を使用する	データ値のラベルの色をカスタマイズします。
正のデータ値の色	正の値のラベルの色を設定します。
負のデータ値の色	負の値のラベルの色を設定します。
表示 トップ #	トップ#件のデータのみが表示されます。
不足している値を埋める	連続軸を使用します。データシリーズはそれらのドメイン値に応じて配置されます。
スタイル	チャートに離散または連続のデータ系列をプロットします。
密度	データ系列の密度を選択します。
色	データシリーズの色パレットを設定します。
全ての棒データの色	各シリーズの色を設定できます。
データ形式 - 数値	
プレフィックス	チャートの全ての数値データにプレフィックス文字を追加します。
単位	数値データを短くする単位を選択します。
サフィックス	カスタマイズされた単位にラベルを付けるためのサフィックスを指定します。
仕切り	カスタマイズされた単位の区切りを指定します。
3 桁区切り	数値データの 3 桁区切りを選択します。
小数点	数値データの小数点を選択します。
小数部分の桁数	数値データの小数部分の桁数を指定します。
負数	表示される負の数の形式を選択します。
データ形式 - 日付時刻	
日付／時刻	データの日付と時刻の形式を選択します。
カスタム	日付と時刻の形式 をカスタマイズします。
X 軸	
X 軸のタイトルを表示	X 軸のタイトルを表示します。
X 軸のタイトル	X 軸のタイトルを指定します。
フォント	X 軸のタイトルのフォントスタイルを設定します。
軸の最後に X 軸のタイトルを表示	X 軸の最後にタイトルを表示します。
X 軸のラベルを表示	X 軸のラベルを表示します。
フォント／太字	X 軸ラベルのフォントスタイルを設定します。
X 軸ラベルの回転	X 軸のラベルを回転します。
X 軸のラベル間隔	X 軸のラベルの間隔を変更します。
X 軸を表示	X 軸の線を表示します。
X 軸の色	X 軸の線の色を設定します。
Y 軸／セカンダリ Y 軸	
Y 軸のタイトルを表示／セカンダリ Y 軸のタイトルを表示	Y 軸のタイトルを表示します。
Y 軸のタイトル／セカンダリ Y 軸の	Y 軸のタイトルを指定します。

タイトル	
フォント	Y 軸のタイトルのフォントスタイルを設定します。
軸の最後に Y 軸のタイトルを表示／ 軸の最後にセカンダリ Y 軸のタイトルを表示	Y 軸の最後にタイトルを表示します。
Y 軸のラベルを表示／セカンダリ Y 軸のラベルを表示	Y 軸のラベルを表示します。
フォント／太字	Y 軸ラベルのフォントスタイルを設定します。
Y 軸を表示／セカンダリ Y 軸を表示	Y 軸の線を表示します。
Y 軸の色／セカンダリ Y 軸の色	Y 軸の線の色を設定します。
グリッド線を表示	Y 軸のグリッド線を表示します。
カスタム範囲を使用	グリッド線の範囲を設定します。 開始 と 終わり の値を入力します。この範囲を超えて描画されるグラフは切り取られます。
カスタム間隔を使用	Y 軸の間隔を変更します。
目盛りの間隔	目盛りの間隔を軸単位で設定します。
アシスタントライン	
	チャートに補助線を追加して、視覚的なデータ傾向、平均、正規分布などを表示します。
	選択された補助線を削除します。
	選択された補助線の名前を変更します。
値	補助線のデータシリーズを選択します。
グループ値	補助線のグループ値を選択します。
タイプ	希望の補助線の種類を選択します。
R ² 値を表示	チャートに R ² 値を表示します。
将来予測／過去予測	予測に含める期間の数を指定します。
他の線と揃える	補助線を他の線と揃えます。
期間	ポイント値の平均化に使用するデータポイントの数を指定します。
スムーズ	線の角度を滑らかにします。
カスタムカラーを使用	線の色をカスタマイズします。
ライン色	線の色を設定します。
Cap スタイル	線のキャップスタイルを選択します。
Dash スタイル	線のダッシュスタイルを選択します。
Join スタイル	線の結合スタイルを選択します。
可視	線を表示するためには、このボックスにチェックを付けます。

ウォーターフォールチャート

ウォーターフォールチャートは、特殊なタイプの棒チャートです。一連の変化（増加または減少）によって開始値がどのように影響を受けるかを理解するのに役立ちます。



チャートのプロパティ

チャートタイプを選択したら、そのプロパティを変更することによりチャートをカスタマイズすることができます。

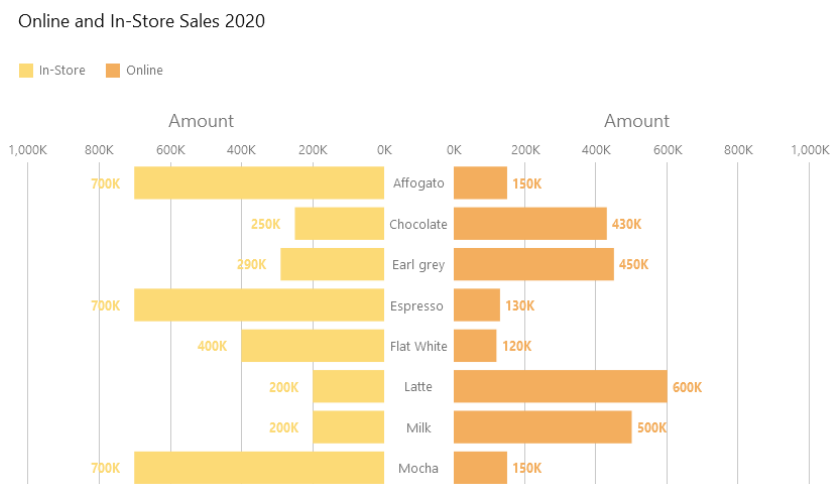
オプション	説明
基本	
背景色	チャート領域の背景色を設定します。
境界を表示	チャートの外枠を表示します。
ボーダー色	チャートの外枠の色を設定します。
タイトルを表示	チャートのメインタイトルを表示します。
タイトル	チャートのタイトルを指定します。
テキストの折り返し	長いタイトル文字列の折り返しを有効にし、複数行へ自動的に折り返します。
タイトルのフォント	タイトルのフォントスタイルを設定します。
位置	タイトルの位置を設定します。
整列	タイトルの縦または横の配置を設定します。
備考	チャートの備考を入力します。
凡例	
凡例を表示	凡例コンテナを表示します。
位置	凡例の位置を設定します。
整列	凡例の垂直方向または水平方向の配置を設定します。
ラベルの色	凡例ラベルの色を設定します。
データ	
データの値を表示	データシリーズの値を表示します。
棒ラベルの位置	バーラベルの位置を設定します。
棒ラベルのフォント	バーラベルのフォント スタイルを設定します。
合計のバーの色	合計バーの色を設定します。
小計のバーの色	小計バーの色を設定します。
合計のバーのタイトル	合計バーのタイトルを指定します。
増加と減少の色を使用する	増加の色と減少の色でバーに色を付けます。
増加の色	値が増加した時のバーの色を設定します。
減少の色	値が減少した時のバーの色を設定します。

カスタムデータ値の色を使用する	データ値のラベルの色をカスタマイズします。
正のデータ値の色	正の値のラベルの色を設定します。
負のデータ値の色	負の値のラベルの色を設定します。
表示 トップ #	トップ#件のデータのみが表示されます。
スタイル	チャートに離散または連続のデータ系列をプロットします。
密度	データ系列の密度を選択します。
グループ値のソート	グループ値を並べ替えます (減少から増加へ、または、増加から減少へ)。
色	データシリーズの色パレットを設定します。
全てのデータの色	各シリーズの色を設定できます。
データ形式 - 数値	
プレフィックス	チャートの全ての数値データにプレフィックス文字を追加します。
単位	数値データを短くする単位を選択します。
サフィックス	カスタマイズされた単位にラベルを付けるためのサフィックスを指定します。
仕切り	カスタマイズされた単位の区切りを指定します。
3 桁区切り	数値データの 3 桁区切りを選択します。
小数点	数値データの小数点を選択します。
小数部分の桁数	数値データの小数部分の桁数を指定します。
負数	表示される負の数の形式を選択します。
データ形式 - 日付時刻	
日付/時刻	データの日付と時刻の形式を選択します。
カスタム	日付と時刻の形式 をカスタマイズします。
X 軸	
X 軸のタイトルを表示	X 軸のタイトルを表示します。
X 軸のタイトル	X 軸のタイトルを指定します。
フォント	X 軸のタイトルのフォントスタイルを設定します。
軸の最後に X 軸のタイトルを表示	X 軸の最後にタイトルを表示します。
X 軸のラベルを表示	X 軸のラベルを表示します。
フォント/太字	X 軸ラベルのフォントスタイルを設定します。
X 軸ラベルの回転	X 軸のラベルを回転します。
X 軸のラベル間隔	X 軸のラベルの間隔を変更します。
X 軸を表示	X 軸の線を表示します。
X 軸の色	X 軸の線の色を設定します。
Y 軸/セカンダリ Y 軸	
Y 軸のタイトルを表示/セカンダリ Y 軸のタイトルを表示	Y 軸のタイトルを表示します。
Y 軸のタイトル/セカンダリ Y 軸のタイトル	Y 軸のタイトルを指定します。
フォント	Y 軸のタイトルのフォントスタイルを設定します。
軸の最後に Y 軸のタイトルを表示	Y 軸の最後にタイトルを表示します。
Y 軸のラベルを表示	Y 軸のラベルを表示します。

フォント/太字	Y軸ラベルのフォントスタイルを設定します。
Y軸を表示	Y軸の線を表示します。
Y軸の色	Y軸の線の色を設定します。
グリッド線を表示	Y軸のグリッド線を表示します。
カスタム範囲を使用	グリッド線の範囲を設定します。 開始 と 終わり わりの値を入力します。この範囲を超えて描画されるグラフは切り取られます。
カスタム間隔を使用	Y軸の間隔を変更します。
目盛りの間隔	目盛りの間隔を軸単位で設定します。

トルネードチャート

トルネードチャートは、特殊なタイプの棒チャートです。異なるタイプのデータまたはカテゴリ間でデータを比較する場合に便利です。



チャートのプロパティ

チャートタイプを選択したら、そのプロパティを変更することによりチャートをカスタマイズすることができます。

オプション	説明
基本	
背景色	チャート領域の背景色を設定します。
境界を表示	チャートの外枠を表示します。
ボーダー色	チャートの外枠の色を設定します。
タイトルを表示	チャートのメインタイトルを表示します。
タイトル	チャートのタイトルを指定します。
テキストの折り返し	長いタイトル文字列の折り返しを有効にし、複数行へ自動的に折り返します。
タイトルのフォント	タイトルのフォントスタイルを設定します。
位置	タイトルの位置を設定します。
整列	タイトルの縦または横の配置を設定します。
備考	チャートの備考を入力します。
凡例	
凡例を表示	凡例コンテナを表示します。

位置	凡例の位置を設定します。
整列	凡例の垂直方向または水平方向の配置を設定します。
ラベルの色	凡例ラベルの色を設定します。
データ	
棒のラベルを表示	選択した系列のデータラベルを表示します。
棒のラベルに含まれるもの	ラベルにデータ値またはパーセンテージを表示します。
棒ラベルの位置	バーラベルの位置を設定します。
棒ラベルのフォント	バーラベルのフォント スタイルを設定します。
スタックを使用する	積み上げ棒を使用して値を表示します。
100%積み上げ棒を使用	100%積み上げ棒グラフを使用して、階層データの値を表示します。（それぞれの棒の高さは 100%であり、色付きの棒セグメントは棒全体に対するコンポーネントの相対的な割合を表します。）
積み上げ棒スタイル	積み上げセクションの表示方法を決定します。
負のデータバーの背景色	負のデータバーの色を設定します。
最小値	バーの最小値を設定します。
データのラベルの色	棒のデータラベルの色を設定します。
カスタムデータ値の色を使用する	データ値のラベルの色をカスタマイズします。
正のデータ値の色	正の値のラベルの色を設定します。
負のデータ値の色	負の値のラベルの色を設定します。
表示 トップ #	トップ#件のデータのみが表示されます。
不足している値を埋める	連続軸を使用します。データシリーズはそれらのドメイン値に応じて配置されます。
スタイル	チャートに離散バーまたは連続バーをプロットします。
密度	バーの密度を選択します。
色	データシリーズの色パレットを設定します。
全てのデータの色	各シリーズの色を設定できます。
データ形式 - 数値	
プレフィックス	チャートの全ての数値データにプレフィックス文字を追加します。
単位	数値データを短くする単位を選択します。
サフィックス	カスタマイズされた単位にラベルを付けるためのサフィックスを指定します。
仕切り	カスタマイズされた単位の区切りを指定します。
3 桁区切り	数値データの 3 桁区切りを選択します。
小数点	数値データの小数点を選択します。
小数部分の桁数	数値データの小数部分の桁数を指定します。
負数	表示される負の数の形式を選択します。
データ形式 - 日付時刻	
日付／時刻	データの日付と時刻の形式を選択します。
カスタム	日付と時刻の形式 をカスタマイズします。
Y 軸	
軸の位置	Y 軸の位置を設定します。

Y 軸のタイトルを表示	Y 軸のタイトルを表示します。
Y 軸のタイトル	Y 軸のタイトルを指定します。
フォント	Y 軸のタイトルのフォントスタイルを設定します。
Y 軸ラベルの間隔	Y 軸のラベルの間隔を変更します。
Y 軸のラベルを表示	Y 軸のラベルを表示します。
Y 軸の色	Y 軸の線の色を設定します。
X 軸	
X 軸のタイトルを表示	X 軸のタイトルを表示します。
左 X 軸のタイトル	左 X 軸のタイトルを指定します。
右 X 軸のタイトル	右 X 軸のタイトルを指定します。
フォント	X 軸のタイトルのフォントスタイルを設定します。
軸の最後に X 軸のタイトルを表示	X 軸の最後にタイトルを表示します。
X 軸のラベルを表示	X 軸のラベルを表示します。
X 軸を表示	X 軸の線を表示します。
X 軸の色	X 軸の線の色を設定します。
グリッド線を表示	X 軸のグリッド線を表示します。
カスタム範囲を使用	グリッド線の範囲を設定します。 開始 と 終わり わりの値を入力します。この範囲を超えて描画されるグラフは切り取られます。
カスタム間隔を使用	X 軸の間隔を変更します。
目盛りの間隔	目盛りの間隔を軸単位で設定します。

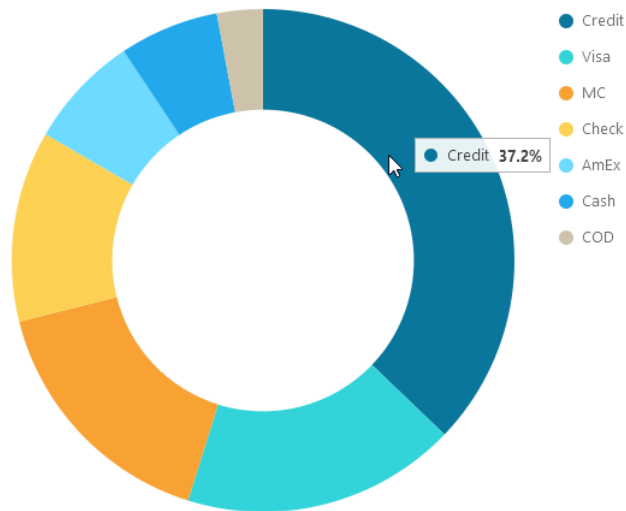
全体に対する構成比

全体に対する構成比を示すチャートは、個々のデータポイントがデータセット全体にどのように寄与しているかを表すのに適しています。合計を構成要素へ視覚的に分解することで、割合、市場シェア、階層的な分布を一目で把握できます。

円チャート／ドーナツチャート

円チャートまたはドーナツチャートでは、円の一連のセグメントにデータが表示され、セグメントが大きいほどデータの値が大きいことを表します。

- 円チャート
- ドーナツチャート



チャートのプロパティ

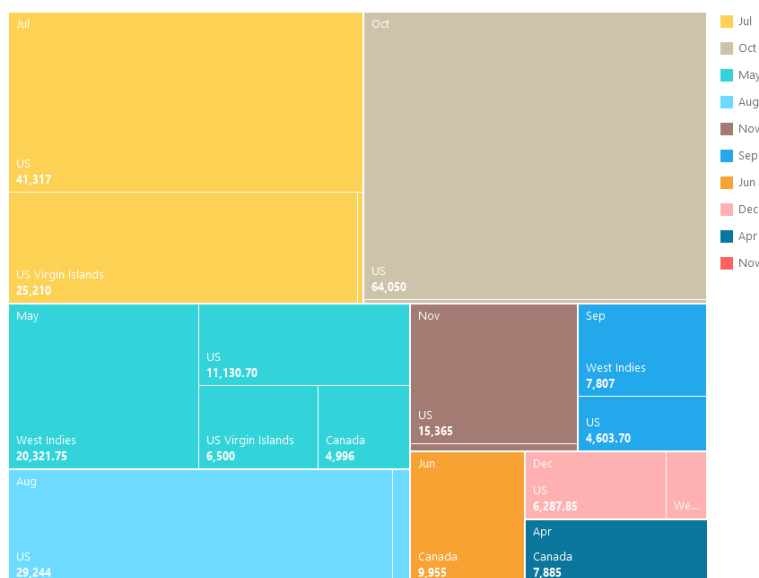
チャートタイプを選択したら、そのプロパティを変更することによりチャートをカスタマイズすることができます。

オプション	説明
基本	
背景色	チャート領域の背景色を設定します。
境界を表示	チャートの外枠を表示します。
ボーダー色	チャートの外枠の色を設定します。
タイトルを表示	チャートのメインタイトルを表示します。
タイトル	チャートのタイトルを指定します。
テキストの折り返し	長いタイトル文字列の折り返しを有効にし、複数行へ自動的に折り返します。
タイトルのフォント	タイトルのフォントスタイルを設定します。
位置	タイトルの位置を設定します。
整列	タイトルの縦または横の配置を設定します。
備考	チャートの備考を入力します。
凡例	
凡例を表示	凡例コンテナを表示します。
位置	凡例の位置を設定します。
整列	凡例の垂直方向または水平方向の配置を設定します。
ラベルの色	凡例ラベルの色を設定します。
データ	
データのラベルを表示	データシリーズを明確にするデータラベルを表示します。
データの値を表示	データシリーズの値を表示します。
データの割合（%）を表示	スライスのデータの割合（%）を表示します。
スライス内にラベルを表示	スライス内にスライスのラベルを適切な場所に表示します。小さいスライスのラベルは非表示になります。
他のスライスの上にラベルを表示	全てのラベルが表示されます。小さいスライスのラベルは、他のスライスと重なります。
スライスセパレータを表示	円／ドーナツチャート間に白い境界線を追加します。
データのラベルの色	データラベルの色を設定します。

表示 トップ #	トップ#件のデータのみが表示されます。
スライス	小さなスライスを（その他と呼ばれる）1つのスライスにグループ化します。
色	データシリーズの色パレットを設定します。
データ形式 - 数値	
プレフィックス	チャートの全ての数値データにプレフィックス文字を追加します。
単位	数値データを短くする単位を選択します。
サフィックス	カスタマイズされた単位にラベルを付けるためのサフィックスを指定します。
仕切り	カスタマイズされた単位の区切りを指定します。
3桁区切り	数値データの3桁区切りを選択します。
小数点	数値データの小数点を選択します。
小数部分の桁数	数値データの小数部分の桁数を指定します。
負数	表示される負の数の形式を選択します。
データ形式 - 日付時刻	
日付/時刻	データの日付と時刻の形式を選択します。
カスタム	日付と時刻の形式 をカスタマイズします。
グループ	
グループタイトルを表示	グループのタイトルを表示します。
グループタイトル	グループのタイトルを指定します。
グループタイトルのフォント	グループタイトルのフォントスタイルを設定します。

ツリーマップ

ツリーマップは、階層構造を視覚化しながら、面サイズを通して各カテゴリの数量を表示するという別の方法です。



チャートのプロパティ

チャートタイプを選択したら、そのプロパティを変更することによりチャートをカスタマイズすることができます。

オプション	説明
基本	

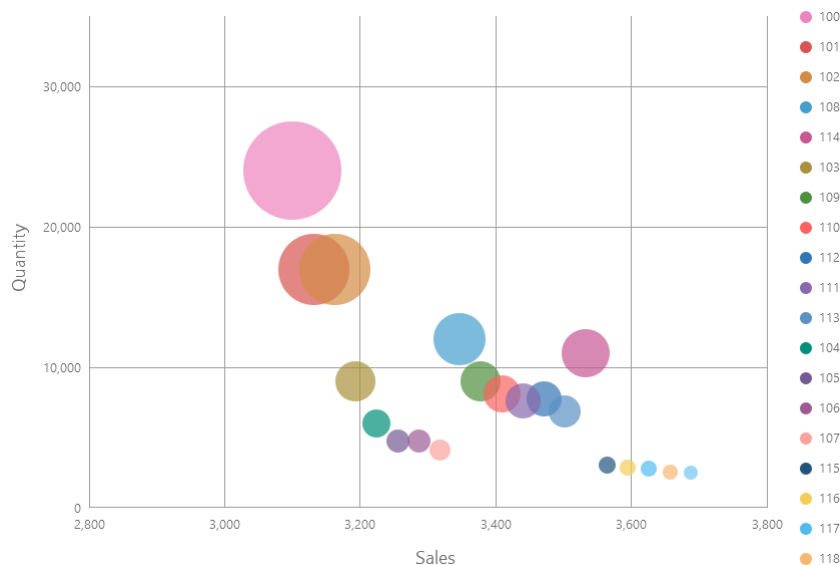
背景色	チャート領域の背景色を設定します。
境界を表示	チャートの外枠を表示します。
ボーダー色	チャートの外枠の色を設定します。
タイトルを表示	チャートのメインタイトルを表示します。
タイトル	チャートのタイトルを指定します。
テキストの折り返し	長いタイトル文字列の折り返しを有効にし、複数行へ自動的に折り返します。
タイトルのフォント	タイトルのフォントスタイルを設定します。
位置	タイトルの位置を設定します。
整列	タイトルの縦または横の配置を設定します。
備考	チャートの備考を入力します。
凡例	
凡例を表示	凡例コンテナを表示します。
位置	凡例の位置を設定します。
整列	凡例の垂直方向または水平方向の配置を設定します。
ラベルの色	凡例ラベルの色を設定します。
データ	
データのポイント名を表示	データポイントの名前を表示します。
データの値を表示	データポイントの値を表示します。
データの割合（%）を表示	データポイントのデータの割合（%）を表示します。
データのラベルの色	データラベルの色を設定します。
タイル	小さなタイルを 1 つのタイル（その他と呼ばれる）にグループ化します。
色	データポイントのカラーパレットを設定します。
データ形式 - 数値	
プレフィックス	チャートの全ての数値データにプレフィックス文字を追加します。
単位	数値データを短くする単位を選択します。
サフィックス	カスタマイズされた単位にラベルを付けるためのサフィックスを指定します。
仕切り	カスタマイズされた単位の区切りを指定します。
3 桁区切り	数値データの 3 桁区切りを選択します。
小数点	数値データの小数点を選択します。
小数部分の桁数	数値データの小数部分の桁数を指定します。
負数	表示される負の数の形式を選択します。
データ形式 - 日付時刻	
日付／時刻	データの日付と時刻の形式を選択します。
カスタム	日付と時刻の形式 をカスタマイズします。

関係性とパターン

関係性とパターンを強調するチャートは、データ内の相関、分布、集中を見つけるのに適しています。座標平面上に個別の変数をプロットしたり、色の濃さで密集したデータクラスターを示したりすることで、生のデータテーブルでは見落としやすい傾向を特定できます。

散布チャート

散布チャートは、X 軸と Y 軸に沿って配置された個々のデータポイントでデータをプロットします。



チャートのプロパティ

チャートタイプを選択したら、そのプロパティを変更することによりチャートをカスタマイズすることができます。

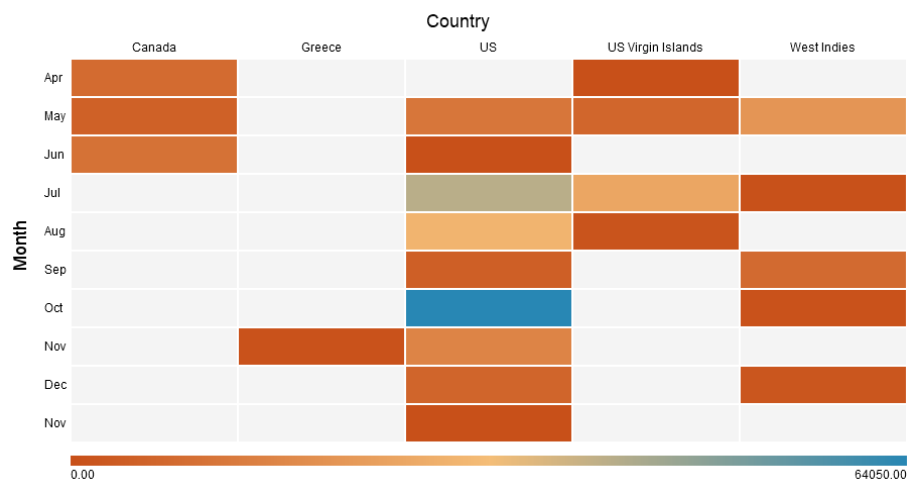
オプション	説明
基本	
背景色	チャート領域の背景色を設定します。
境界を表示	チャートの外枠を表示します。
ボーダー色	チャートの外枠の色を設定します。
タイトルを表示	チャートのメインタイトルを表示します。
タイトル	チャートのタイトルを指定します。
テキストの折り返し	長いタイトル文字列の折り返しを有効にし、複数行へ自動的に折り返します。
タイトルのフォント	タイトルのフォントスタイルを設定します。
位置	タイトルの位置を設定します。
整列	タイトルの縦または横の配置を設定します。
備考	チャートの備考を入力します。
凡例	
凡例を表示	凡例コンテナを表示します。
位置	凡例の位置を設定します。
整列	凡例の垂直方向または水平方向の配置を設定します。
ラベルの色	凡例ラベルの色を設定します。
データ	
サイズ値を表示	バブルのサイズを表示します。
密度	データ系列の密度を選択します。

色	データシリーズの色パレットを設定します。
データ形式 - 数値	
プレフィックス	チャートの全ての数値データにプレフィックス文字を追加します。
単位	数値データを短くする単位を選択します。
サフィックス	カスタマイズされた単位にラベルを付けるためのサフィックスを指定します。
仕切り	カスタマイズされた単位の区切りを指定します。
3 桁区切り	数値データの 3 桁区切りを選択します。
小数点	数値データの小数点を選択します。
小数部分の桁数	数値データの小数部分の桁数を指定します。
負数	表示される負の数の形式を選択します。
データ形式 - 日付時刻	
日付／時刻	データの日付と時刻の形式を選択します。
カスタム	日付と時刻の形式 をカスタマイズします。
X 軸	
X 軸のタイトルを表示	X 軸のタイトルを表示します。
X 軸のタイトル	X 軸のタイトルを指定します。
フォント	X 軸のタイトルのフォントスタイルを設定します。
軸の最後に X 軸のタイトルを表示	X 軸の最後にタイトルを表示します。
X 軸のラベルを表示	X 軸のラベルを表示します。
フォント／太字	X 軸ラベルのフォントスタイルを設定します。
X 軸ラベルの回転	X 軸のラベルを回転します。
X 軸のラベル間隔	X 軸のラベルの間隔を変更します。
X 軸を表示	X 軸の線を表示します。
X 軸の色	X 軸の線の色を設定します。
グリッド線を表示	X 軸のグリッド線を表示します。
カスタム範囲を使用	グリッド線の範囲を設定します。 開始 と 終わり わりの値を入力します。この範囲を超えて描画されるグラフは切り取られます。
カスタム間隔を使用	X 軸の間隔を変更します。
目盛りの間隔	目盛りの間隔を軸単位で設定します。
Y 軸	
Y 軸のタイトルを表示	Y 軸のタイトルを表示します。
Y 軸のタイトル	Y 軸のタイトルを指定します。
フォント	Y 軸のタイトルのフォントスタイルを設定します。
軸の最後に Y 軸のタイトルを表示	Y 軸の最後にタイトルを表示します。
Y 軸のラベルを表示	Y 軸のラベルを表示します。
フォント／太字	Y 軸ラベルのフォントスタイルを設定します。
Y 軸を表示	Y 軸の線を表示します。
Y 軸の色	Y 軸の線の色を設定します。
グリッド線を表示	Y 軸のグリッド線を表示します。
カスタム範囲を使用	グリッド線の範囲を設定します。 開始 と 終わり わりの値を入力します。この

	範囲を超えて描画されるグラフは切り取られます。
カスタム間隔を使用	Y 軸の間隔を変更します。
目盛りの間隔	目盛りの間隔を軸単位で設定します。
アシスタントライン	
	チャートに補助線を追加して、視覚的なデータ傾向、平均、正規分布などを表示します。
	選択された補助線を削除します。
	選択された補助線の名前を変更します。
値	補助線のデータシリーズを選択します。
グループ値	補助線のグループ値を選択します。
タイプ	希望の補助線の種類を選択します。
R ² 値を表示	チャートに R ² 値を表示します。
将来予測／過去予測	予測に含める期間の数を指定します。
他の線と揃える	補助線を他の線と揃えます。
期間	ポイント値の平均化に使用するデータポイントの数を指定します。
スムーズ	線の角度を滑らかにします。
カスタムカラーを使用	線の色をカスタマイズします。
ライン色	線の色を設定します。
Cap スタイル	線のキャップスタイルを選択します。
Dash スタイル	線のダッシュスタイルを選択します。
Join スタイル	線の結合スタイルを選択します。
可視	線を表示するためには、このボックスにチェックを付けます。

ヒートマップ

ヒートマップは、表形式で色の範囲としてデータを表します。色が濃いほど、特定のデータポイントの集計値が大きいことを表します。



チャートのプロパティ

チャートタイプを選択したら、そのプロパティを変更することによりチャートをカスタマイズすることができます。

オプション	説明
基本	
背景色	チャート領域の背景色を設定します。
境界を表示	チャートの外枠を表示します。
ボーダー色	チャートの外枠の色を設定します。
タイトルを表示	チャートのメインタイトルを表示します。
タイトル	チャートのタイトルを指定します。
テキストの折り返し	長いタイトル文字列の折り返しを有効にし、複数行へ自動的に折り返します。
タイトルのフォント	タイトルのフォントスタイルを設定します。
位置	タイトルの位置を設定します。
整列	タイトルの縦または横の配置を設定します。
備考	チャートの備考を入力します。
凡例	
凡例を表示	凡例コンテナを表示します。
位置	凡例の位置を設定します。
ラベルの色	凡例ラベルの色を設定します。
データ	
データの値を表示	データシリーズの値を表示します。
データの割合（%）を表示	データシリーズのパーセンテージを表示します。
フォント	データラベルのフォントスタイルを設定します。
発散	発散カラスケールを使用します。
カスタムの最小／最大値を使用	最小値、中央値、最大値の色をカスタマイズします。Navicat は、これらの値の色に基づいてセルの色を計算します。
最小値の色	カラーマップの最小値の色を設定します。
中央値の色	カラーマップの中央にある値の色を設定します。
最大値の色	カラーマップの最大値の色を設定します。
最小値	最小値を指定します。
最大値	最大値を指定します。
データ形式 - 数値	
プレフィックス	チャートの全ての数値データにプレフィックス文字を追加します。
単位	数値データを短くする単位を選択します。
サフィックス	カスタマイズされた単位にラベルを付けるためのサフィックスを指定します。
仕切り	カスタマイズされた単位の区切りを指定します。
3 桁区切り	数値データの 3 桁区切りを選択します。
小数点	数値データの小数点を選択します。
小数部分の桁数	数値データの小数部分の桁数を指定します。
負数	表示される負の数の形式を選択します。
データ形式 - 日付時刻	
日付／時刻	データの日付と時刻の形式を選択します。
カスタム	日付と時刻の形式 をカスタマイズします。

列	
列タイトルを表示	列のタイトルを表示します。
列タイトル	列のタイトルを指定します。
列タイトルのフォント	列のタイトルのフォントスタイルを設定します。
列のラベルを表示	列のラベルを表示します。
列のラベルの色	列のラベルの色を設定します。
行	
行タイトルを表示	行のタイトルを表示します。
行タイトル	行のタイトルを指定します。
行タイトルのフォント	行のタイトルのフォントスタイルを設定します。
行のラベルを表示	行のラベルを表示します。
行のラベルの色	行のラベルの色を設定します。

パフォーマンス、目標、サマリー指標

このカテゴリのチャートは、主要な指標を上位レベルですぐに把握できるよう設計されています。複雑なデータセットを単一の集計値にまとめる、期間ごとの変化を追跡する、特定の目標に対する進捗を測定することで、パフォーマンスダッシュボードに必要な主要情報を提供します。

値

値には、データフィールドの 1 つの集計値が表示されます。例えば、合計。

Total

\$259,619.25

チャートのプロパティ

チャートタイプを選択したら、そのプロパティを変更することによりチャートをカスタマイズすることができます。

オプション	説明
基本	
背景色	チャート領域の背景色を設定します。
境界を表示	チャートの外枠を表示します。
ボーダー色	チャートの外枠の色を設定します。
タイトルを表示	チャートのメインタイトルを表示します。
タイトル	チャートのタイトルを指定します。
テキストの折り返し	長いタイトル文字列の折り返しを有効にし、複数行へ自動的に折り返します。
タイトルのフォント	タイトルのフォントスタイルを設定します。
位置	タイトルの位置を設定します。
整列	タイトルの縦または横の配置を設定します。
備考	チャートの備考を入力します。

データ	
データのラベルのフォント	データラベルのフォントスタイルを設定します。
マイナスのフォントの色	負の値の色を設定します。
整列	データのラベルの水平方向の配置を設定します。
データ形式 - 数値	
プレフィックス	チャートの全ての数値データにプレフィックス文字を追加します。
単位	数値データを短くする単位を選択します。
サフィックス	カスタマイズされた単位にラベルを付けるためのサフィックスを指定します。
仕切り	カスタマイズされた単位の区切りを指定します。
3 桁区切り	数値データの 3 桁区切りを選択します。
小数点	数値データの小数点を選択します。
小数部分の桁数	数値データの小数部分の桁数を指定します。
負数	表示される負の数の形式を選択します。
データ形式 - 日付時刻	
日付／時刻	データの日付と時刻の形式を選択します。
カスタム	日付と時刻の形式 をカスタマイズします。

トレンド

トレンドには、現在の値が前の値と比較して上昇または下降を示していることと、その変化率（%）を示します。

514.18 ▼
2,523.01 -79.6%

チャートのプロパティ

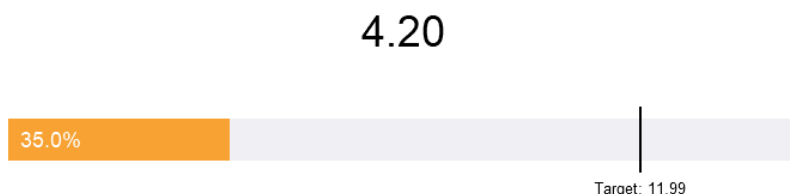
チャートタイプを選択したら、そのプロパティを変更することによりチャートをカスタマイズすることができます。

オプション	説明
基本	
背景色	チャート領域の背景色を設定します。
境界を表示	チャートの外枠を表示します。
ボーダー色	チャートの外枠の色を設定します。
タイトルを表示	チャートのメインタイトルを表示します。
タイトル	チャートのタイトルを指定します。
テキストの折り返し	長いタイトル文字列の折り返しを有効にし、複数行へ自動的に折り返します。
タイトルのフォント	タイトルのフォントスタイルを設定します。
位置	タイトルの位置を設定します。
整列	タイトルの縦または横の配置を設定します。
備考	チャートの備考を入力します。
データ	

前の値を表示	前の値を表示します。
差を表示	現在の値と前の値の値／割合（％）の差を表示します。
インジケータを表示	上昇または下降のインジケータを表示します。
メインのラベルのフォント	メインラベルのフォントスタイルを設定します。
前の値の色	前の値の色を設定します。
ターゲット達成時の色	値が上昇傾向の時のインジケータと割合（％）の色を設定します。
ターゲットに達していない時の色	値が下降傾向の時のインジケータと割合（％）の色を設定します。
データ形式 - 数値	
プレフィックス	チャートの全ての数値データにプレフィックス文字を追加します。
単位	数値データを短くする単位を選択します。
サフィックス	カスタマイズされた単位にラベルを付けるためのサフィックスを指定します。
仕切り	カスタマイズされた単位の区切りを指定します。
3 桁区切り	数値データの 3 桁区切りを選択します。
小数点	数値データの小数点を選択します。
小数部分の桁数	数値データの小数部分の桁数を指定します。
負数	表示される負の数の形式を選択します。

KPI

KPI は、キー値とそのターゲット値の比較をプログレスバーを使用して表示します。



チャートのプロパティ

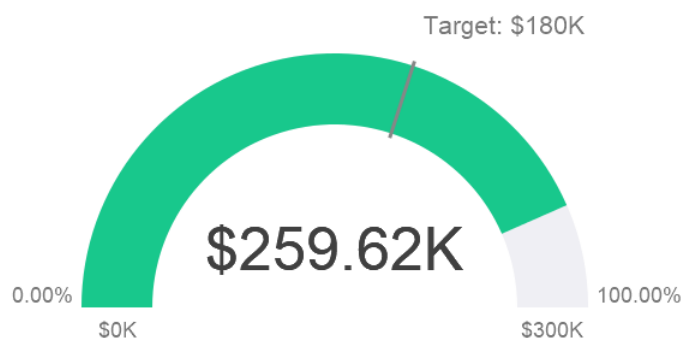
チャートタイプを選択したら、そのプロパティを変更することによりチャートをカスタマイズすることができます。

オプション	説明
基本	
背景色	チャート領域の背景色を設定します。
境界を表示	チャートの外枠を表示します。
ボーダー色	チャートの外枠の色を設定します。
タイトルを表示	チャートのメインタイトルを表示します。
タイトル	チャートのタイトルを指定します。
テキストの折り返し	長いタイトル文字列の折り返しを有効にし、複数行へ自動的に折り返します。
タイトルのフォント	タイトルのフォントスタイルを設定します。
位置	タイトルの位置を設定します。
整列	タイトルの縦または横の配置を設定します。
備考	チャートの備考を入力します。

データ	
表示されるメインのラベル	メインのラベルに 実際の値 または 比較 の割合（％）を表示します。
メインのラベルのフォント	メインラベルのフォントスタイルを設定します。
インジケーターの太さ	バーのサブラベルのフォントサイズを設定します。
サブラベルの色	バーのサブラベルの色を設定します。
ターゲットの説明	ターゲットラベルのキャプションを指定します。
カスタムターゲット値を使用	目標値を設定します。
ターゲットのラベルの色	ターゲットラベルの色を設定します。
ターゲット達成時の色	値がターゲットに達した時のバーの色を設定します。
ターゲットに達していない時の色	値がターゲットに達していない時のバーの色を設定します。
データ形式 - 数値	
プレフィックス	チャートの全ての数値データにプレフィックス文字を追加します。
単位	数値データを短くする単位を選択します。
サフィックス	カスタマイズされた単位にラベルを付けるためのサフィックスを指定します。
仕切り	カスタマイズされた単位の区切りを指定します。
3 桁区切り	数値データの 3 桁区切りを選択します。
小数点	数値データの小数点を選択します。
小数部分の桁数	数値データの小数部分の桁数を指定します。
負数	表示される負の数の形式を選択します。

ゲージ

ゲージはメータータイプのチャートです。円弧があり、目標値（ゴール）への進捗状況を測定する単一の値が表示されます。



チャートのプロパティ

チャートタイプを選択したら、そのプロパティを変更することによりチャートをカスタマイズすることができます。

オプション	説明
基本	
背景色	チャート領域の背景色を設定します。
境界を表示	チャートの外枠を表示します。
ボーダー色	チャートの外枠の色を設定します。
タイトルを表示	チャートのメインタイトルを表示します。
タイトル	チャートのタイトルを指定します。

テキストの折り返し	長いタイトル文字列の折り返しを有効にし、複数行へ自動的に折り返します。
タイトルのフォント	タイトルのフォントスタイルを設定します。
位置	タイトルの位置を設定します。
整列	タイトルの縦または横の配置を設定します。
備考	チャートの備考を入力します。
データ	
ポインタを表示	針を表示します。
パイプの幅の割合	スケールがゲージ領域を占めるパーセンテージを設定します。
背景色	針が非表示の時のスケールの背景色を設定します。
ターゲットカラー	目標ラインの色を設定します。
ポインタの色	針の色を設定します。
値の表示	実際のデータまたは値の比較パーセンテージを表示します。
値のフォント	値のフォントスタイルを設定します。
ターゲットの表示	実際のデータまたは目標値の比較パーセントを表示します。
ターゲットの説明	対象ラベルのキャプションを指定します。
カスタムターゲット値を使用	目標値を設定します。
ターゲットのフォント	目標値のフォントスタイルを設定します。
最小／最大の表示	実際のデータまたは最小値と最大値の比較パーセンテージを表示します。
カスタム最小値を使用	スケールが開始する値を設定します。
カスタム最大値を使用	スケールが終了する値を設定します。
最小／最大のフォント	最小値と最大値のフォントスタイルを設定します。
パーティションラベルの表示	実際のデータまたはパーティションラベルの比較パーセンテージを表示します。
パーティションラベルのフォント	パーティションラベルのフォントスタイルを設定します。
パーティション（最大 8）	スケールをパーティションの数に分割します。
パーティションのスタイル	スケールを均等に分割するか、各パーティションの開始パーセンテージをカスタマイズします。
データ形式 - 数値	
プレフィックス	チャートの全ての数値データにプレフィックス文字を追加します。
単位	数値データを短くする単位を選択します。
サフィックス	カスタマイズされた単位にラベルを付けるためのサフィックスを指定します。
仕切り	カスタマイズされた単位の区切りを指定します。
3 桁区切り	数値データの 3 桁区切りを選択します。
小数点	数値データの小数点を選択します。
小数部分の桁数	数値データの小数部分の桁数を指定します。
負数	表示される負の数の形式を選択します。

表形式データとコントロール

表形式のビジュアライゼーションと対話型コントロールは、データセットを構造化された詳細な形式で表示し、プレゼンテーション中にダッシュボード情報を絞り込み、操作できるようにします。

テーブル

テーブルはデータを表形式で表示し、各列の最後に合計を計算します。

Job Title	No. of Employees
AC_ACCOUNT	31
AC_MGR	31
AD_ASST	31
AD PRES	31
AD_VP	62
FI_ACCOUNT	155
FI_MGR	31
HR_REP	31
IT_PROG	155
MK_MAN	31
MK_REP	31
PR_REP	31
PU_CLERK	155
PU_MAN	31
SA_MAN	155
SA_REP	930
SH_CLERK	620
ST_CLERK	620
ST_MAN	155
	3317.00

チャートのプロパティ

チャートタイプを選択したら、そのプロパティを変更することによりチャートをカスタマイズすることができます。

オプション	説明
基本	
背景色	チャート領域の背景色を設定します。
境界を表示	チャートの外枠を表示します。
ボーダー色	チャートの外枠の色を設定します。
タイトルを表示	チャートのメインタイトルを表示します。
タイトル	チャートのタイトルを指定します。
テキストの折り返し	長いタイトル文字列の折り返しを有効にし、複数行へ自動的に折り返します。
タイトルのフォント	タイトルのフォントスタイルを設定します。
位置	タイトルの位置を設定します。
整列	タイトルの縦または横の配置を設定します。
備考	チャートの備考を入力します。
データ	
フォント	フィールド名とデータのフォントスタイルを設定します。
代替行の色を表示	代替行に色を適用します。
垂直グリッドラインを表示	垂直方向のグリッド線を表示します。
水平グリッドラインを表示	水平方向のグリッド線を表示します。

色	データシリーズの色パレットを設定します。
データ形式 - 数値	
プレフィックス	チャートの全ての数値データにプレフィックス文字を追加します。
単位	数値データを短くする単位を選択します。
サフィックス	カスタマイズされた単位にラベルを付けるためのサフィックスを指定します。
仕切り	カスタマイズされた単位の区切りを指定します。
3 桁区切り	数値データの 3 桁区切りを選択します。
小数点	数値データの小数点を選択します。
小数部分の桁数	数値データの小数部分の桁数を指定します。
負数	表示される負の数の形式を選択します。
データ形式 - 日付時刻	
日付／時刻	データの日付と時刻の形式を選択します。
カスタム	日付と時刻の形式 をカスタマイズします。
データバー	
スタイル	データバーを使用してセルの書式を設定します。
バーのみのアイテムを表示	数値なしで、セル内のデータバーのみを表示します。
カスタム最小値／最大値	データバーの最小値と最大値をカスタマイズします。
最小値	データバーの最小値を指定します。
最大値	データバーの最大値を指定します。
プラスのバーの色	データバーの色を正の値で設定します。
マイナスのバーの色	負の値を持つデータバーの色を設定します。
X 軸の色	正のバーと負のバーを分ける軸の色を設定します。
合計	
合計を表示	テーブルの最後の行に合計を表示します。
合計の色	合計値の色を設定します。

ピボットテーブル

ピボットテーブルは、2 つのディメンションの交点のメジャー値を示し、表形式でデータを表示します。

Monthly State Sales Report

State	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Total
BC	\$7,885		\$9,955					17840.00
CA						\$971.70		7259.55
Corfu								766.80
FL		\$2,814.70	\$0	\$32,793	\$10,712			46319.70
GA			\$0		\$18,532			18532.00
HI		\$3,115		\$8,524			\$64,050	91054.00
Jamaica		20,321.75		\$343.80		\$7,807	\$787.80	31070.20
OR		\$5,201	\$0			\$3,632		8833.00
Ontario		\$4,996						4996.00
St. Croix	\$0	\$6,500		\$25,210	\$1,238			32948.00
Total	7885.00	42948.45	9955.00	66870.80	30482.00	12410.70	64837.80	259619.25

チャートのプロパティ

チャートタイプを選択したら、そのプロパティを変更することによりチャートをカスタマイズすることができます。

オプション	説明
基本	
背景色	チャート領域の背景色を設定します。
境界を表示	チャートの外枠を表示します。
ボーダー色	チャートの外枠の色を設定します。
タイトルを表示	チャートのメインタイトルを表示します。
タイトル	チャートのタイトルを指定します。
テキストの折り返し	長いタイトル文字列の折り返しを有効にし、複数行へ自動的に折り返します。
タイトルのフォント	タイトルのフォントスタイルを設定します。
位置	タイトルの位置を設定します。
整列	タイトルの縦または横の配置を設定します。
備考	チャートの備考を入力します。
データ	
フォント	フィールド名とデータのフォントスタイルを設定します。
代替行の色を表示	代替行に色を適用します。
垂直グリッドラインを表示	垂直方向のグリッド線を表示します。
水平グリッドラインを表示	水平方向のグリッド線を表示します。
色	データシリーズの色パレットを設定します。
データ形式 - 数値	
プレフィックス	チャートの全ての数値データにプレフィックス文字を追加します。
単位	数値データを短くする単位を選択します。
サフィックス	カスタマイズされた単位にラベルを付けるためのサフィックスを指定します。
仕切り	カスタマイズされた単位の区切りを指定します。
3 桁区切り	数値データの 3 桁区切りを選択します。
小数点	数値データの小数点を選択します。
小数部分の桁数	数値データの小数部分の桁数を指定します。
負数	表示される負の数の形式を選択します。
データ形式 - 日付時刻	
日付／時刻	データの日付と時刻の形式を選択します。
カスタム	日付と時刻の形式 をカスタマイズします。
データバー	
スタイル	データバーを使用してセルの書式を設定します。
バーのみのアイテムを表示	数値なしで、セル内のデータバーのみを表示します。
カスタム最小値／最大値	データバーの最小値と最大値をカスタマイズします。
最小値	データバーの最小値を指定します。
最大値	データバーの最大値を指定します。
プラスのバーの色	データバーの色を正の値で設定します。
マイナスのバーの色	負の値を持つデータバーの色を設定します。
X 軸の色	正のバーと負のバーを分ける軸の色を設定します。
合計	

行合計を表示	テーブルの最後の行に合計を表示します。 行の合計の名前を入力し、値の色と背景色を設定します。
列合計を表示	テーブルの最後の列に合計を表示します。 列の合計の名前を入力し、値の色と背景色を設定します。
行の小計を表示	グループの最後の行に合計を表示します。 行の小計の名前を入力し、値の色と背景色を設定します。
列の小計を表示	グループの最後の列に合計を表示します。 列の小計の名前を入力し、値の色と背景色を設定します。

コントロール

コントロールを使用して、プレゼンテーション中にダッシュボード内の全てのチャートのデータシリーズにフィルタをかけることができます。

Month

- ☐ April
- ☐ May
- ☐ June
- ☐ July
- ☐ August
- ☐ September
- ☐ October
- ☐ November
- ☐ December
- ☐ November

チャートのプロパティ

チャートタイプを選択したら、そのプロパティを変更することによりチャートをカスタマイズすることができます。

オプション	説明
基本	
背景色	チャート領域の背景色を設定します。
境界を表示	チャートの外枠を表示します。
ボーダー色	チャートの外枠の色を設定します。
タイトルを表示	チャートのメインタイトルを表示します。
タイトル	チャートのタイトルを指定します。
テキストの折り返し	長いタイトル文字列の折り返しを有効にし、複数行へ自動的に折り返します。
位置	タイトルの位置を設定します。
配置	タイトルの縦または横の配置を設定します。
整列	タイトルの縦または横の配置を設定します。
備考	チャートの備考を入力します。
データ	
データのラベルの色	データラベルの色を設定します。
スタイル	データをリスト、範囲、またはコンボボックスとして表示します。
データ形式 - 数値	

プレフィックス	チャートの全ての数値データにプレフィックス文字を追加します。
単位	数値データを短くする単位を選択します。
サフィックス	カスタマイズされた単位にラベルを付けるためのサフィックスを指定します。
仕切り	カスタマイズされた単位の区切りを指定します。
3 桁区切り	数値データの 3 桁区切りを選択します。
小数点	数値データの小数点を選択します。
小数部分の桁数	数値データの小数部分の桁数を指定します。
負数	表示される負の数の形式を選択します。
データ形式 - 日付時刻	
日付／時刻	データの日付と時刻の形式を選択します。
カスタム	日付と時刻の形式 をカスタマイズします。

DateTime 形式

時系列データや日付ベースの指標を表示する場合、データベースの生のタイムスタンプによってビジュアライゼーションが見つらなくなることがあります。カスタム書式指定子を適用すると、チャートの各視覚要素で日付と時刻の値をどのように表示するかを正確に制御できます。

利用可能な書式指定子

次のテーブルは、チャートの DateTime フィールドのユーザー定義データ形式を作成するために使用できる指定子を示しています。

指定子	説明
D	先行するゼロを付けずに日付を表示します（1～31）。
DD	先行するゼロを付けて日付を表示します（01～31）。
M	先行するゼロを付けずに月を表示します（1～12）。
MM	先行するゼロを付けて月を表示します（01～12）。
MMM	月を短縮形で表示します（Jan～Dec）。
MMMM	月をそのまま表示します（January～December）。
MMMMM	月を略称（J～D）で表示します。
YY	先行するゼロを付けて、年を 2 桁の数値で表示します（00～99）。
YYYY	年を 4 桁の数値書式で表示します（0000～9999）。
h	先行するゼロを付けずに、時を 12 時間制で表示します（1～12）。
hh	先行するゼロを付けて、時を 12 時間制で表示します（01～12）。
H	先行するゼロを付けずに、時を 24 時間制で表示します（0～23）。
HH	先行するゼロを付けて、時を 24 時間制で表示します（00～23）。
m	先行するゼロを付けずに、分を表示します（0～59）。
mm	先行するゼロを付けて、分を表示します（00～59）。
S	先行するゼロを付けずに、秒を表示します（0～59）。
SS	先行するゼロを付けて、秒を表示します（00～59）。
wd	曜日を 1 文字の省略形で表示します（S～S）。

Wd	曜日を省略形で表示します（日～土）。
WD	曜日を完全な名前で表示します（日曜日から土曜日）。
w	1 年の週を表示します（1～52、週の始まりは日曜日）。
WW	1 年の週を表示します（W1～W52、週の始まりは日曜日）。
q	1 年の四半期を表示します（1～4）。
QQ	1 年の四半期を表示します（Q1～Q4）。
p	午前は大文字の AM、午後（11:59 P.M. まで）は大文字の PM を表示します。

プロパティペインが非表示の場合、メニューバーから、**表示 -> プロパティを表示**を選択します。

新しいダッシュボードの作成

ダッシュボードを作成するための基本的な手順は次のとおりです：

1. ワークスペースウィンドウで、 **新規ダッシュボード**をクリックします。
2. ダッシュボードの名前を入力します。
3. **確認**をクリックします。
4. 新しく作成されたダッシュボードのタブが開きます。
5. ダッシュボードをデザインします。
6. 右ペインでプロパティを選択して、ダッシュボード用にさらにカスタマイズすることができます。

注意：各オブジェクトには異なるプロパティがあります。

ダッシュボードデータを更新する

正確な指標を表示するため、データ更新を実行して基となるデータソースから最新情報を直接取得できます。

- **手動更新** -  **データ更新**をクリックすると、現在のダッシュボードビュー内のすべてのチャートがすぐに更新されます。
- **自動更新** -  **データ更新**の横にある下矢印をクリックして間隔メニューを開きます。自動更新間隔（1 分など）を選択すると、手動操作なしでダッシュボードを動的に最新の状態へ保てます。

グリッドを操作する

グリッドを表示

ダッシュボードのグリッドを有効にするためには、メニューバーから**表示 -> グリッドを表示**を選択します。

グリッドにスナップ

グリッドを使用してダッシュボードのオブジェクトを配置するためには、メニューバーから**表示 -> グリッドにスナップ**を選択します。

ダッシュボードを設計

Navicat BI には、対話的で視覚的に分かりやすいダッシュボードを作成するための包括的な設計ツールがあります。複数ページの追加、対話型チャートの統合、説明テキスト・画像・図形によるレイアウトのカスタマイズなど、データの表示方法を完全に制御できます。

ダッシュボードページを追加

ページペインには、ダッシュボードにある全てのページが表示されます。ダッシュボードページのサムネイルが表示されます。

新しいページを追加するためには

1. ダッシュボードタブで、ページペインの+ボタンをクリックします。
2. 空白ページが追加され、選択されます。

ページの使用可能なプロパティ：

オプション	説明
基本	
ダッシュボードページサイズ	ダッシュボードにあるページのサイズをカスタマイズします。
備考	ダッシュボードの備考を入力します。
ページ #	
背景	ページの背景色を設定します。 画像で塗りつぶし を選択した場合、イメージファイルとスケーリングオプションを選択できます。
不透明度	イメージの不透明度を設定します。
ページメモ	ページの参照、コメント、または説明を入力します。

チャートを追加

チャートは、データソースのデータの視覚的な表現を提供します。

チャートを追加するためには

1. ダッシュボードタブで、 **チャートを追加**をクリックします。
2. ワークスペースで使用可能な全てのチャートがサムネイルとして表示されます。使用できるチャートがない場合、 **新規チャート**をクリックして作成します。チャート作成の詳細な手順については、[チャートを作成](#)を参照してください。
3. チャートをデザインペインにドラッグします。

チャートの使用可能なプロパティ：

オプション	説明
位置	チャートの位置をカスタマイズします。
サイズ	チャートのサイズをカスタマイズします。
ターゲットチャート	ダッシュボード内のどのチャートをチャートで制御できるかを選択します。
チャートのインタラクション	
インタラクションコントロールとして	チャートをインタラクションコントロールとして設定します。
関連チャート	なし - チャートのインタラクション動作を無効にします。 強調表示 - ダッシュボード上のチャートを、選択したデータポイントで

	クロスハイライトします。関連のないデータは引き続き表示されますが、淡色表示されます。 フィルター - ダッシュボード上のチャートを、選択したデータポイントでクロスフィルターします。関連のないデータは表示されません。
--	--

テキストラベルを追加

テキストラベルは、通常、ダッシュボードタイトルを追加するなど、ダッシュボードの文書化に役立ちます。

テキストラベルを追加するためには

1. ダッシュボードタブで、**T テキストを追加**をクリックします。
2. ダッシュボードにそれを配置します。
3. キャプションを入力します。

テキストラベルの使用可能なプロパティ：

オプション	説明
位置	ラベルの位置をカスタマイズします。
サイズ	ラベルのサイズをカスタマイズします。
キャプション	ラベルのキャプションを入力します。
水平方向の配置／垂直方向の配置	ラベルキャプションのテキスト整列を指定します。
パディング	テキストの水平および垂直パディングを設定します。
フォント	ラベルキャプションのフォントスタイルを設定します。
太字	ラベルキャプションに太字スタイルを適用します。
斜体	ラベルキャプションに斜体スタイルを適用します。
背景色	ラベルの背景色を設定します。
URL	テキストをハイパーリンクとして設定するための URL パスを入力します。
ページナビゲーション	ラベルをクリックしたときに、ダッシュボード内の別のページを開くよう設定します。

イメージを追加

デザインまたは識別の目的でダッシュボードにイメージ（BMP、JPG、JPEG、PNG ファイル）を挿入することができます。

イメージを追加するためには

1. ダッシュボードタブで、 **イメージを追加**をクリックします。
2. 開くダイアログボックスでイメージファイルを選択します。

イメージの使用可能なプロパティ：

オプション	説明
不透明度	イメージの不透明度を設定します。
位置	イメージの位置をカスタマイズします。
サイズ	イメージのサイズをカスタマイズします。
オリジナルサイズ	イメージをそのオリジナルのサイズに戻します。
URL	イメージをハイパーリンクとして設定するための URL パスを入力します。
ページナビゲーション	画像をクリックしたときに、ダッシュボード内の別のページを開くよう設定します。

形状を追加

Navicat BI には、ダッシュボードを作成するための定義済みの形状がいくつか含まれています：線、矢印、長方形、楕円、三角形、直角三角形、右矢印、データベース、クラウド、トリガー、サーバー、デスクトップ、モバイル、男性、女性。

形状を追加するためには

1. ダッシュボードタブで、 **形状を追加**をクリックし、形状の種類を選択します。
2. ダッシュボードにそれを配置します。

線または矢印に頂点を追加するためには

1. ダッシュボードで線または矢印を選択します。
2. SHIFT キーを押しながらそれをクリックします。

線または矢印の頂点を削除するためには

1. ダッシュボードで線または矢印を選択します。
2. SHIFT キーを押しながら頂点をクリックします。

形状の使用可能なプロパティ：

オプション	説明
位置	形状の位置をカスタマイズします。
サイズ	形状のサイズをカスタマイズします。 長方形、楕円、三角形、直角三角形、右矢印、データベース、クラウド、トリガー、サーバー、デスクトップ、モバイル、男性、女性のみ。
色	形状の色を設定します。
境界を表示	外形枠を表示します。 長方形、楕円、三角形、直角三角形、右矢印、データベース、クラウド、トリガー、サーバー、デスクトップ、モバイル、男性、女性のみ。
ボーダー色	形状の縁の色を変更します。 長方形、楕円、三角形、直角三角形、右矢印、データベース、クラウド、

	トリガー、サーバー、デスクトップ、モバイル、男性、女性のみ。
境界線の幅	ボーダーの太さを選択します。 長方形、楕円、三角形、直角三角形、右矢印、データベース、クラウド、トリガー、サーバー、デスクトップ、モバイル、男性、女性のみ。
線の幅	形状の厚みを選びます。
Cap スタイル	線／矢印の Cap スタイルを選択します。
Dash スタイル	線／矢印の Dash スタイルを選択します。
Join スタイル	線／矢印の Join スタイルを選択します。
矢印始点スタイル	矢印の矢尻のスタイルを選択します。
矢印終点スタイル	矢印の先のスタイルを選択します。
URL	形状をハイパーリンクとして設定するための URL パスを入力します。
ページナビゲーション	形状をクリックしたときに、ダッシュボード内の別のページを開くよう設定します。

タイルレイヤーを追加

タイルレイヤーはダッシュボード内の構造レイアウトとして機能し、各種ビジュアライゼーション要素をグループ化、整理、区分できます。

タイルレイヤーを追加するためには

1. ダッシュボードタブで、 **タイルレイヤーを追加**をクリックします。
2. ダッシュボードにそれを配置します。

要素をタイルレイヤー内に配置するには

1. 対象のチャート、テキストラベル、画像、図形をドラッグし、タイルレイヤーコンテナの境界内へ直接ドロップします。

タイルレイヤーの使用可能なプロパティ：

オプション	説明
位置	タイルレイヤーの位置をカスタマイズします。
サイズ	タイルレイヤーのサイズをカスタマイズします。
色	タイルレイヤーの色を設定します。
配置	レイヤー内に埋め込まれた要素の配置方法を制御します。 横 - 項目を横一列に並べます。 縦 - 項目を上から下へ縦に並べます。 フローティング - 項目を上から下へ縦に並べます。
分布	レイヤー内の各項目へ領域を動的に割り当てる方法を指定します。 なし - 自動スケーリングを行わず、各要素のカスタムサイズを維持します。 均等に配置 - 含まれるすべての項目のサイズを均一に変更し、同じ領域を占めるようにします。

	比率に応じて配置 - 元の寸法比率に応じて各項目へ領域を割り当てます。
--	-------------------------------------

オブジェクトの配置

次の方法で、ダッシュボードページ上のオブジェクトを配置できます。

- オブジェクトを前後に移動して重ねます。
- オブジェクトを他のオブジェクトと整列させます。
- オブジェクトを水平または垂直に配置します。
- 複数のオブジェクトをグループ化して、オブジェクトを 1 つのユニットとして簡単に移動し、関連するチャートの軸に合わせます。
- オブジェクトをロックして、移動、変更、または削除できないようにします。

前へ／後ろへオブジェクトを移動

オブジェクトをダッシュボードの後部へ移動するためには、オブジェクトを右クリックして**最背面へ移動**を選択します。

オブジェクトをダッシュボードの前部へ移動するためには、オブジェクトを右クリックして**最前面へ移動**を選択します。

オブジェクトを整列

複数のオブジェクトを選択し、右クリックして**整列** -> **左揃え**、**中央揃え**、**右揃え**、**上揃え**、**中央揃え**、**下揃え**を選択します。

オブジェクトの分散を変更

複数のオブジェクトを選択し、右クリックして**分散** -> **横**または**縦**を選択します。

グループオブジェクト

複数のオブジェクトを選択し、プロパティペインで**グループ**をクリックして、必要に応じて次のプロパティを有効にします。

オプション	説明
リンクのスクロール	全てのチャートのスクロールバーを同期します。
リンクのハイライト	いずれかのチャートのデータポイントにカーソルを合わせると、他のチャートの同じデータポイントが強調表示されます。
ハイライト時にヒントを表示する	いずれかのチャートのデータポイントにカーソルを合わせると、ヒントラベルがポップアップ表示されます。

オブジェクトのグループ解除

グループを選択し、プロパティペインで**グループ解除**をクリックします。

オブジェクトをロックする

オブジェクトを選択し、プロパティペインで**ロック**をクリックします。

オブジェクトのロックを解除する

ロックされたオブジェクトを選択し、プロパティペインで**ロックを解除**をクリックします。

配置ガイドを表示

ページ上でオブジェクトをドラッグまたは移動するときに動的な整列スマートガイドを表示するには、メニューバーから**表示 -> 配置ガイド -> 配置ガイドを表示**を選択します。

オブジェクトのスナップ方法と参照方法を制御するため、次の 4 種類の整列オプションを切り替えられます。

オプション	説明
オブジェクトの中心にガイドを表示	移動中のオブジェクトの中心点が、別のオブジェクトの中心点と水平方向または垂直方向に揃ったときにガイドを表示します。
オブジェクトの端にガイドを表示	移動中のオブジェクトの外側の辺（上、下、左、右）のいずれかが別のオブジェクトの辺とぴったり揃うと、ガイドラインが表示されます。
相対サイズのガイドを表示	サイズ変更中のオブジェクトの幅または高さが隣接するオブジェクトの寸法と一致したときに、視覚的なインジケータを表示します。
相対間隔のガイドを表示	連続する複数のオブジェクト間で余白または間隔が均等になるよう、動的な間隔マーカを表示します。

オブジェクトのサイズを変更する

キャンバス上のオブジェクトを選択した後、複数の方法でサイズを調整できます。

オブジェクトのサイズを自由に変更するには

1. オブジェクトを選択します。
2. いずれかのハンドルにマウスポインターを合わせ、クリックしてドラッグします。

元の縦横比を維持したままオブジェクトのサイズを変更するには

1. オブジェクトを選択します。
2. Shift キーを押したままにします。
3. いずれかのハンドルにマウスポインターを合わせ、クリックしてドラッグします。

ダッシュボードを表示

画面全体を使用してダッシュボードを表示できます。タイトルバー、ツールバー、タブバー、ページペイン、コントロールリスト、プロパティペインは、このモードでは非表示になります。現在のビューでダッシュボードを開くためには、 **表示**をクリックします。

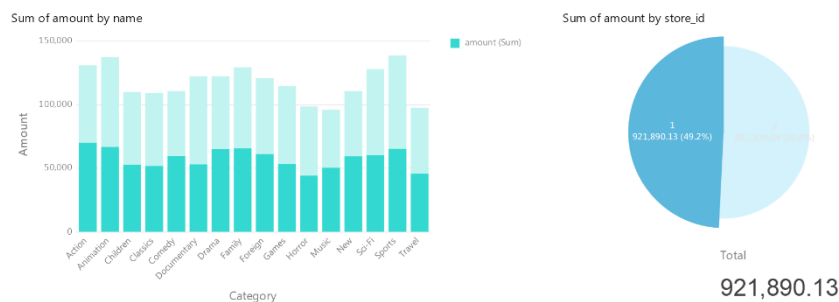
ページ間を移動するためには、矢印キーを使用します。

表示ビューを終了するためには、ESC キーを押します。ワークスペースウィンドウがその前の状態に戻ります。

チャートのインタラクション

ダッシュボード上の同じデータソースを持つ全てのチャートは、相互接続できます。いずれかのチャートでデータポイントを選択すると、ダッシュボードページ上の同じデータを含む他の全てのチャートが、選択に基づいて変更されます。

チャートインタラクションをオフにするか、[ダッシュボードプロパティ](#)でクロスフィルターまたはクロスハイライトの動作を変更できます。



ダッシュボードに[コントロール](#)チャートを追加した場合、コントロールを使用して全てのチャートのデータシリーズにフィルターをかけることができます。

ソートチャート

表示モードでは、ワンクリックでチャート内のデータを整理できます。データ系列を値で並べ替えることができます。

1. 右上隅に  アイコンが表示されるまで、チャートにカーソルを合わせます。
2.  アイコンをクリックして、別の値で並べ替えたり、並べ替え順序を選択します。

パラメーターを使用する

パラメーターを割り当てると、BI はプレゼンテーションモードで操作可能なコントロールを自動的に表示します。プレゼンテーション中に、対象となる指標の値を動的に調整できます。

パラメーター値を変更するには、次の手順を実行します。

1. プレゼンテーションモードでページを右クリックし、[パラメーター値を変更](#)を選択します。

2. 一覧から目的のパラメーターを選択します。
3. 値を手動で変更します。

ヒント：パラメーターに数値範囲規則を割り当てている場合、対話型スライダーをドラッグして対象指標の値を動的に調整できます。

ダッシュボードを印刷 & エクスポート

理想的なダッシュボードを作成した後、その内容を同僚と共有する場合があります。Navicat では、ダッシュボードページをプリンターで直接印刷したり、レポートやプレゼンテーションで利用できる各種デジタル形式へエクスポートしたりできます。

ダッシュボードを印刷する

ダッシュボードページをプリンターへ直接送信するには、次の手順を実行します。

1. **ファイル** -> **印刷**を選択します。
2. 表示されたポップアップウィンドウで印刷設定を行います。

ダッシュボードをファイルへエクスポートする

ダッシュボードページをデジタル文書または画像として保存するには、次の手順を実行します。

1. **ファイル** -> **エクスポート先**を選択します。
2. ファイル形式を選択し、ダッシュボードページの PDF、PNG、SVG、または JPG ファイルを作成します。

8 - パラメータ

パラメーターを使用すると、BI ワークスペース内の主要な値を可視化、定量化し、動的に操作できます。作成したパラメーターは、ワークスペース全体で利用できるグローバル変数になります。

パラメーターは次の機能レイヤーで使用できます。

- データソース：クエリエディター、フィルター、カスタムフィールド
- チャート：データフィルター、表示フィルター、チャートタイトル
- ダッシュボード：テキストラベルのキャプション、テキストラベルの URL、イメージの URL、形状 URL

新しいパラメーターを追加する

パラメータを作成するための基本的な手順は次のとおりです：

- ワークスペースウィンドウで、 **パラメーターを新規作成**をクリックします。
- パラメーターを識別できる一意の名前を入力します。
- このパラメーターの参照を許可するレイヤーを選択します。
- パラメーターのデータ型を選択します。
- 次の 3 つのオプションから**許可する値**次の 3 つのオプションから

規則の種類	説明
任意	割り当てたデータ型と一致する任意の手動入力を許可します。
リスト	選択肢を事前定義した固定の一覧に制限します。 値 - 基となるデータ値を入力します。 説明 - （任意）ユーザー向けの説明を追加します。
範囲	値を数値または日付の連続範囲に制限します。 最小 - 下限を指定します。 最大 - 上限を指定します。 ステップサイズ - 増減する単位値を設定します。

- パラメーターの初期状態として使用する**現在の値**を指定します。
- 確認**をクリックします。

パラメーターを使用する

パラメーターを作成すると、BI ワークスペースの各レイヤーで使用し、動的なデータフィルター、カスタムクエリ入力、連動するダッシュボードラベルを実現できます。

クエリでパラメーターを設定する

1. クエリエディターで、右ペインの  アイコンをクリックします。
2. 使用するパラメーターをエディターヘドラッグ&ドロップします。

フィルターでパラメーターを設定する

1. フィルターペインで新しいフィルター条件を追加します。
2. 既定のフィールド名をクリックし、対象の識別子列を選択します。
3. 演算子のドロップダウンをクリックし、比較演算子を選択します。
4. <?>をクリックし、一覧からパラメーターを選択します。
5. **確認**をクリックします。

タイトル、キャプション、URL でパラメーターを設定する

1. 対応するタイトル、キャプション、URL のテキスト入力ボックス内にある  アイコンをクリックします。
2. 選択したパラメーターを左側の設定ボックスヘドラッグ&ドロップします。
3. **確認**をクリックします。

プレゼンテーション中にパラメーターを使用する

パラメーターを割り当てると、BI はプレゼンテーションモードで操作可能なコントロールを自動的に表示します。プレゼンテーション中に、対象となる指標の値を動的に調整できます。

パラメーター値を変更するには、次の手順を実行します。

1. プレゼンテーションモードでページを右クリックし、**パラメーター値を変更**を選択します。
2. 一覧から目的のパラメーターを選択します。
3. 値を手動で変更します。

ヒント：パラメーターに数値範囲規則を割り当てている場合、対話型スライダーをドラッグして対象指標の値を動的に調整できます。

9- 他のすばらしい機能

テーマを切り替え

Navicat BI ではメインアプリケーションのインターフェースに全体的なライトテーマまたはダークテーマを設定できますが、BI ワークスペースのテーマは独立して動作します。このため、個人の UI 設定にかかわらず、データビジュアライゼーションを意図した外観で表示できます。

チャートとダッシュボードのテーマを切り替えることで、データポイントのコントラストを高め、長時間の分析時の目の負担を軽減できます。また、エクスポートするレポートのビジュアルを企業ブランドに合わせることもできます。

チャートとダッシュボードのテーマを変更する

ビジュアライゼーションの外観を手動で調整するには、次の手順を実行します。

1. BI ワークスペースを開きます。
2.  **テーマを切り替え** クリックして、現在の視覚要素に使用できるテーマを選択します。

URI 経由で共有

Navicat BI では、ワークスペースの URL を使用して、チームメイトとワークスペースを共有できます。Navicat ユーザーは、生成された URI を使用してワークスペースにアクセスできます。

URI を取得

ワークスペースの URI は、情報ペインの一般タブで取得できます。**共有**をクリックし、ポップアップウィンドウで URI をコピーするだけです。**ホスト情報を非表示にする**を有効にすると、URI 内の接続ホストパラメータを削除できます。

URI でオブジェクトを開く

1. メインウィンドウで、**ファイル -> Navicat URI を使用して開く**を選択します。
2. URI を貼り付けます。
3. **確認**をクリックします。
4. 必要に応じて、**他のオプション**をクリックして接続マッピングを変更します。

オプション	説明
マッピングされた接続	URI 内の接続を、Navicat 内の最も類似した情報を持つ接続に自動的にマッピングします。
既存の接続	Navicat 内の既存の接続を選択します。
新しい接続	Navicat で新しい接続を作成します。

5. オブジェクトを開きます。

ワークスペースの整理とカスタマイズ

Navicat BI には、ワークスペース環境を管理・整理し、自分好みにカスタマイズするための直感的なツールが用意されています。ビジュアルテーマや集中モードを活用すれば、複雑なワークスペースでも迷わず操作でき、常に効率よく作業を進められます。

フォーカスモード

フォーカスは、気を散らすものを減らし、境界を設定するのに役立つ機能です。作業中のフォーム以外のすべてを画面から削除し、全画面モードに入ります。

特定のアクティビティに集中したい場合は、 アイコンをクリックするだけでオンにできます。

フォーカスモードを終了するためには、右上の  アイコンをクリックするだけです。

ダークテーマ

ダークテーマでは、Navicat BI は全てのウィンドウ、ビュー、メニュー、コントロールに暗い色のカラーパレットを使用します。

テーマを変更するためには、**ツール** -> **オプション** -> **基本**を選択します。次に、**ダーク**を選択します。

検索フィルター

Navicat BI には、特定のオブジェクトまたは項目をすばやく見つけるための検索フィルターがあります。

- 検索ボックスを使用 -  アイコンをクリックし、**検索**テキストボックスに検索文字列を入力して、一致するオブジェクトまたは項目を絞り込んで表示します。
- ツリー構造内で直接検索 - ツリー内をクリックしてフォーカスを移し、検索文字列を直接入力すると、一致する項目へすぐに移動します。

10 - 設定

Navicat BI には、ユーザーインターフェースのカスタマイズ、データベースパフォーマンスの最適化、ファイルの保存場所の設定、外部環境との連携を管理するための包括的な「オプション」ウィンドウがあります。

オプションウィンドウを開くためには、メニューバーから、**ツール -> オプション**を選択します。

基本

これらの設定では、日常業務を効率化するため、ワークスペースの基本動作、インターフェーステーマ、階層ナビゲーションのレイアウト、確認ダイアログを管理します。

オプション	説明
基本	
テーマ	OS のシステムテーマまたは専用のダークテーマを選択します。
言語	Navicat BI のインターフェースでの表示に使用する言語を選択します。
安全な確認ダイアログを使用する（メインウィンドウ）	このオプションを有効にすると、メインウィンドウでオブジェクトを削除する際に、安全のため二重確認ダイアログが表示されます。
起動時に更新を自動チェック	Navicat BI の起動時に更新サーバーへ自動的に問い合わせ、新しいバージョンがあるか確認します。
使用データ	
使用データを共有	安定性と機能改善に役立てるため、匿名の利用状況分析データをデバイスから安全に送信します。共有されるテレメトリデータの内容は、 使用データ ボタンをクリックして確認できます。

外観

このセクションでは、ボタンの表示やデータエディターの状態色など、Navicat BI ユーザーインターフェース内の視覚的なフィードバックを細かく調整できます。

オプション	説明
ツールバーの説明を表示	サブウィンドウ内のツールバーボタンに説明テキストを表示します。無効にするとグラフィックアイコンだけが表示されます。
保留中レコードの色	保留中の変更の色を選択します。

コードインサイト

「コードインサイト」設定では、エディターのインテリジェントな自動候補と構文強調表示の動作をカスタマイズできます。

オプション	説明
コード補完を使用	エディターで文字またはドット (.) 区切りを入力すると、候補のドロップダウンウィンドウを自動的に表示します。
自動更新コード補完情報	接続を開いたときに、サーバーから最新のデータベース構造スキーマ情報

	を自動取得します。
コード補完情報を更新する時にシステムオブジェクトを含める	候補データベースに主要なシステムテーブルと内部ディクショナリを含めます。 ヒント: MySQL/MariaDB/PostgreSQL でのみ使用可能です。大量のシステムオブジェクトを含めると、コード補完のパフォーマンスが低下する場合があります。
最初の提案を自動選択	ポップアップ一覧の先頭候補を自動的に強調表示します。有効にすると、Enter キーまたは Tab キーを押して選択した項目をすぐに挿入できます。無効にした場合は、矢印キーで候補を手動選択する必要があります。
SQL 要素にカーソルを合わせたときに詳細を表示	エディター内の特定の SQL 要素にカーソルを合わせると、情報ツールチップを表示します。
ホバー遅延 (ms)	ホバーツールチップが画面に表示されるまでの遅延時間をミリ秒単位で設定します。
Ctrl+クリックでの識別子の参照解決を、ローカルで優先して行う	Ctrl キーを押しながらデータベース識別子をクリックしたときに、クエリ内で参照されている識別子の解決を優先します。
Ctrl+クリックのデフォルト動作	データベース識別子にポインターを合わせたとき、または Ctrl キーを押しながらクリックしたときに実行する操作を選択します。
コード補完情報のクリア	ローカルコンピューターに保存されているコード補完のキャッシュ情報をすべて削除します。

エディタ

「エディター」設定では、すべてのスクリプト編集ウィンドウの表示レイアウト、文字設定、コード整形規則を設定できます。

オプション	説明
基本	
行番号の表示	エディターの左余白に連続する行番号を表示します。
コードの折りたたみを使用	コードブロックを 1 行に折りたためるようにします。
括弧の強調表示を使用	テキストカーソルを括弧上に置いたとき、対応する括弧の組み合わせを視覚的に示します。
シンタックス強調表示を使用	キーワード、文字列、値、コメントをそれぞれ異なる色と書式で表示します。大きなファイルでのシステムパフォーマンスを維持するため、 これより大きなファイルサイズの場合は無効 (MB) で最大ファイルサイズのしきい値を設定できます。
文字ラップを使用	長い 1 行の SQL コードを、エディターウィンドウの表示範囲内に収まるよう自動的に折り返します。
タブ幅	Tab キーを 1 回押したときに挿入する文字幅を設定します。
Tab を押すとスペースが挿入される	設定したタブ幅に基づいて、タブ文字を通常のスペース文字列へ変換します。
フォントと色	
エディタ用フォント	すべてのエディターで使用するフォントとサイズを指定します。

色	読みやすさを向上させるため、エディター内のクエリを構文に応じて色分けします。[一般]、[キーワード]、[文字列]、[数値]、[コメント]、[背景]のフォント色を設定できます。
---	---

レコード

[レコード] 設定では、データグリッド内でのデータの取得、表示、操作方法を制御します。

オプション	説明
レコード	
レコード制限 レコード(1 ページあたり)	データグリッドまたは外部キー選択ウィンドウで一度に読み込む行数を制限し、全体のページ区切りを管理します。無効にすると、すべてのテーブル行を 1 つの表示ページへ同時に読み込もうとします。 注意： 特定のテーブルまたはコレクションでこの設定を上書きするには、 データの表示 内で設定を直接変更します。
グリッド	
フォント	データエディターのデータグリッド内で使用するフォントとサイズを指定します。
行シェーディング	データを見やすくするため、グリッドの 1 行おきまたは 3 行おきに網掛けを適用します。網掛けを使用しない場合は なし を選択します。
ズーム	データグリッド表示の既定のズーム倍率を調整します。
データプロファイリング	
色	データバー、スポットライト追跡フラグ、有効な NOT NULL 表示要素の色をカスタマイズします。

自動リカバリ

予期しないアプリケーション終了やクラッシュから作業内容を保護するため、自動バックグラウンドバックアップタスクを設定します。

オプション	説明
BI	自動保存の間隔 (秒) フィールドで保存間隔（例：30 秒）を指定し、BI ワークスペースの下書き変更を定期的に保存します。

ファイルロケーション

Navicat BI が重要なバックグラウンドファイルや内部ファイルをローカルマシン上のどこに保存するかを管理します。

オプション	説明
ログの保存場所	Navicat BI がパフォーマンスログやアプリケーションの診断情報を書き出す、システム出力フォルダーを指定します。
プロファイルの保存場所	内部ファイルを保存するフォルダーを指定します。

接続性

「接続性」設定では、接続の保護、プロキシ経路の設定、ネットワークの安定性テストを行えます。

オプション	説明
基本	
CA に対するサーバー証明書の検証	リモートサーバー証明書がコンピューターの信頼済み認証局 (CA) 一覧に照らして検証に合格することを求める、厳格なセキュリティ検証を有効にします。
プロキシ	
プロキシの使用	ネットワークリクエストを内部プロキシインフラストラクチャ経由で送信します。
プロキシタイプ	通信レイヤーのプロトコルタイプ (HTTP または SOCKS5) を選択します。
ホスト	プロキシサーバーの IP アドレスまたは指定されたネットワークドメイン名を入力します。
ポート	プロキシサーバーが監視する接続ポートを入力します。
ユーザー名/パスワード	プロキシエンドポイントでアクセス認証が必要な場合は、ネットワークアカウントの認証情報を入力します。
接続性の診断	
接続性をテスト	リアルタイムのネットワーク診断を実行し、使用中の Web サービスとコンピューター間の通信の安定性を確認します。

環境

「環境」設定では、特定のデータベース接続に必要なランタイムライブラリを指定できます。

オプション	説明
OCI 環境	
OCI ライブラリ (oci.dll)	Oracle Call Interface ランタイムライブラリ (oci.dll) の場所を指定します。既定では、Navicat BI に内蔵された OCI コンテナーライブラリが自動的に使用されます。 Oracle Call Interface は、OCI または OCCI、JDBC-OCI、ODBC ドライバを用いて作られた完全な Oracle クライアントアプリケーションを展開するための最も簡単な方法です。少数のファイルで、必要な Oracle クライアントライブラリを提供します。以下より Oracle インスタントクライアントをダウンロードすることも可能です。 お使いのプラットフォームと CPU に適したインスタントクライアントパッケージをダウンロードしてください。すべての設定が Basic または Basic Lite パッケージを必要とします。パッケージを解凍し、それを示すパスを設定してください。

ロギング

〔ロギング〕設定では、データをローカルコンピューターへ直接書き込み、操作履歴の追跡とアプリケーションの問題のトラブルシューティングを行えます。

オプション	説明
履歴ログを有効にする	データベースおよびデータベースオブジェクトに対して実行したすべての操作のステートメントまたはスクリプトを、指定した〔ログ〕の保存場所へ保存します。保持するファイルの最大数と各ファイルのサイズを設定できます。
診断ログを有効にする	基礎となるエラーを追跡し、アプリケーション実行時の問題をトラブルシューティングするための診断実行スクリプトを、指定した〔ログ〕の保存場所へ直接生成します。保持するファイルの最大数と各ファイルのサイズを設定できます。
格納フォルダを開く／ログをエクスポート	ログファイルが保存されているローカルコンピューター上のフォルダーを開くか、現在のログファイルを圧縮ファイルへエクスポートします。

詳細

〔詳細〕では、ホスト OS 内でのアプリケーションの基本動作を制御します。

オプション	説明
“プログラムから開く”リストに登録する	OS シェルへの登録処理を自動化し、Windows のファイルメニューにある〔プログラムから開く〕の推奨アプリ一覧へ Navicat BI を追加します。
Navicat URI プロトコルを登録	Windows 環境へ Navicat URI ネットワーク通信プロトコルハンドラーを登録します。登録後、navicat://形式の Web ハイパーリンクをクリックすると、ローカルの Navicat BI が自動的に起動し、パラメーターを解析して対象オブジェクトへ接続します。

11 - ホットキー

クリック操作を最小限に抑えられるよう、Navicat BI のキーボードショートカットを機能別にまとめて説明します。

ワークスペース

キー	動作
F11	フォーカスモード
CTRL+S	保存
CTRL+SHIFT+S	名前を付けて保存
CTRL+TAB	次ウィンドウ
CTRL+,	オプションウィンドウを開く

データソース

キー	動作
CTRL+R	データ更新

チャート

キー	動作
CTRL+R	データ更新
F5	表示
CTRL+P	印刷

ダッシュボード

キー	動作
CTRL+SHIFT+/ SPACE	キーボードショートカットを表示する
CTRL+R	データ更新
F5	表示
HOME	先頭ページ
END	最終ページ
PAGE UP / LEFT ARROW	前ページ
PAGE DOWN / RIGHT ARROW	次ページ
CTRL++	ズームイン
CTRL+-	ズームアウト
F2	オブジェクト名の変更
CTRL+P	印刷

11 - ログファイル

Navicat BI は、ソフトウェア内で実行した操作を追跡するために複数のログファイルを保持します。既定では、これらのファイルはログディレクトリ（例： C:¥Users¥Guest¥Documents¥Navicat BI¥logs¥）に保存されます。保存先パスは[オプション](#)で変更できます。

使用可能なログファイル

ファイル	説明
history.log	Navicat BI のデータベースやデータベースオブジェクトに対して実行された全操作の全文またはスクリプトを保存します。 注意： このログを有効にし、保持するファイルの最大数と各ファイルのサイズを オプション で設定できます。
navicat.log	Navicat の問題を追跡するのに役立つ情報を保存します。 注意： このログを有効にし、保持するファイルの最大数と各ファイルのサイズを オプション で設定できます。